北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）

図　面　リ　ス　ト

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
A-01	建築工事仕様書（1）	A-25	改修前　矩計図（3）	A-49	改修前　第2体育室展開図	A-73	既存小屋梁伏図
A-02	建築工事仕様書（2）	A-26	改修後　矩計図（3）	A-50	改修前・後　2階物置展開図	A-74	2階天井下地受材詳細図
A-03	建築工事仕様書（3）	A-27	改修前・後　1階天井伏図	A-51	改修前・後　階段室断面図	A-75	改修後　1階外部壁鉄骨胴縁軸組図
A-04	建築工事仕様書（4）	A-28	改修前・後　2階天井伏図	A-52	改修前・後　玄関ポーチ平面詳細図	A-76	アリーナ電動暗幕詳細図　【参考図】
A-05	建築工事仕様書（5）	A-29	改修前　玄関ホール平面詳細図・展開図	A-53	改修後　スロープ詳細図・目隠しフェンス詳細図	A-77	舞台吊物機構（1）【参考図】
A-06	建築工事仕様書（6）	A-30	改修後　玄関ホール平面詳細図・展開図・部分詳細図	A-54	改修前　男女便所平面詳細図・展開図	A-78	舞台吊物機構（2）【参考図】
A-07	建築工事仕様書（7）	A-31	改修前　事務室、倉庫、器具庫A平面詳細図・倉庫展開図	A-55	改修後　男女便所平面詳細図・展開図	A-79	収納台車詳細図【参考図】
A-08	工事区分表	A-32	改修前　事務室展開図	A-56	多機能トイレ　平面詳細図・展開図	A-80	改修後　スポーツ競技基礎配置図【参考図】
A-09	配置図・附近見取り図	A-33	改修前　器具庫Ａ展開図	A-57	改修前　1階床伏図	A-81	改修後　コート配置図【参考図】
A-10	仮設計画図（1）【参考図】	A-34	改修後　事務室、倉庫、器具庫A平面詳細図・倉庫展開図	A-58	改修後　1階土間伏図	A-82	改修後　体育器具受材配置図【参考図】
A-11	仮設計画図（2）【参考図】	A-35	改修後　事務室展開図	A-59	改修前　建具配置図	A-83	改修後　バスケット装置詳細図【参考図】
A-12	改修工事フロー図	A-36	改修後　器具庫Ａ展開図	A-60	改修前　建具表（1）	A-84	改修後　防球ネット詳細図【参考図】
A-13	仕上表	A-37	改修後　アリーナ平面詳細図・断面詳細図	A-61	改修前　建具表（2）	A-85	木・アルミ複合防球格子戸詳細図【参考図】
A-14	改修前　1階平面図	A-38	改修前　アリーナ展開図（1）	A-62	改修後　1階建具配置図	A-86	LSD-1・LSD-1A詳細図【参考図】
A-15	改修後　1階平面図	A-39	改修前　アリーナ展開図（2）	A-63	改修後　2階建具配置図	A-87	渡り廊下笠木付手摺詳細図【参考図】
A-16	改修前　2階平面図	A-40	改修後　アリーナ展開図（1）	A-64	改修後　建具表（1）		参考図 1
A-17	改修後　2階平面図	A-41	改修後　アリーナ展開図（2）	A-65	改修後　建具表（2）		参考図 2
A-18	改修後　屋根伏図	A-42	改修前・後　控室・ステージ平面詳細図	A-66	改修後　建具表（3）		参考図 3
A-19	改修前　立面図	A-43	改修後　控室展開図・部分詳細図	A-67	改修後　建具表（4）		参考図 4
A-20	改修後　立面図	A-44	改修前・後　器具庫Ｂ・ステージ平面詳細図	A-68	家具配置図		参考図 5
A-21	改修前　矩計図（1）	A-45	改修後　器具庫Ｂ展開図・部分詳細図	A-69	家具詳細図（1）		参考図 6
A-22	改修後　矩計図（1）	A-46	改修前　第2体育室・物置・階段室平面詳細図	A-70	家具詳細図（2）		参考図 7
A-23	改修前　矩計図（2）	A-47	改修後　第2体育室・物置・階段室平面詳細図	A-71	雑詳細図		参考図 8
A-24	改修後　矩計図（2）	A-48	改修前　第2体育室展開図	A-72	鋼製床伏図		

原図はＡ２版とする。

Ⅰ　建築改修工事仕様

工事概要

工事名称　北小学校屋内運動場長寿命化改修工事

主要用途　小学校体育館

工事種別　改修

敷地　岐阜県高山市桐生町　地内
敷地面積　19,385.0㎡

都市計画法等　都市計画区域　⊙ 都市計画区域内（・市街化区域・市街化調整区域⊙その他）
・ 都市計画区域外
用途地域　⊙ （第2種住居地域、準住居地域）
防火地域　・ 防火地域　・準防火地域　⊙指定なし
その他の指定　⊙ ２２条指定区域内　・２２条指定区域外　・（特別業務地区）

建築基準法　道　路　・国道　・県道　⊙市道　・町道　・村道　・私道
幅員　12.0 m
指定の建ぺい率　60　%　　指定の容積率　200　%

工事建物の概要
構造　ＲＣ造一部Ｓ造　　階数　2階建
延べ床面積　1,481.40㎡　建築面積　1,283.40㎡

工事の範囲　⊙建築主体工事　一式
⊙外構工事　⊙舗装一式　⊙駐車場一式
・消防活動空地一式　・植栽一式　⊙解体工事

別途工事　⊙電気設備工事一式　⊙機械設備工事一式　・昇降機設備工事一式
⊙電話工事一式　・解体工事一式　・搬送設備工事一式

1．共通仕様
（１）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。）による。
（２）電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
（３）受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査（同法第7条の3の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。

2．本特記仕様書の表記
（１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
（３）特記事項に記載の（　．　．　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
特記事項に記載の［　．　．　］内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（４）G 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」（以下「グリーン購入法」という。）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針の変更（平成31年2月8日閣議決定）」に定める特定調達物品等を示す。原則としてグリーン購入法における特定調達品目の使用に努める。
（５）受注者は、南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。
上記事実が発生した場合は、契約書第27条（臨機の措置）の規定による。
（６）標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例等を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。

章	項目	特記事項
① 共通事項	① 適用基準等	・建築工事標準詳細図（令和7年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 各図面において、（○－○○－○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。 工事写真撮影ガイドブック（令和5年版）建築工事編及び解体工事編 国土交通省大臣官房官庁営繕部 ・建築物解体工事共通仕様書（令和7年版）国土交通省大臣官房官営繕部整備課
	② 適用区分	⊙建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ⊙風圧力 風速（Vo=　30　m/s） 地表面粗度区分　（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ） ⊙積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（ 26 ）
	③ 工事実績情報サービス（CORINS）への登録	工事請負金額が500万円以上（消費税込み）の工事について、　(1.1.4) 工事実績情報を登録するものとする。 （登録先：（一財）日本建設情報総合センター） なお、登録内容を訂正する必要が生じた場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。 また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。
	④ 概成工期	総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね　(1.2.1) 10日前までに支障のない状況まで完了していること。
	⑤ 施工計画書	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書　(1.2.2) （総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。 次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。 ⊙仮設工事　⊙防水改修工事　⊙外壁改修工事 ⊙建具改修工事　⊙内装改修工事　⊙塗装改修工事 ⊙鉄筋型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　・環境配慮改修工事　⊙解体工事 ⊙木工事　⊙左官工事　⊙屋根及び樋工事　⊙金属工事 ⊙その他監督員が指示するもの
	⑥ 電気保安技術者	⊙適用する　(1.3.3)
	⑦ 工事用電力設備の保安責任者	⊙適用する　(1.3.4)
	⑧ 施工条件	⊙適用する　(1.3.5)[1.3.5] ⊙施工時間　（※協議による　・指定なし　・指定あり　） ⊙施工順序　（・指定なし　⊙図示　・　） ⊙工事用車両の駐車場　（・指定なし　⊙図示　・敷地内　） ⊙資機材置場　（・指定なし　⊙図示　・敷地内　） ⊙現場事務所　（・指定なし　⊙図示　・敷地内　） ⊙建設発生土仮置場　（⊙指定なし　・図示　・敷地内　）
	⑨ 環境への配慮	(1.4.1)[1.4.1] 1）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⑩ 材料の品質等	(1.4.2)[1.4.2] 1）本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。 3）標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4）本工事に使用する材料のうち、5）に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5）製造業者等に関する資料の提出を求める材料 ・鉄骨柱下無収縮モルタル　・無収縮グラウト材　・乾式保護材（防水立上部） ・既成成調合モルタル（タイル工事用）　・既成調合目地材　・ルーフドレン ・吸水調整材　・錠前類　・クローザー類　・自動扉機構 ・自閉式上吊引き戸機構（手動開き式）　・重量シャッター　・軽量シャッター ・ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ　・防水剤　・現場発泡断熱材（特定ﾌﾛﾝによるものを除く） ・フリーアクセスフロア　・可動間仕切　・移動間仕切　・トイレブース ・煙突用成形ライニング材　・天井点検口　・床点検口　・グレーチング ・屋上緑化用システム　・トップライト　・エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル　・錆鉄製ふた
	⑪ 石綿含有建材の調査	調査　※石綿含有建材の事前調査　⊙調査済　(1.5.1) 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象　アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト サンプル数　1箇所あたり3サンプル 採取箇所　・図示による ⊙石綿含有建材調査結果 石綿含有：ロックウール吸音板 石綿含有無し：石膏ボード・塗床・外壁リシン
	⑫ 施工調査	※施工計画調査　(1.6.1～3) 本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。 報告書　監督員に2部提出 立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付 調査業者　外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。 ・埋設配管の試掘　範囲、復旧方法　※図示による　・
	⑬ 埋設配管・配線及び鉄筋調査	あと施工アンカー　6章及び8章による コア抜き、はつり工事等 ※既存資料調査 ⊙探査機（電磁波レーダー法又は電磁波誘導芳）による探査） 配管　・配管等の位置の墨出を行う 範囲　⊙貫通ボルト施工部分 ・放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射障害防止規則」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督員に提出する。 2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。 撮影枚数　　枚、フィルムサイズ　　、コンクリート厚さ　　cm
	⑭ 技能士	※適用する 適用する技能士　(1.7.2) 工事種目 / 技能士検定職種 / 技能検定作業 仮設工事 / とび / ⊙ とび作業 鉄筋工事 / 鉄筋施工 / ⊙ 鉄筋組立作業 コンクリート工事 / 型枠施工 / ⊙ 型枠工事作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工 / ⊙ コンクリート圧送工事作業 石工事 / 石材施工 / ・ 石張り作業 木工事 / 建築大工 / ⊙ 大工工事作業 金属工事 / 内装仕上施工 / ⊙ 鋼製下地工事作業 建築板金 / ・ 内外装板金作業 防水改修工事 / 防水施工 / ・ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・ ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ 合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ 塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ ⊙ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水 ・ FRP防水工事作業 屋根及びとい改修工事 / 建築板金 / ⊙ 内外装板金作業 外壁改修工事 / 樹脂接着剤注入施工 / ⊙ 樹脂接着剤注入工事作業 左官 / ⊙ 左官作業 タイル張り / ・ タイル張り作業 建具改修工事 / サッシ施工 / ⊙ ビル用サッシ施工作業 ガラス施工 / ⊙ ガラス工事作業 自動ドア施工 / ・ 自動ドア施工作業 内装改修工事 / 建築大工 / ⊙ 大工工事作業 内装仕上施工 / 建築板金 / ⊙ 鋼製下地工事作業 建築板金 / ・ 内外装板金作業 内装仕上施工 / ⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上工事作業 ・ ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上工事作業 ⊙ ボード仕上工事作業 表装 / ・ 壁装作業 左官 / ⊙ 左官作業 タイル張り / ⊙ タイル張り作業 塗装改修工事 / 塗装 / ⊙ 建築塗装作業 耐震改修工事 / 型枠施工 / ⊙ 型枠工事作業 鉄筋施工 / ⊙ 鉄筋組立て作業 ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工 / ⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業 排水工事 / 配管 / ・ 建築配管作業 舗装工事 / 路面標示施工 / ⊙ 溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 植栽工事 / 造園 / ・ 造園工事作業
	⑮ 施工の検査等	施工の検査等：監督員の指示による。 施工の立ち合い：監督員の指示による。
	⑯ 化学物質の濃度測定	1）施工完了後、引渡前に、「市有施設建設に伴うホルムアルデヒド等の室内空気中のの化学物質の抑制に関する措置について」に基ずき、化学物質の測定結果を監督職員に報告する。 2）測定対象室及び測定箇所数等は下記による。 着工前の測定　・行う　⊙行わない 測定対象室　・図示による 測定箇所数　・図示による 階 / 室名 / 箇所 / 階 / 室名 / 箇所 1 / アリーナ / 4 / 2 / 第二体育室 / 2 1 / 事務室 / 1 / 2 / / 1 / 控室 / 1 / 2 / / 合　計 / 8 ※2回に分けて測定 3）測定方法は、下記によるによる。 測定方法　※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法　・厚生労働省の標準法 測定物質　1）の5項目に加え、学校のみパラジクロロベンゼンを追加 換気　測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等を含む。）を開放し30分換気する。 閉鎖　測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。 測定　測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。 測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。 4）測定結果の報告を監督員に行う。
	⑰ 完成図の提出	⊙完成図（施工図、施工計画書を除く） ※新規に作成　⊙既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。
	⑱ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）による工事写真撮影ガイドブック（令和5年版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
	⑲ 設備工事との取り合い	本工事の施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ※駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。
	⑳ 事故報告	※工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通知するとともに、事故発生報告書を監督員に速やかに提出すること。
	㉑ 重点監督工事	当該工事が高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。
	㉒ 電子メールの利用	本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。 運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。
	㉓ 材料調達	本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するように努め、 調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内で生産の無いものにあっては、岐阜県産）を選定するように努めること。
	㉔ 建設機械	1）本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成13年4月9日国土交通省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2）本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日国総施第215号、最終改定 平成28年8月30日国総環1第6号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。
	㉕ 保　険	工事目的物及び工事材料等を建設工事保険又は相当する保険に付すること。 （1）　損害のてん補条件 下記の原因によって起こる損害を、てん補できる保険を付保すること。 （イ）火災、落雷、爆発又は破裂 （ロ）台風、せん風、爆風、爆風雨の風災 （ハ）資材の盗難 なお、請負者自ら上記の保険に追加して付する特約等については、これを妨げるものではない。 （2）保険金　原則として請負金額とする。 （3）保険の期間　保険の加入期間は、工事資材の現場搬入の日から工事完成期限後１５日とする。 （4）保険契約の変更　保険契約締結後に請負金額の変更又は、工期延長等があった場合には、相応の保険契約の変更をしなければならない。 （5）保険証券の写しの提出　請負者は保険契約を締結し又は、更新した場合において保険証券の写しを発注者に提出しなければならない。 （6）協議　この取り扱いによりがたい事項については、必要に応じて請負者は、発注者と協議すること。
① 共通事項	㉖ 産業廃棄物の適正処理	産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。
	㉗ 再生資源利用計画書及び再生資源利用計画書の提出	工事着手時に再資源利用計画書及び再資源利用促進計画書を、また、工事完了時に同計画書の実施報告書（様式は同一）を監督員に提出するものとする。 特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了した時は、建設リサイクル法第18条に基づき監督員に報告すること。 ※本工事は「建設副産物情報交換システム（以下「コブリスプラスシステム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び、登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムデータの入力を行うものとする。監督員への報告（提出）はシステムにより作成した「再資源利用計画書（実施書）」及び「再資源利用促進計画書（実施書）により行うものとする。 尚、これにより難い場合は、監督員と協議すること。
	㉘ 建設副産物の管理	建設副産物の管理は「高山市建設工事における建設副産物管理の運用について」を適用する。 また、同運用による「建設副産物処理計画書」ならびに記載数量計算書を添付し提出すること。 廃棄物マニフェストおよび計量伝票を整備し法定期間保管すること。 有価物がある場合は、有価物の処理伝票と有価処理総額等が判る資料を整備し提示すること。
	㉙ 養生その他	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。 ※粉じん対策　粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。 工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。 搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。 ※安全対策　工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。 ・騒音対策　隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。 ・夜間照明　仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。
	㉚ 完成写真	撮影箇所数　※（　）箇所　・航空写真（　）箇所　⊙監督員の指示による 専門業者による撮影とする。 本完成写真の著作者の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ※電子データ　1部 画素：長辺で2880PIX以上 記録方式：RGB（フルカラー）、JPEG最高画質 記録媒体：CD-R（ISO） ⊙カラープリント　キャビネ版（　）部 アルバム（黒表紙金文字300mm×300mm程度）　※無し　⊙有り
	㉛ 提出書類等	本工事の施工に関して提出する書類は、高山市ホームページ上に記載された内容とし、遅滞なく監督員に提出し承認を受けること。尚、監督員の協議により一部を省略することが出来る。
	㉜ 下請施工業務	本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を高山市内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。
	㉝ 下請業者等	下請業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。
	㉞ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現地との整合性及び問題点を整理した後に、工事着手前協議開催するものとする。 （1）協議にあたっては、別に定める「施工打合せ簿」に協議事項を記入し、打合せに持参すること。 なお、協議日の設定については、請負者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 （2）協議にあたって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、請負者側は現場代理人及び主任技術者が出席とする。 （3）協議後、「施工打合せ記録簿」の回答（その他）欄は監督員が記入し提出する。
	㉟ 軽微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。
	㊱ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1）原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2）墜落制止用器具は一連の作業において親綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上の時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照)の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1）安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2）当該工事内容等の周知徹底 3）工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4）当該工事における災害対策訓練 5）その他、安全・訓練等として必要な事項

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	建築工事仕様書（1）		
縮　尺	―	番 号	95　枚の内　01　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市

章	項目	特記事項

① 共通事項

㊲ 創意工夫
受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

㊳ 伝統的技術の継承
本工事における伝統的大工技術等（大工、建具、左官、造園等）については、高山市内における伝統的大工技術等を継承する為、高山市内の事業者による施工に努めること。

㊴ 建設発生土の処理
「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。

⊙場外指定場所に搬出する。（有償処分場）
　但し、土壌検査の結果受け入れ可能な残土とする。
　（高山市前原町363番外地内/大山土木㈱管理地内）
　※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。

㊵ その他
ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について
1）ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。
2）ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

② 仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策
・防音パネル　⊙防音シート　(2.1.3)
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲　・図示による

② 足場等　(2.2.1)(表2.2.1)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場　⊙設置する
　（設置範囲　・工事に必要な範囲　⊙図示による　・　）
　・設置しない
防護シート　⊙設置する
　（設置範囲　・工事に必要な範囲　⊙図示による　・　）
　・設置しない
内部足場　⊙設置する（※脚立、足場板等　⊙棚足場）　・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法
　種別（・A種　⊙B種　・C種　・D種　・E種）
　C種：利用可能なエレベーター　（・図示による　・　）
　D種：利用可能な階段　（・図示による　・　）

③ 既存部分の養生
養生方法等　(2.3.1)
⊙既存部分　養生方法（※ビニルシート、合板　・　）
・既存家具、既存設備等　養生方法（※ビニルシート等　・　）
・養生ブラインド、カーテン等
　養生方法（※ビニルシート等　・　）
　保管場所（・図示による　・　）
・固定された備品、机、ロッカー等の移動　・図示による
既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

④ 仮設間仕切
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　⊙図示による（参考）　(2.3.2)(表 2.3.1)
仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	⊙せっこうボード 種類（・　） 厚さ（・　mm　※9.5mm）	⊙無し ・片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
⊙B種	・合板 材種（・　） 厚さ（・　mm　※9mm） ・		
⊙C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・無し	・　か所
・	・	・片面	・図示による

5 監督職員事務所
・構内既存建物の一部を使用する。　(2.4.1)
・構内に新設する。　規模（㎡程度）　・10　・20　※35　・65　・100

⑥ 工事用水
構内既存の施設　※利用できる（※有償　・無償）　・利用できない

⑦ 工事電力
構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）

8 確認済の表示
建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。
　※適用する　・適用しない

9 イメージアップ
工事概要及びイメージパースを印刷した看板を　箇所設置する。
なお、内容、設置位置については監督員と協議する。

⑩ 建設現場環境改善対象工事
・担い手確保のための建設現場環境改善対象工事
　「岐阜県都市建築部公共建築課発注の建設現場環境改善モデル工事実施要領」に基づき、「快適トイレ」を設置すること。

③ 防水改修工事

① 一般事項
防水工事は、専門業者の責任施工とする。
受注者は、防水材料製作所及び防水施工者と連名で年限保証する。
なお、防水の保証年限は、10年とする。

高日射反射率防水は、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。
日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。

② 施工数量調査
・行う　⊙行わない　(1.6.2、3)
　調査範囲　・図示による
　調査方法　・図示による
　既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示による
　調査報告書（提出部数　・2部　・　）

③ 降雨等に対する養生方法（とい等）
※(3.1.3)(5)(ア)～(ウ)による　・　(3.1.3)

④ 既存防水の処理
既存保護層の撤去　(3.1.4)(3.2.3、4、6)
　・行う（範囲　・図示による　・　）　・行わない
既存防水層の撤去
　⊙行う（範囲　⊙図示による　・　）　・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
　・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）　・行わない

⑤ 既存下地の処理
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　⊙図示による　(3.2.6)
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
　※(3.2.6)(4)(ウ)(g)①～③による　・

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
　※監督員と協議する　・図示による

6 アスファルト防水
屋根保護防水（既存）　(3.3.2～5)
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・P1B	・B-1 ・B-2			
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		（種類） ※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA（スキン層付き） （厚さ）（mm）　・	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
・P1BI	・BI-1 ・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※(表3.3.3)から(表3.3.9)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※(表3.3.3)から(表3.3.9)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上
　床タイル張り　※水下　60mm以上
立上り部の保護工法
　・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
　　窯業系パネルⅠ類（厚さ　(mm)、幅　(mm)）
　・れんが押え（※JIS R 1250　・　）
　・コンクリート押え
　・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		(3.3.2)(9) （種類） ・ （厚さ）（mm） ・	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※(表3.3.3)から(表3.3.9)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　※(表3.3.3)から(表3.3.9)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
　※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
　設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）

屋内防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　）　・設けない
E-1の工程3を行う部位　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
屋上排水溝　※図示による

7 改質アスファルトシート防水
屋根露出防水（既存）　(3.4.2、3)
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※適用する	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1					※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3					※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		(3.4.2)(3)(ウ) （種類） ・ （厚さ）（mm） ・			※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※(表3.4.1)から(表3.4.3)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※(表3.4.1)から(表3.4.3)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　※(表3.4.1)から(表3.4.3)による
　・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　　用途による区分　・露出単層防水用　・露出複層防水用
　　　　　　　　　　・非露出単層防水用　・非露出複層防水用
　　材料による区分　※R種
　　厚さ（　）mm以上
立上り部の押え金物 の材質、形状及び寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　※改質アスファルトシートの製造所の指定
　設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定　・　（個）
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート　・設置する　・設置しない

⑧ 合成高分子系ルーフィングシート防水
新設防水層の種別　(3.5.2～4)(表3.5.1～3)

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・POS ・S4S	・S-F1			・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S-F2					※適用する	
	・S-M1			・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	
	・S-M2					※適用する	
⊙S3S	・S-F1	・プレキャストコンクリート下地 ・		・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ⊙設けない
	⊙S-F2 ⊙S-M2	⊙プレキャストコンクリート下地 ・				※適用する	
・M4S	・S-M1			・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					※適用する	
・S3S	・SI-F1	・プレキャストコンクリート下地 ・	(3.5.2)(3)(エ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25 ・50	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI-F2	・プレキャストコンクリート下地 ・				※適用する	
	・SI-M1		(3.5.2)(3)(エ)(a) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・　・25 ・50	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	・ルーフィングシート製造所の仕様 ・	※適用する	
	・SI-M2					※適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　※非歩行仕様　・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム　・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※7mm以下
・P1S			・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
　目地割　※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度　・
　目地の種類　※押し目地　・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
　※(表3.5.1)から(表3.5.3)による
　⊙JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
　　種類（塩化ビニル樹脂系）、厚さ　⊙（　1.5　）mm以上

絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・
固定金具の材質、形状及び寸法
　※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
　・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　※ルーフィングシートの製造所の仕様
　設置数量　※ルーフィングシートの製造所の仕様　・　（個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
　・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
　・行う（・図示による　・　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

9 塗膜防水
新設防水層の種別　(3.6.2、3)

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様	※適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　※主材料の製造所の仕様　・
　設置数量　※主材料の製造所の仕様　・　（個）

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

⑩ シーリング
シーリング改修工法の種類　(3.1.4)(3.7.2、3、7、8)
　⊙シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
　・拡幅シーリング再充填工法
　・ブリッジ工法
　　ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
　　エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
　下表以外は、(表3.7.1)による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
開口部、目地、取り合い部	MS-2

仕上げを行わない施工箇所　・図示による
シーリング材の目地寸法　※3.7.3(1)による　・図示による　・
シーリング材の接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

⑪ とい
といその他の材種　(3.8.2、3)
　⊙配管用鋼管　⊙硬質ポリ塩化ビニル管　・ルーフドレン
　⊙表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
とい受金物
　材種　※(3.8.2)による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
　形状　※市販品（とい径100以下）
　　　　※25×74.5以上（とい径100を超えるもの）　・
　取付け間隔　※(3.8.2)による　・
足金物
　材種　※(3.8.2)による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
　形状　※市販品　・
　取付け間隔　※(3.8.2)による　・
多雪地域　⊙適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　⊙ホース、CD管等
鋼管製といの防露巻き　※(表3.8.4)による　・
ルーフドレンの材種その他

種別		呼び	施工箇所
⊙ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　⊙100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け　※図示による
ルーフドレンの取付け
　※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
　・

⑫ アルミニウム製笠木
種類　⊙オープン形式（⊙押出225形　・押出300形　・押出350形）　(3.9.2、3)
　　　・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
　　　　本体幅（　）mm、板厚（※2.0mm　・　mm）
表面処理　種別（ BB-2 ）種
　　　　　色合等　⊙標準色（　）　・特注色（　）
既存笠木等の撤去　⊙行う（範囲　⊙図示による　・　）
　　　　　　　　　・行わない
下地補修の工法　※図示による　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示による　・
笠木の固定金具の工法等
　1章 適用基準による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法計算書を提出し監督員の承諾を得ること。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	建築工事仕様書（2）		
縮　尺	―	番 号	95　枚の内　02　号
設計年月日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範　大臣登録　第209067号		
高　山　市			

章	項目	特記事項

③ 防水改修工事

⑬ 長尺金属板葺

[13.2.2、3][表13.2.1、2]

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺工法	備考
屋根	※JIS G 3322の屋根用(着色 ・有) ・	⊙S類 (AZ150) ・	⊙0.4 ・0.5	⊙心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・縦掛葺 ・横掛 ・	カバー工法

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940　⊙図示
　・改質アスファルトルーフィング下葺材
　(・一般タイプ　・複層材タイプ　・粘着層付タイプ)
横葺きの場合のけらば納め　・つかみ込み納め　・けらば包み納め
工法
　1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
雪止め　⊙設置する(形状及び施工箇所　⊙図示による　・　)
　・設置しない

14 折板葺

[13.3.2、3]

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ﾋﾟｯﾁ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かな合型			(　)種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
	・			・				

材料　折板の材質の種類 (・JIS G 3322の屋根用 (着色 ・有) ・　)
　塗膜の耐久性の種類、めっき付着量 (・5種 (AZ150) ・　)
断熱材張り　・行う (種別:　厚さ(mm):　防火性能:　時間)
　・行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
積雪性能に対応した工法の適用　・適用する　・適用しない
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法
雪止め　・設置する(形状及び施工箇所　・図示による　・　)
　・設置しない

④ 外壁改修(共通事項)

① 施工数量調査

※行う　・行わない　(1.6.2、3)
　調査範囲　※外壁改修範囲　・図示による
　調査内容
　　ひび割れの幅及び長さを調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
　　モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。
　　コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
　　塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
　既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示による
　調査報告書(提出部数 ⊙2部　・　)

・既存塗膜の付着力試験
　試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する

④-1 外壁改修(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)

1 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　(4.1.4)(4.2.4～7)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
　抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　・
　抜取り部の補修方法　※図示による
　・目視により充填状況を確認する
・Uカットシール材充填工法
　・シーリング材
　　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　　シーリング材のうえにﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填　・行う　・行わない
　　シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
　・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

・充填工法　(4.1.4)(4.2.4、7)
　・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・

④-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)

① ひび割れ部改修工法

⊙樹脂注入工法　(4.1.4)(4.3.5～8)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
　抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　・
　抜取り部の補修方法　※図示による
　・目視により充填状況を確認する
⊙Uカットシール材充填工法
　⊙シーリング材
　　充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・
　　シーリング材のうえにﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの充填　⊙行う　・行わない
　　シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
　・可とう性エポキシ樹脂
⊙シール工法
　・パテ状エポキシ樹脂　⊙可とう性エポキシ樹脂

② 欠損部改修工法

⊙充填工法　(4.1.4)(4.3.9、10)
　⊙エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル
・モルタル塗替え工法
　・現場調合材料(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
　・既調合材料(　)
　既製目地材　・使用する(形状　・図示による　・　)
　仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示による

④-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)

1 タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等　(4.4.5、8)

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水性区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすりの施ゆう	無ゆう	役物の有無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐汚れ性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き　・行う(施工箇所:　)　・行わない
試験張り　・行う(範囲、仕様等は図示による)　・行わない

2 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　(4.1.4)(4.4.5、6)

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・

注入状況の確認方法　※コアの抜取りを行う
　抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　・
　抜取り部の補修方法　※図示による
　・目視により充填状況を確認する

3 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　(4.1.4)(4.4.5、7、8)
　接着剤の種類
　　・ポリマーセメントモルタル
　　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・タイル張替え工法
　張替え用材料
　　・接着剤　JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・張付けモルタル(・現場調合材料　・既調合モルタル)
　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　　※(表4.4.2)による　・図示による
　外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験
　　・行う　・行わない
・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒らし工法((4.3.10)(3)による)　・
　タイル張りの工法
　　・外装タイル(・密着張り　・改良圧着張り)
　　・ユニットタイル(・マスク張り　・モザイクタイル張り)
　シーリング　改修特記仕様書3章 防水改修工事による
・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
　モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒らし工法((4.3.10)(3)による)　・
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・
　　伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・
　シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

4 浮き部改修工法

(4.1.4)(4.4.5、9～15)(4.5.9～15)

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	指定部	注入量(mL/箇所)
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	－	－	※25 ・
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※16 ・	－	－	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法	－	－	－	－	－
・モルタル塗替え工法	－	－	－	－	－

アンカーピンの材質
　※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピンの材質
　※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
　・
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm²)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm²)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm²)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

　保水係数　0.35～0.55
　粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
　⊙エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
　・現場調合材料(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)
　⊙既調合材料(　)
　既製目地材　・使用する(形状　・図示による　・　)
　仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示による

④-4 外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)

① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

※工程工法は図示による(フロー図参照)　(4.5.4)

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	⊙ひび割れ部改修工法
⊙高圧水洗工法(30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示による	⊙浮き部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	⊙欠損部改修工法
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲面以外の既存仕上げ面全体 ・図示による	

② 下地調整塗材

※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　(4.5.2)

③ 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類　(4.1.5)(4.5.2)(表4.5.1)
⊙薄付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	参考品番
⊙可とう形外装薄塗材E(骨材着色)	⊙ﾒｰｶｰ仕様による		ｴｸｽﾀｲﾙEｺﾆｭｰｽﾄｰﾝ、ｴｽﾀｰｾﾗﾐｽﾐｴﾚｶﾞｰｽ同等品

・厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・			・適用する	・
・			・適用する	・

⊙複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
⊙複層塗材RE	凹凸	吹付	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形3種 ・	・
・	・	・	・	・	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・			樹脂 ・ ・ 外観 ・ ・ 溶媒 ・ ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
・	・	・	・	・	・

4 マスチック塗材塗り

種別　・A種　・B種　(4.1.5)(4.6.2)(表4.6.1)

5 外壁用塗膜防水材塗り

仕上げの形状　・　(4.1.5)(4.7.2、3)(表4.7.1)
工法　・
仕上塗材の耐候性　・
下地挙動緩衝材の運用　・適用する　・適用しない
　コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書第4章 外壁改修工事(コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修)による。
　モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書第4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。
吹付け工法の模様材の種類　・　(・所要量　(kg/㎡))
外壁用仕上塗料の種類　・　(・所要量　(kg/㎡))
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書第4章 外壁改修工事(塗り仕上げ外壁改修)による。

⑤ 建具改修工事

① 改修工法

(5.1.3)

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具		◯	◯	⊙建具表による
・樹脂製建具		－		・建具表による
・鋼製建具	・外部			・建具表による
	・内部			・建具表による
⊙鋼製軽量建具				⊙建具表による
・ステンレス製建具				・建具表による

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方　※図示による
　新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示による
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

② 防火戸

⊙指定する　適用箇所 (⊙建具表による　・　)　・指定しない (5.1.4)
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・連動させる　(・建具表による　・　)　・連動させない

3 見本の製作等

建具見本の製作　・行う(建具符号:　)　・行わない　(5.1.5)
建具見本製作の目的:(　)
特殊な建具の仮組　・行う(建具符号:　)　・行わない

4 防犯建物部品

・適用する　適用箇所(・建具表による　・　)　・適用しない (5.1.7)

⑤ アルミニウム製建具

性能値等　(5.2.2～5)(表5.2.2)
　耐風圧性の等級(・　)(建具符号　・建具表による　・　)
　気密性の等級(・　)(建具符号　・建具表による　・　)
　水密性の等級(・　)(建具符号　・建具表による　・　)
　外部に面する建具の種別
　　・A種(建具符号　・建具表による　・　)
　　⊙B種(建具符号　・建具表による　・　)
　　・C種(建具符号　・建具表による　・　)
　枠の見込み寸法 (⊙建具表による　・　)
　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級(　)
　　(建具符号　・建具表による　・　)
　断熱ドア・断熱サッシG　断熱性の等級(　)
　　(建具符号　・建具表による　・　)
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
　表面処理
　　外部に面する建具　種別　・BB-1種　⊙BB-2種　(表5.2.2)
　　着色　⊙標準色　・特注色
　　屋内の建具　種別　・BC-1種　⊙BC-2種　(表5.2.2)
　　着色　⊙標準色　・特注色
　結露水の処理方法　⊙水貯め式　・排水式
工法　水切り板、ぜん板　※図示による

⑥ 網戸等

(5.2.3)(5.3.3)

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・合成樹脂製 ⊙ガラス繊維入り合成樹脂製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7 樹脂製建具

性能値等　(5.2.2)(5.3.2～5)
　外部に面する建具の種別
　　・A種(建具符号　・建具表による　・　)
　　・B種(建具符号　・建具表による　・　)
　　・C種(建具符号　・建具表による　・　)
　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級(・T-1　・T-2)
　　(建具符号　・建具表による　・　)
　断熱ドア・断熱サッシG　断熱性の等級(・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8)
　　(建具符号　・建具表による　・　)
　外部に面する建具の日射熱取得性の等級(　)
　枠の見込み寸法(・建具表による　・　)
材料
　ガラス　※複層ガラス　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・
形状及び仕上げ　表面色　・標準色　・特注色
工法　水切り板、ぜん板　※図示による

8 鋼製建具

性能値級　(5.2.2)(5.4.2～4)(表5.4.2)
　簡易気密型ドアセット　・適用する(建具符号:・建具表による　・　)
　　・適用しない
　外部に面する建具の耐風圧性　耐風圧性の等級(・　)
　　(建具符号:・建具表による　・　)
　防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級(・　)
　　(建具符号:・建具表による　・　)
　断熱ドア・断熱サッシG　断熱性の等級(・　)
　　(建具符号:・建具表による　・　)
　耐震性能　建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1　・
　ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
　鋼板類の厚さ(mm)　※(表5.4.2)による　・　mm(使用箇所:　)
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築)		
図名	建築工事仕様書(3)		
縮尺	—	番号	95 枚の内 03 号
設計年月日	令和8年6月		
設計	有限会社 新井設計事務所 1級建築士 荒井 俊範 大臣登録 第209067号		

高山市

章	項目	特記事項

⑤ 建具改修工事

⑨鋼製軽量建具

性能値級 (5.2.2)(5.5.2～4)
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
⊙適用しない
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 （・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシK 断熱性の等級 （・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ⊙カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ(mm) ※(表5.5.1)による ・ mm（使用箇所： ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による ・

10 ステンレス製建具

性能値級 (5.2.2)(5.4.2)(5.6.2～5)
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 （・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシK 断熱性の等級 （・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・
ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・
形状及び仕上げ
表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

⑪木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ (5.7.2～4)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※(5.7.2)(2)(イ)(a)による ・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板K	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木化粧合板K	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
⊙特殊加工化粧合板K	化粧加工の方法 ※プリント ⊙ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・MDF K		

表面板の厚さ ※(表5.7.6)による ・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する
⊙かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
枠、くつずりの材料 ・建具表による ・

⑫建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 (5.8.1～3)
※(表5.8.1)により適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※(表5.8.2)による ・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※(表5.8.3)による ・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※(表5.8.4)による ・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※(表5.8.5)による ・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
※建具表による ・
⊙シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠（品質・性能、試験方法は別表による）
⊙クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

⑬鍵

マスターキー ⊙製作する ・製作しない (5.8.4)
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組（室名札付き） ・
鍵箱 ・無し ⊙有り

14 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 ・建具表による (5.9.2、3)
・引き戸用駆動装置
性能値
※(表5.9.1)による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車いす使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※(表5.9.2)による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）

・引き戸用検出装置
性能値
※(表5.9.3)による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・
タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車いす使用者用便房スイッチの種類
・大型押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ
凍結防止措置 ・適用する ・適用しない

⑮自閉式上吊り引戸装置

性能値等 (5.10.3)
※(表5.10.1)による
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区画 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

16 重量シャッター

シャッターの種類 (5.11.2、3)
・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa
開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） ・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
※設ける（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
※設ける （設置箇所 ・建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ・

17 軽量シャッター

開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式（手動併用） (5.12.2～4)
耐風圧強度（ ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

18 オーバーヘッドドア

(5.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・50 ・75 ・100 ・125	※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ・電動式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾟｰﾁｶﾙ形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
※設ける （設置箇所 ・建具表による ・ ）
・設けない（設置箇所 ・建具表による ・ ）

⑲ガラス

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 (5.14.2～4)
⊙建具表による ・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による ・
⊙網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による ・
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による ・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
⊙建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による ・
性能による種類
・1種 ・2種
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による ・
断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による ・
日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A類 ・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による ・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

⑳ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ

(5.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
⊙150×150	⊙95 ・	⊙建具表による	10		
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材 ※図示による
力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・
寸法 ※径5.5mm ・
形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・
化粧目地モルタルの色 ⊙白 ・グレー）
シーリングの種類 （⊙SR-1 ・PS-1）
金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ⊙アルミニウム製
寸法 ※図示による
形状 ※図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による ・
工法
1章 適用基準による風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

㉑ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整ﾌｨﾙﾑK	・SC-1	・SC-2	
・低放射ﾌｨﾙﾑ	・LE		
・衝撃破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GI-1	・GI-2	
・層間変位破壊対応ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	・GD-1	・GD-2	
⊙建具表による			

品質 JIS A 5759による。

⑥ 内装改修工事

①改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 (6.1.3)
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま ⊙図示による

②既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） (6.2.2)
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法 ⊙機械的除去工法 ・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章 外壁改修工事による。
改修後の床の清掃範囲 ※図示による

3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 (6.3.2)
※(4.4.9)によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示による）
・

④施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 (6.5.2)
※F☆☆☆☆又は(6.5.2)(1)(ウ)(b)による ・

⑤製材K

⊙JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
⊙図示による		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上・	※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
⊙ 図示による		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・	※A種 ・B種 ・	・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・	※A種 ・B種 ・	・

⑥造作用集成材K

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (6.5.2)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
⊙図示による		ナラ	⊙図示による		※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

⑥ 内装改修工事

7 造作用単板積層材K

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・	・

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 (6.5.2)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
				・	・
				・	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・	・
			※14%以下 ・	・	・

・JAS 3079に基づく直交集成板K

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

⑧合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板K (6.5.2)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
⊙図示による	※5.5 ・ ⊙12	⊙図示による	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・	・
					・	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板K

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用
⊙図示による	※2級以上 ・1級		※1類 ⊙特類	※C-D以上 ・	※12 ⊙9	・適用する （ ） ・適用しない	・	・
							・	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板K

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・特類 ・1類	・	・
				・	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板K

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理の適用
			・1類 ・2類	・
				・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板K

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類 ・2類			・
					・

・パーティクルボードK

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法

・MDF K

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

⑨接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (6.5.3)
※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（(表6.5.3～5)に示す程度の市販品 (表8.20.1)のF種程度）
・ （形状： 、寸法： 、材質： ）

⑩接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ (6.5.3、4)

11 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (6.5.5)

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
・	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS A 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（ ）

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築)		
図 名	建築工事仕様書 (4)		
縮 尺	―	番 号	95 枚の内 04 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設 計	有限会社 新井設計事務所 1級建築士 荒井 俊範 大臣登録 第209067号		

高 山 市

章	項目	特記事項

⑥ 内装改修工事

⑫ 内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　※杉又は松　(6.5.6)
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　※杉又は松

⑬ 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　(6.5.7)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

⑭ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　(6.6.2～4)
屋外　※25型　・19型
屋内　※19型　・25型
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による　⊙900mm程度
※軒天井については計算書提出の上間隔を決定すること
周辺部の端からの間隔　・図示による　⊙150mm以内
野縁の間隔　⊙図示による　・
既存の埋込みインサート　・使用する　⊙使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
⊙行う　※屋外3箇所
試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所　・　(　　)箇所
引張試験にて確認する強度
※つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・(　　)N
・行わない
つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　⊙ 全ての天井下地材　　）
（補強方法　※図示による　⊙ 耐震金物による取付　　）

⑮ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類　(6.7.3、4)(表6.7.1)
※(表6.7.1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※(6.7.4)(5)による　・

⑯ ビニル床シート G

(6.8.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	・無地 ⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ⊙柄物	※2.0 ・	

接合部の処理　※熱溶接工法　・

17 ビニル床タイル G

(6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考
※KT(ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・TT(単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FT(複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・FOA(置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ)	・無地 ・柄物	・	・	

18 特殊機能床材

(6.8.2)
・帯電防止床シート
種類　(　　)
性能　(　　)
厚さ　(　　)mm
・帯電防止床タイル
種類　(　　)
性能　(　　)
寸法　(　　×　　)mm
厚さ　(　　)mm
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類　(　　)
形状　(　　)
・耐動荷重性床シート
種類　(　　)
厚さ　(　　)mm
・防滑性床シート
種類　(　　)
厚さ　(　　)mm
・防滑性床タイル
種類　(　　)
寸法　(　　×　　)mm
厚さ　(　　)mm

⑲ ビニル幅木

材質の種類　・軟質　・硬質　(6.8.2)
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

20 ゴム床タイル

種類　・単層品　・複層品　(6.8.2)
色柄　(　　)
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法　(　　×　　)mm

21 ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き G

・織じゅうたん　(6.9.2、3)(表6.9.1)

織り方	ﾊﾟｲﾙ形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄（※模様のない無地　・　　）
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）　・
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ8mm
・
・ タフテッドカーペット

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用	・5～7　・ ・4～6　・ ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用する ・適用しない	

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

⑥ 内装改修工事

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・ｶｯﾄ・ﾙｰﾌﾟ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物
材質　(　　)
種類　(　　)
形状等　※図示による

㉒ 合成樹脂塗床

(6.10.2、3)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷﾝ樹脂系塗床	器具庫 A	・薄膜流し展べ工法 ⊙厚膜流し展べ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
⊙薄膜型塗床材	ｷﾞｬﾗﾘｰ		※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

㉓ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り G

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等　(6.11.2～6)
※(6.11.2)(2)による　・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
※フローリングは日本フローリング工業会による責任施工とする。
・単層フローリング　(フローリングボード1等)
工法　・釘留め工法（・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　※なら
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない
・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種　・
厚さ(mm)　・
大きさ　・
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

⊙複合フローリング
工法　⊙釘留め工法（・根太張り　⊙直張り）
⊙接着工法
樹種　※なら
種別　⊙A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・適用する　⊙適用しない

接着工法の場合の不陸緩和剤
※合成樹脂発泡シート
⊙現場塗装仕上げ
※ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜｰｽ塗り　・ｵｲﾙｽﾃｲﾝの上、ﾜｯｸｽ塗り　・生地のままﾜｯｸｽ塗り

24 畳敷き

(6.12.2)
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・[表12.6.1]による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・
畳表及び畳床にはホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　・C2）

㉕ せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　(6.13.2、3)
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量　※(6.13.2)(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板（タイプ2） 普通ボード　0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層版	
・火山性ガラス質複層版 種類　※図示による	※図示による
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による　・3　・7　・9　・12
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・研磨板(RN) ・研磨板(RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ(DE)	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ(A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板(VN) ・研磨板(VS)	※図示による　・10　・12　・15　・18
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV) ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ・塗装(DC)	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）

⑥ 内装改修工事

吸音材料

⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(DR) ⊙ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9（不燃）　⊙12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による　・25
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み)
せっこうボード	
⊙せっこうボード(GB-R)	※12.5（不燃）　・15（不燃）
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S)	・12.5（・不燃　・準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F)	・12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D)	・木目 12.5（不燃）幅440mm程度 模様（・柾目　・板目）専用下地材有り ⊙ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ(GB-L)	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）
合板類	
⊙普通合板 G 表板の樹種名：シナ 板面処理： 防虫処理（・行う　・行わない）	※図示による　・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防虫処理（・行う　・行わない）	※図示による　・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装） 表面性能　・ 防虫処理（・行う　・行わない）	※図示による　・

天井のﾎﾞｰﾄﾞ類（ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板を除く）の重ね張りを行う場合　※図示による
合板類の張付け　⊙A種　⊙B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法等
目地工法の種類　※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のｴｯｼﾞの種類　・ﾍﾞﾍﾞﾙｴｯｼﾞ　・ｽｸｴｱｴｯｼﾞ

㉖ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　(6.14.2、3)

施工箇所	壁紙の種類							防火性能		備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他				
事務室	・	・	⊙	・	・	・	・	・不燃	⊙準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別　※B種　・A種

㉗ モルタル塗り

モルタル　⊙現場調合材料　・既調合材料　(6.15.3、5、6)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
⊙設けない
床の目地　・設ける　目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
目地の種類　※押し目地　・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による

㉘ タイル張り

伸縮目地の位置　(6.16.2～4)
床タイル　※縦、横とも4m以内ごと　・図示による　・
床タイル以外　・図示による　・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き　・行う（施工箇所：　　）　⊙行わない
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　⊙行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
⊙	図示による		・	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既製調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）
壁タイル張りの工法
内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	再生材料の適用 G	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

29 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り

塗厚(mm)　・　(6.17.2、3)

⑦ 塗装改修工事

①材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　(7.1.3)
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：　　）

②下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　(7.2.1～7)
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示による　・
既存さび止め塗料の鉛含有量調査　・行う（　　箇所）　⊙行わない
⊙既設塗装面にｳﾚﾀﾝ吹付を行う箇所は下地調整ＲＢ種とする。

⑦ 塗装改修工事

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別（塗替え）	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	－
鉄鋼面	※RB種（⊙RA種	－
亜鉛めっき鋼面	※RB種　・	－
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種	－
モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種 ⊙RA種	⊙行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) 及びALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面 及びコンクリート面(DP)	・RA種　・RB種　・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種	－

③素地ごしらえ

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DP）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種　・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種　・A種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

④錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　(7.3.2～7)

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP 工程の種別は (表7.4.3)	塗替え	As種	※C種
		新規見え掛り	As種	※A種
		新規見え隠れ	As種	※B種
	EP-G 工程の種別は (表7.4.3)	塗替え	※Bs種　・As種	※C種
		新規見え掛り	※Bs種　・As種	※A種
		新規見え隠れ	※Bs種　・As種	※B種
	DP 工程の種別は (表7.4.4)	塗替え	(7.4.2)(1)(ｲ)(b)による	⊙B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	(7.4.2)(1)(ｲ)(a)による	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP 工程の種別は (表7.4.5)	塗替え	※Az種　・Bz種	※C種
		新鋼製建具等	※Az種　・Bz種	※A種
		規その他	※Bz種	※B種
	EP-G 工程の種別は (表7.4.5)	塗替え	Cz種	※C種
		新鋼製建具等	Cz種	※A種
		規その他	Cz種	※B種
	DP 工程の種別は (表7.4.6)	塗替え	Bz種	※B種
		新規	Bz種	－

⑤塗装

(7.5.2～7.12.2)

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ※1種　・2種	木部屋外	※B種	※A種
	木部屋内	※B種	※B種　・A種
	鉄鋼面	※B種	※B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種 着色塗料の種類 ・(　　)	※B種　・A種 着色塗料の種類 ・(　　)
⊙アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ 3 ）級	・	－
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ 3 ）級	・	－
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有合成樹脂エマルションペイント(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種	※A種
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種	※B種　・A種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種　・B種
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	※B種　・A種
⊙自然塗料塗り(NP)		2回塗り	
⊙木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、(表7.9.1)の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、(表7.10.1)の工程１の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
・高日射反射率塗料塗り G
下地調整（表7.2.2）　・RA種　・RB種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1種 ・2種 ・3種	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程1の着色適用
・適用しない　・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色適用　・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等　・

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	建築工事仕様書（5）		
縮　尺	―	番　号	95　枚の内　05　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　山　市

章	項目	特記事項
⑧ ユニット及びその他工事	1 ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ	[20.2.2]

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
※[20.2.2](2)(ｵ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度　(　　)
パネルの平面形状（角度）の寸法精度　(　　)
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度　(　　)
帯電防止性能
・評価値(U)≧0.6以上
・評価値(U)≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R)≧1×10⁶Ω
（品質・性能、試験方法は別表による）

2 可動間仕切 [20.2.3]

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
	スタッド	パネル			
・ｽﾀｯﾄﾞ式(内蔵) ・ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0　・12 ・20　・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具　・あり（※図示による　・　　）　・なし
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

3 移動間仕切 [20.2.4]

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(db/500HZ)
・平行方向　移動式 ・二方向　移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示による
パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

④ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ [20.2.5]

表面材の材質	脚部 種類	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・製造所の仕様による ⊙アルミニウム製 ・ステンレス製

（品質・性能及び試験方法）
建築材料・設備機材等品質性能評価事業（一般社団法人　公共建築協会）における「評価の内容」による

⑤手すり [20.2.6]
材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理（※HL程度　・　　）
・鋼製　表面処理（※[表14.2.2]による種別（・　種））
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ　表面処理（※[表14.2.1]による種別（・　種））
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
⊙集成材 （材種：　　）	製造所の仕様による	⊙35程度 ・45程度　・	階段室	
・ビニル製		・35程度 ・45程度　・		

⑥階段滑り止め [20.2.7]
材種　⊙ステンレス製　・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型（タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂等）　・タイヤレス型
端部の形状　⊙フラットエンドあり　・フラットエンドなし
寸法（幅）　・35mm程度　⊙40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑦黒板及び ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ [20.2.9]
・黒板
区分　※焼き付け
種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　・
色　※緑
⊙ホワイトボード

8 鏡 [20.2.10]
取付箇所　(　　)
寸法(mm)　・図示による
厚さ(mm)　※5

⑨表示 [20.2.11]
衝突防止表示
・設置する（設置場所：※図示による　・　　）
形状・寸法（・30φ　・　　）
材質　（・ステンレス製　・　　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等（案内用図記号はJIS Z 8210による）
※図示による

⑩ﾀﾗｯﾌﾟ [20.2.12]
材質及び仕上げ
⊙SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※[表14.2.2]による種別（※C種　・　種））

11 煙突ﾗｲﾆﾝｸﾞ [20.2.13]
適用安全使用温度　・
工法　※鋼製ユニット煙突（煙突用成形ライニング材）　・

⑫ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ [20.2.14]

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
⊙横形	⊙手動	※ｷﾞｱ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示による ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図示による ・
	・電動	―	・			

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

13 ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ [20.2.15]

操作方式	材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

⑭ｶｰﾃﾝ [20.2.16]

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
⊙ﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ⊙電動	⊙つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		⊙図示による ・	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。
暗幕ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑮ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
材料による区分　※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材　[20.2.16]
・ステンレス製
強さによる区分　※10-90
仕上げ　※アルマイト
形状　※角形

⑯ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ
溝型×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　⊙図示による
材質　・集成材（仕上げ：　　）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
[表14.2.1]による種別　・BC-1種　・BC-2種
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

⑰天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

（品質・性能、試験方法は別表による）

⑱床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ⊙ｽﾃﾝﾚｽ製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
（品質・性能、試験方法は別表による）

19 耐震ｽﾘｯﾄ

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直 ・水平	・25　・ ・25　・	※完全（全貫通型）	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛り部のみ） ・	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ） ・ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）
目地寸法(mm)	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10　・	・ｽﾘｯﾄ幅×深さ10　・

目地材の材質は[表9.7.1]による

20 止水板
形状　・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示による

21 ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ・ｼﾞｮｲﾝﾄ金物
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

22 くつふきﾏｯﾄ

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉓流し台ﾕﾆｯﾄ

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
⊙流し台	⊙1200 ・1500 ・1800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

形状　※図示による

24 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・ﾃｰﾊﾟｰ式 ・同一断面式		・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・ﾛｰﾌﾟ式	・埋込式 ・ﾍﾞｰｽ式 ・ﾊﾞﾝﾄﾞ式	

25 旗竿受金物　材種　・ステンレス製（SUS 304）　・

26 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

27 フェンス
フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　※図示による

28 ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ
ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度 [20.3.3、4]
※水セメント比55%以下、単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値300kg/m³を満足する調合強度
・図示による
配筋　※配筋を定めた計算書を監督員に提出する
・図示による
取付け方法　※図示による

29 間知石及び ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み [20.4.2、3]

材種	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	－	－	
・ｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ	－	－	・A ・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示による
伸縮調整目地　材種　・図示による
厚さ　・図示による

30 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

31 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

32 洗面ｶｳﾝﾀｰ
材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行(mm)　・約450　・約600

33 防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)		備考
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ型枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又は アルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

34 屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所　・

㉟ 収納家具
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法　※図示による

㊱ 断熱材 G
フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・

・断熱材打込み工法

種類		厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		・	・
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材（ｽｷﾝ層なし）		・	・
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材		・	・
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材		・	・
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		・	・
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材（ｽｷﾝなし）	・保温板（2種b）	・25　・	・
	⊙保温板（3種b）	・25　⊙50	⊙図示
	・	・	・
・A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材		・	・
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ保温材（3種2号を除く）		・	・

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　※A種1　・B種1
厚さ(mm)　・25　・30　⊙40　・50
施工箇所　⊙図示　・
・現場発泡断熱材
試験方法　建築材料等品質性能表による
品質・性能　建築材料等品質性能表による

⑨ 排水工事
1 屋外雨水排水
材料 [21.2.1、2][表 21.2.1、2]

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	外圧管（1種）	・B形管 ・	※図示による ・	
・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	・RF-VP G		※図示による ・	
	・RS-VU G		※図示による	
	・VP		※図示による ・	
	・VU		※図示による ・	

基床の厚さ及び種類　・図示による
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤
側塊の形状及び寸法　・図示による
排水桝の種類　・図示による
砂地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度(N/mm²)　※18
スランプ(cm)　※15又は18
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物　※[21.2.2](6)(ｵ)
材質　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）　・行う　・行わない

2 鋳鉄製ふた [21.2.1]

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾞｯｷﾝ式） ・密閉形 （ﾃｰﾊﾟｰﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形 （ﾃｰﾊﾟｰﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による

③グレーチング [21.2.1]

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	・受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ⊙U字溝用	・歩行用	・細目 ・	・ （　　）	・凹凸形 ・
			⊙T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ⊙細目	・ （　　）	・平形 ⊙凹凸形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ﾎﾞﾙﾄ固定 ・	・溝ふた（横断用）	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
		・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	―	・平形 ・

（品質・性能、試験方法は別表による）

④街きょ、縁石、及び側溝
街きょ、縁石、側溝 [21.3.1、2][表21.3.1]

種類	形状、寸法
⊙縁石	・図示による
・L形側溝	・図示による
・U形側溝	・図示による
・U形側溝ふた	・図示による
・	・図示による

砂地業に用いる材料　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　・再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ(mm)　※100　・図示による
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度(N/mm²)　※18
スランプ(cm)　※15又は18
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）　・行う　・行わない

5 埋戻し土　※B種　[21.2.1]

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）
図　名	建築工事仕様書（6）
縮　尺	― 　番号　95　枚の内　06　号
設計年月日	令 和 8 年 6 月
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範　大臣登録　第209067号

高　山　市

章	項目	特記事項
10 その他（舗装工事）	1 路床	路床の材料 [22.2.2、3、5][表22.2.1]

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（[表22.2.3](3)による）	・図示による ・
・フィルター層	[22.2.3](3)による	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）　・行う　・行わない

・路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
添加量　・　kg/m³（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　⊙行わない
路床締固め度の試験　・行う　⊙行わない
現場CBR試験　・行う　⊙行わない

	②路盤	路盤の厚さ　⊙図示による [22.3.2、3][表22.3.1]

路盤材料（[表22.3.1]による種別）
⊙クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン
・再生粒度調整砕石
・クラシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

	③ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示による [22.4.2～6][表22.4.4]

材料
アスファルト
⊙再生アスファルト（[表22.4.1]による種類：・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材
・道路用砕石
⊙アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
⊙密粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　⊙行わない

4 ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装の厚さ [22.5.2～4、6][表22.5.1、3]

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	車路及び駐車場	・図示による	・図示による
	歩行者用通路	・図示による	※70

材料
コンクリート
※普通コンクリート　[表22.5.1]による
・以下による
コンクリートの種類　（　）
設計基準強度(N/mm²)　（　）
所定のスランプ(cm)　（※8　・　）
粗骨材の最大寸法(mm)　（　）
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
※[表22.5.3]及び[図22.5.1]による
・以下による
種類　（　）
間隔　・（　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5 カラー舗装　・加熱系カラー舗装 [22.6.2～4]
構成・厚さ　・図示による
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
添加材
着色骨材（　）
自然石　（　）
・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法（配合その他：　）
・塗布工法　（配合その他：　）
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装　・
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　舗装の構成　・図示による [22.7.2、3、6]
材料
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材
（[表22.4.1]による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの
試験　開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

章	項目	特記事項
10 その他（舗装工事）	7 ﾌﾞﾛｯｸ系舗装	・コンクリート平板舗装 [22.8.2、3]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材　※砂　・空練りモルタル
普通平板は（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水平板は（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材　※砂　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは（再生材料を用いた舗装用ブロック）、透水性ブロックは（透水性コンクリート）とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70　・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70　・

クッション材　※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする
・

・ジオテキスタイル [22.9.2]
単位面積質量　・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・

	8 砂利敷き	種別 [22.9.2]

・A種（施工範囲：　・図示による　・通路　・　）
・B種（施工範囲：　・図示による　・建物周囲その他　・　）

	⑨路面標示用塗料	路面標示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	溶融	粉体状	・白	⊙150	⊙1.0
・1種	常温	液状	・	・100	・
・2種	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

章	項目	特記事項
11 その他（植栽及び屋上緑化工事）	1 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験　・行う　・行わない [23.1.3]

電気伝導度(EC)の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備　樹木の植栽基盤の整備　・適用する　・適用しない [23.2.2、4]

植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・薬張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示による　・　）　・設けない

3 植込み用土　・現場発生土の良質土　・客土 [23.2.3]

4 土壌改良材 [23.2.3]
種別及び指定量等
・バーク堆肥
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
・

5 樹木　樹種、寸法、株立数等　※図示による [23.3.2]

6 支柱　支柱材　※丸太（間伐材）、・真竹 [23.3.2、3]
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材
形式　・図示による

7 幹巻き用材料　材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも [23.3.2]

8 芝　種類　※コウライシバ　・ノシバ [23.4.2、3]
芝張りの工法
平地　※目地張り　・べた張り
法面　※べた張り法面　・目地張り

9 吹付けは種 [23.4.2]

種子の種類	発芽率	種子の量(g/㎡)	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

10 地被類 [23.4.2]

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	備考
・	・	・	・

11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 [23.3.4、6][23.4.7][23.5.5]
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

12 屋上緑化　植栽基盤及び材料 [23.5.2～4]
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示による
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成形品
植込み用土　※改良土　・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示による
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示による
（品質・性能、試験方法は別表による）
支柱　・設置する（形式：　）　・設置しない
かん水装置　・設置する（種類：・図示による　・　）
・設置しない
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日 建設省告示1458号）に基づく風圧力に対応した工法
・図示による
・

章	項目	特記事項
12 環境配慮改修工事	①石綿含有建材の除去工事	調査 (9.1.1、3～6)

※石綿含有建材の事前調査　⊙設計時事前調査済

材料名	定性分析方法 石綿の種類	推定含有率（%）	分析結果
1.岩綿吸音板+石膏ボード	クリソタイル	0.1-5	有
2.石膏ボード			無
3.塗床			無
4.外壁リシン			無
5.ｿﾞﾗｺｰﾄ	メーカー報告書		無

章	項目	特記事項
12 環境配慮改修工事	①石綿含有建材の除去工事	・石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定4		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	・計　点
・	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　点
・	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計　点
・	測定8	処理作業後	処理作業室内	・計　点
・	測定9	（シート撤去後1週間以降）	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示による
除去工法　※(9.1.3)(2)(ｱ)による　・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲　・図示による
除去工法　・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成型板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲　・図示による
隔離養生（負圧不要）方法　・図示による
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

⊙石綿含有成型板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
除去対象範囲　⊙図示による　・
除去した石綿含有成形板の処分
⊙石綿含有せっこうボード+ロックウール吸音板
※埋立処分（管理型最終処分場）
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分（安定型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲　・図示による
除去工法
・剥離剤による除去
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・集塵装置付超高圧洗浄工法
養生方法　・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分（安定型最終処分場）
・埋立処分（管理型最終処分場）
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示による

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	建築工事仕様書（7）		
縮　尺	―	番 号	95　枚の内　07　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

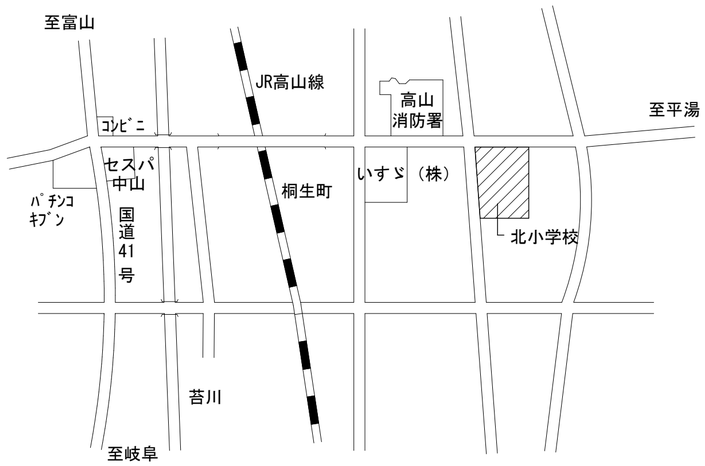
高　山　市

Ⅱ工事区分表

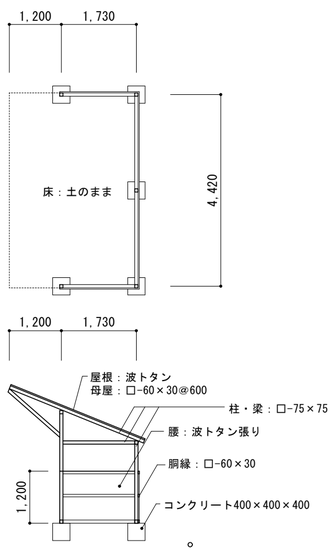
注記）発注別による各工事は、着工に先立ち、構造・仕上・工程等を十分に検討調整した後に、それぞれの工事内容を把握し下記に○印を付したものを適用して施工する。

番号	項　　目	建築	電気	機械	別途	備　考
1	躯体貫通スリーブ		○	○		
2	躯体貫通スリーブの補強	○				
3	設備機器取付け箇所の壁、天井穴あけ		○	○		
4	設備機器取付け箇所の壁、天井穴あけの補強		○	○		
5	天井、床、ＰＳの点検口	○				補強共（使用目的標示ラベル貼付）
6	設備機械用コンクリート基礎	○				取付金具は、各機器設置工事
7	設備機械用コンクリート基礎のアンカーボルト、箱入れ、埋込		○	○		
8	煙感知器連動防火扉					
9	上記扉のレリーズ以外の設備機器類のすべて					
10	煙感知器連動防火扉の電源供給配線配管					
11	防火区画貫通の防火処理	○	○	○		
12	ルーフドレン改修	○				
13	縦樋改修	○				排水管継手は専門職施工
14	縦樋の排水工事			○		
15	軒どい改修	○				
16	雨水側溝と雨水排水管	○		○		
17	陶器製掃除流し			○		附属品一式
18	キッチンユニット・ミニキッチン	○				図面に示す一式
19	上記の設備配管配線工事		○	○		
20	ステンレス製流し	○				
21	階段及び外部手摺	○				
22	衛生機器に関連する手摺			○		
23	化粧鏡			○		
24	小屋裏等の換気ｶﾞﾗﾘ	○				
25	冷暖房用電気エアコン			○		
26	冷暖房用電気エアコンの電源供給		○			
27	屋内消火栓ボックス（消火器スペース共）			○		
28	屋内消火栓ボックス設置の表示灯、発信機		○			
29	消火器ボックス				○	
30	消火器本体				○	
31	洗面器本体			○		
32	洗面器用カウンター			○		
33	小便器、洗面器の電源送り		○			
34	外構工事一式及び舗装工事	○				
35	外構工事一式及び舗装工事以外の設備配管埋設に伴う舗装改修工事		○	○		
36	木製建具・家具　※塗装、ｶﾞﾗｽ、金物を含む	○				木製建具・家具図に記載の範囲
37	グランドマスターキー作成	○				
38	防犯設備機器及び配管、配線				○	
39	暗幕カーテン	○				
40	同上一・二次配線・配管、穴あけ		○			
41	舞台緞帳	○				
42	舞台機構制御盤までの一次側電源供給接続工事		○			
43	舞台機構制御盤から操作盤までの二次側配管・配線工事	○				舞台機構（建築工事とする）
44	舞台機構制御盤からの二次側配管・配線工事	○				舞台機構（建築工事とする）
45	校内ＬＡＮシステム配管配線		○			
46	校内ＬＡＮシステム既設機器移設		○			
47	電話引込線の改修（引込口→1T-3）				○	
48	同上配管		○			
49	光ケーブル（CATV含む）引込線の改修（引込口→1T-3）				○	
50	同上配管		○			
51	まち協事務所内電話、LAN機器及び配線取外し再取付				○	
52	同上配管		○			
53	光ケーブル引込線の改修（引込口→WIFIBOX（第二体育館））				○	
54	同上配管		○			
55	太陽光発電設備（ﾊﾟﾜｰｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ二次側電源）		○			
56	既存照明、盤類、電気配管、配線類撤去		○			
57	既存衛生器具、設備機器、設備配管類の撤去		○			
58	既存土間･犬走りのコンクリートはつり、撤去､補修	○	○	○		図面に示す一式
59	外部足場と内部足場(架台足場等)	○				図面に示す一式
60	上記以外の地足場､内部足場(脚立･移動式等)	○	○	○		
61	学校使用区分との仮設間仕切と既設部分の養生	○				図面に示す一式
62						
63						
64						
65						
66						
67						
68						
69						
70						

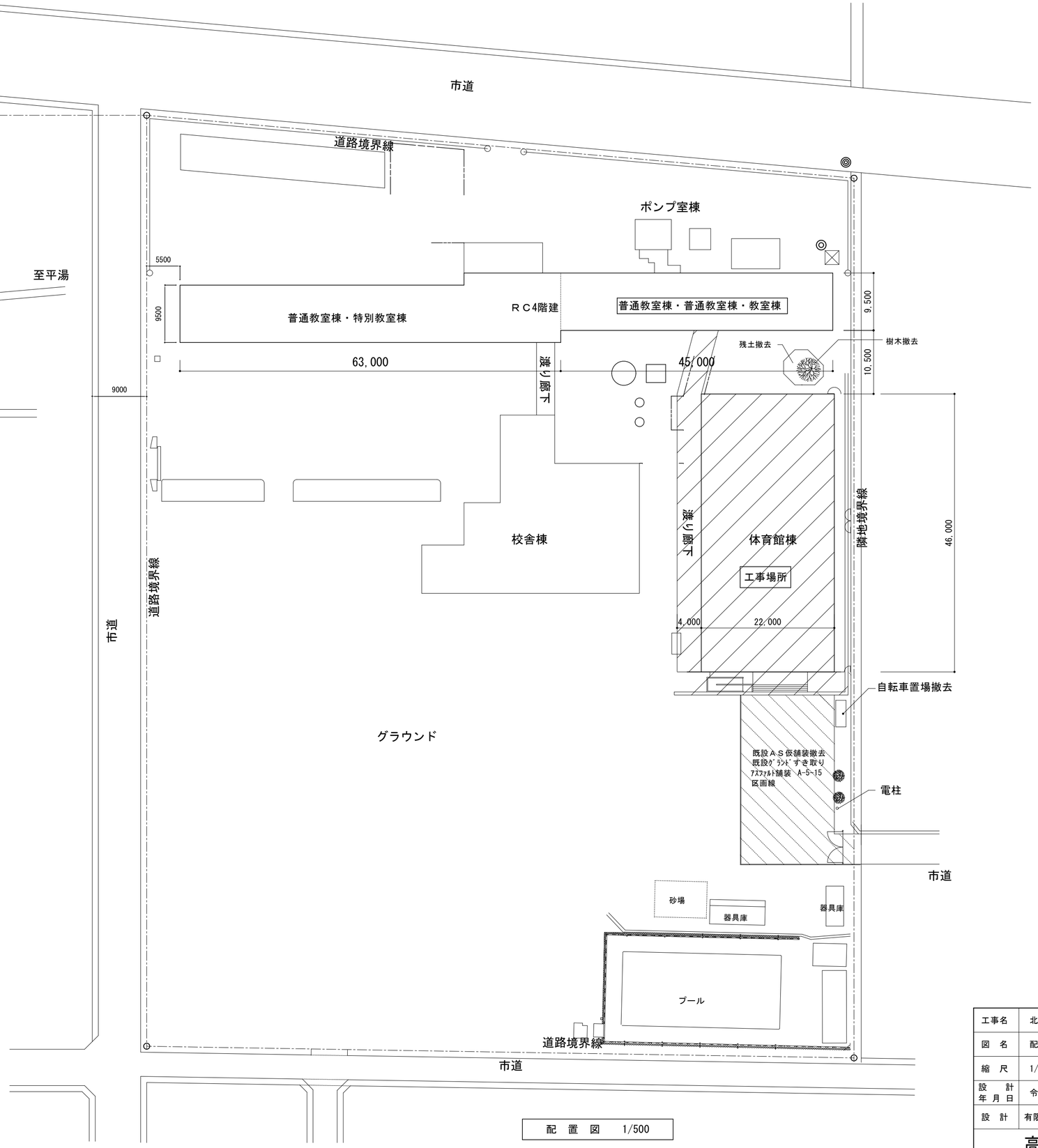
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	工事区分表		
縮　尺	―	番 号	95　枚の内　08　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			



附近見取図

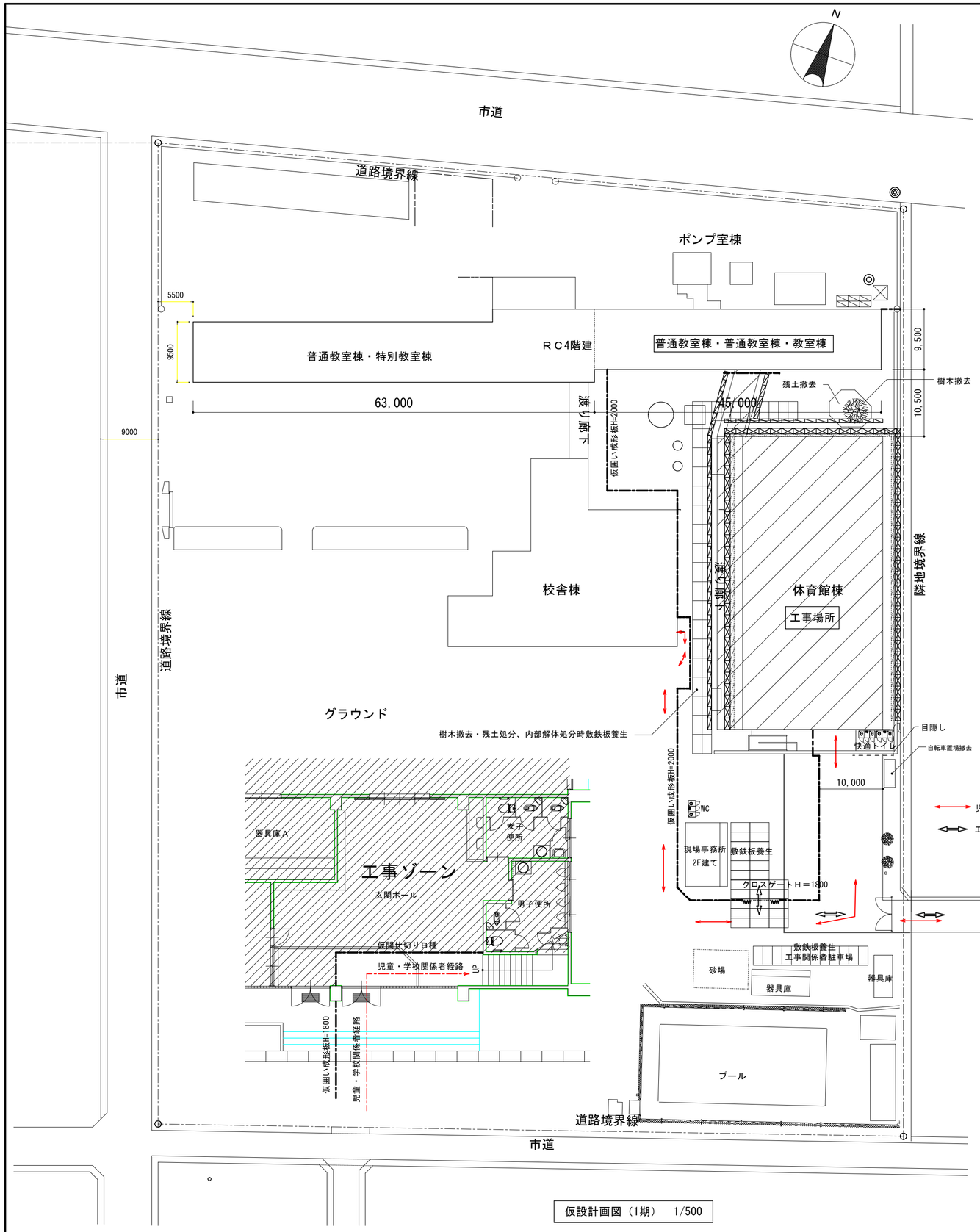


自転車置場撤去　1/100



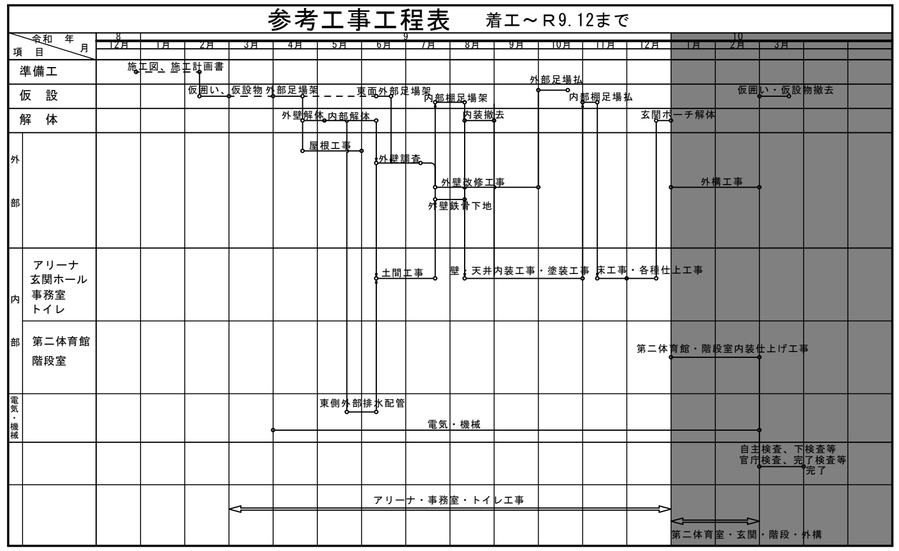
配　置　図　1/500

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	配置図・附近見取り図		
縮　尺	1/500	番 号	95　枚の内　09　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



仮設計画図（1期）　1/500

参考工事工程表　着工～R9.12まで



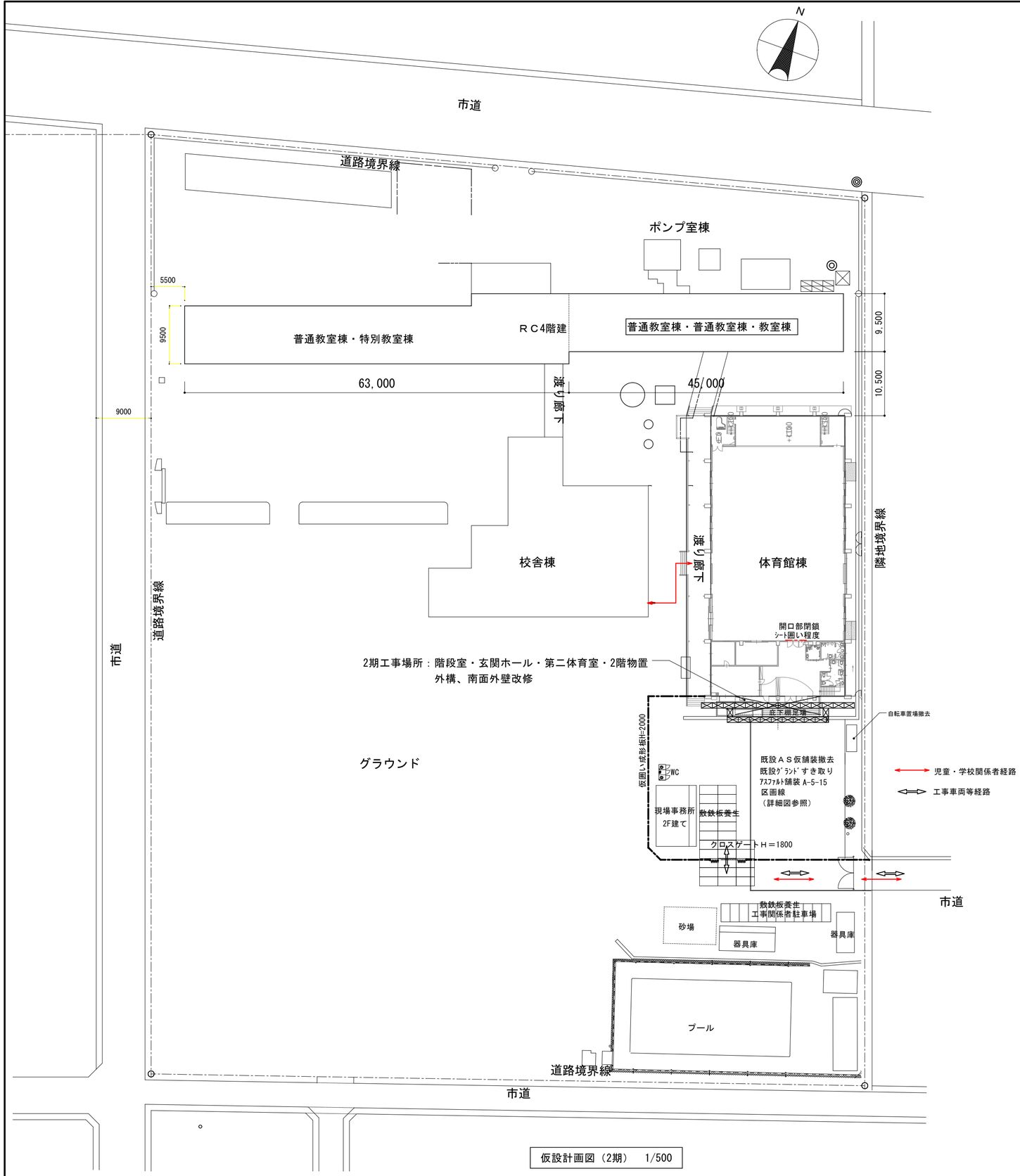
仮設計画一覧表

記　号	名　称	仕　様
	くさび緊結式足場	W900(手摺先行方式)、階段足場 ﾈｯﾄ状ｼｰﾄ張り（防炎1類）（東面のみ防音ｼｰﾄ張り）
	くさび緊結式足場	W600(手摺先行方式)、階段足場 ﾈｯﾄ状ｼｰﾄ張り（防炎1類）
	ブラケット足場	W=400～600程度 足場板共
仮囲い	仮囲い	成形鋼板　H2000
ゲート	搬入ゲート	キャスターゲート：W6000×H1800
事務所	現場事務所	組立式仮設ハウス2Ｆ
WC	仮設便所	快適トイレ仕様（汲み取式）
	搬出入経路	

工事範囲内のｸﾞﾗﾝﾄﾞ整地：敷鉄板、仮設物等撤去後、仮囲内範囲の不陸整正を行うこと。

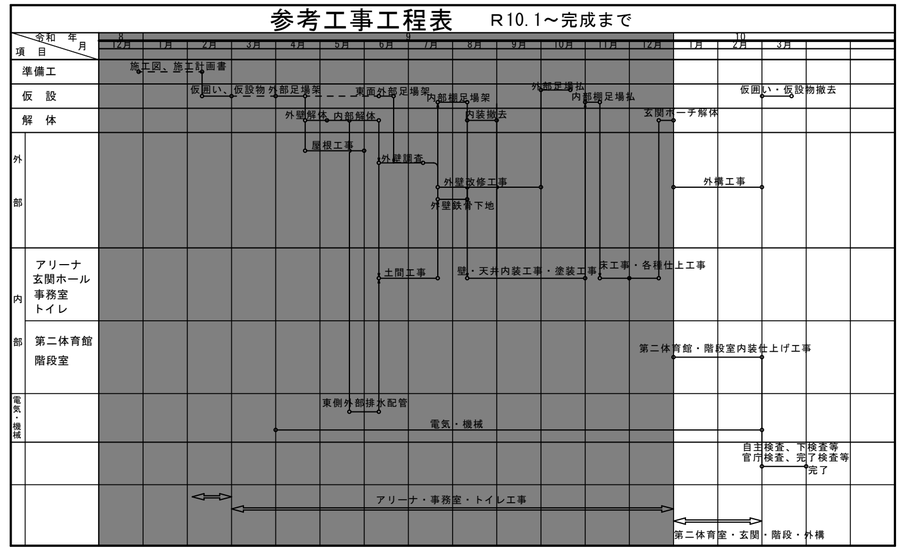
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	仮設計画図（1）【参考図】		
縮　尺	1/500	番　号	95　枚の内　10　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



仮設計画図（2期）　1/500

参考工事工程表　R10.1～完成まで



仮設計画一覧表

記　号	名　称	仕　様
	くさび緊結式足場	W900(手摺先行方式)、階段足場 防音ｼｰﾄ張り
	くさび緊結式足場	W600(手摺先行方式)、階段足場 防音ｼｰﾄ張り
	ブラケット足場	W=400～600程度 足場板共
仮囲い	仮囲い	成形鋼板：スチール製H2000
ゲート	搬入ゲート	キャスターゲート：W6000×H1800
事務所	現場事務所	組立式仮設ハウス2Ｆ
WC	仮設便所	快適トイレ仕様（汲み取式）
	搬出入経路	

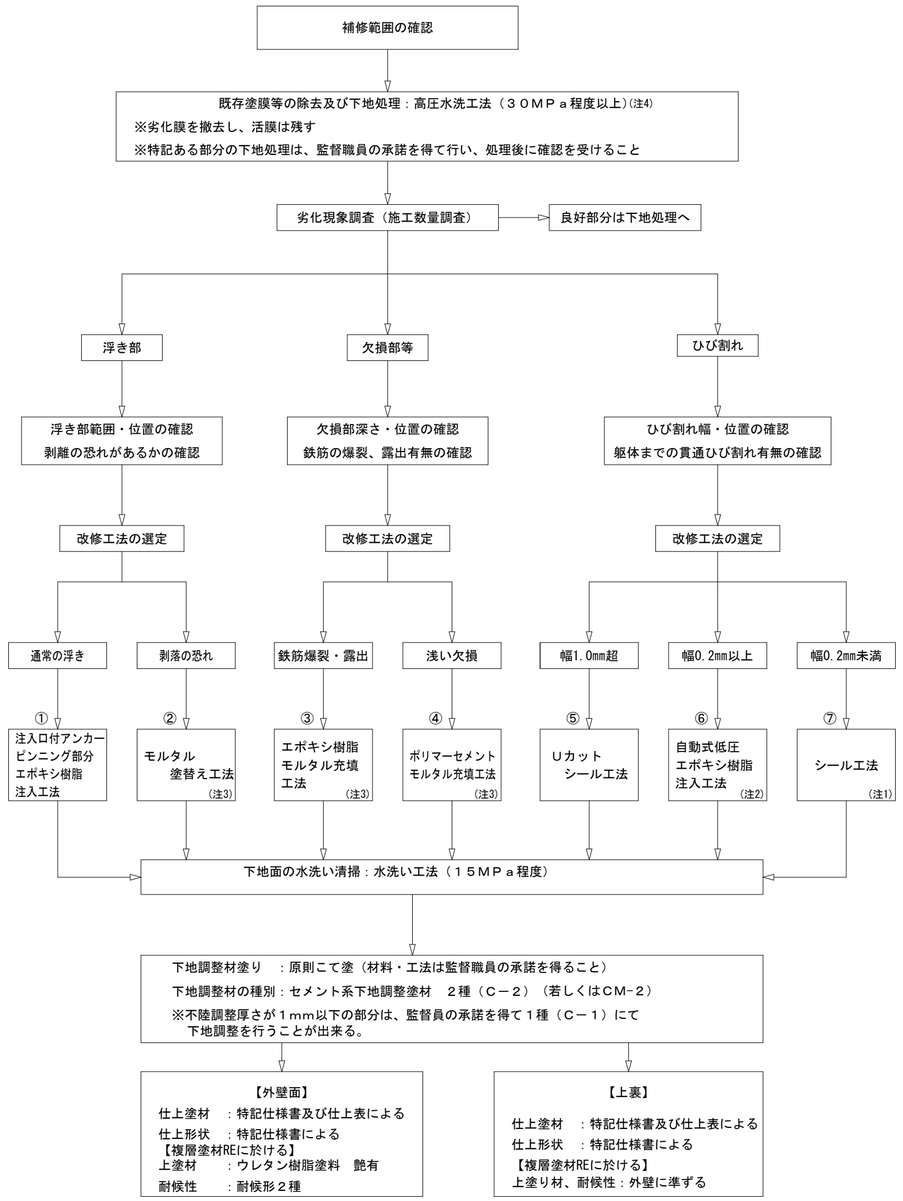
工事範囲内のｸﾞﾗﾝﾄﾞ整地：敷鉄板、仮設物等撤去後、仮囲内範囲の不陸整正を行うこと。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	仮設計画図（2）【参考図】		
縮　尺	1/500	番　号	95　枚の内　11　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

改修工法フロー図

※特記なき事項は、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版による

外壁・庇・上裏の改修フロー図（モルタル塗り仕上げ面、コンクリート打放し仕上げ面）



（注1）：モルタルが浮いている部分のひび割れ部にも施工
（注2）：モルタルが浮いていないひび割れ部に施工
　　または、モルタルが浮いている部分のひび割れで、躯体まで貫通している（挙動する）ひび割れについても施工する
　　但し、モルタルのひび割れと、躯体のひび割れがずれている場合は、躯体のひび割れに沿ってモルタルをハツリ、コンクリート面に注入施工を行うこと
（注3）：通常レベルの打撃力によって剥落する恐れのあるモルタルの浮き（0.25㎡以上／箇所）は、監督職員と協議のうえモルタル塗替え工法（②）又は充填工法（③，④）とする
（注4）：高圧水洗機の加圧力は、既存塗膜の種類及び付着力強度により異なるため、監督職員と協議のうえ試験施工を行い、３０ＭＰａ程度未満とすることができる
（注5）：巾木の改修方法については、仕上表による
（注6）仕上後補修箇所が浮き出てこない様下地処理を行うこと

モルタル浮き部

① 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル浮き部分の確認
劣化状態・面積・浮き代
下地状態
↓
穿孔位置のマーキング
（一般部分：16本/㎡当り）
また、狭幅部（幅200mm以下）には、幅中央に5本/mとする
↓
穿 孔
（コンクリート中に20mm以上の深さまで）
↓
穿孔内の清掃
（ブラシ等で清掃後、圧搾空気による切粉等の除去）
↓
注入用材の計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定量正確に計測し、均一になるまで十分練り混ぜる
計量は可使用時間内に使い切る量とする）
↓
アンカーピンの挿入
（アンカーピンの長さは、モルタルの厚みに+20mm以上）
↓
手動式注入器によりエポキシ樹脂の注入
（特記なき場合：１穴当り25cc　高粘度形）
↓
エポキシ樹脂パテ等にて孔を埋め表面を平に仕上げる
↓
養　生
↓
清掃後、自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

※樹脂注入材についてはサンプリングし硬化不良の無い事を確認する

モルタル浮き部（剥落の恐れのある0.25㎡以上の浮き）

② モルタル塗替え工法

モルタル浮き部分の確認
劣化状態・面積・浮き代
下地状態
↓
脆弱部分と健全部分を切り離し脆弱部分の除去
↓
除去部の清掃
↓
ステンレスアンカーピン打込み
ステンレスラス張り等の剥落防止
（総塗り厚が２５mm以上になる場合）
↓
プライマーの塗布
↓
モルタルの計量・練混ぜ
（機械練りを原則とし、練混ぜ量は可使用時間内に使いきれる量とする）
↓
モルタル塗り
↓
養　生
↓
清掃後、自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

欠損部等

③ エポキシ樹脂モルタル充填工法
④ ポリマーセメントモルタル充填工法

鉄筋の錆汁流出部やハガレ部の確認
（劣化状態の確認）
↓
鉄筋の錆汁流出部はつり並びにハガレ部分の撤去
↓
除去部の清掃
↓
防錆処理
（エポキシ系防錆材塗布）
↓
プライマーの塗布
↓
充填材の計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定量正確に計測し、均一になるまで十分練り混ぜる）
↓
エポキシ樹脂モルタル充填
↓
養　生
↓
清掃後、自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

ひび割れ部

⑤ Ｕカットシール工法

ひび割れ部分の確認
劣化状態・ひび割れの状態
↓
充填部の設置
W10×W10mm程度のＵ字溝彫
↓
ひび割れ部分の清掃
↓
シール材の塗布
（ヘラ等で幅10mm厚み2mm程度の塗布し表面を平滑に仕上げる）
↓
養　生
↓
清掃後、自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

ひび割れ部

⑥ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

ひび割れ部分の確認
劣化状態・ひび割れの状態
↓
ひび割れ部分の清掃
↓
注入孔位置のマーキング
↓
台座の接着
↓
仮止めシール
（ひび割れ幅を中心に幅30mm、厚さ2mm程度シールする）
↓
シール材などの養生
（仮止めシール材などが硬化するまで養生）
↓
注入用エポキシ樹脂の計量・練混ぜ
（主材と硬化剤を規定量正確に計測し、均一になるまで十分練り混ぜる
計量は可使用時間内に使い切る量とする）
↓
エポキシ樹脂注入
↓
養　生
↓
仕上（仮止めシール材除去）
清掃後、自主確認
（注入状況を目視確認）

※樹脂注入材についてはサンプリングし硬化不良の無い事を確認する

ひび割れ部

⑦ シール工法

ひび割れ部分の確認
劣化状態・ひび割れの状態
↓
ひび割れ部分の清掃
↓
シール材の計量・練混ぜ
（規定量正確に計測し、均一になるまで練り混ぜる）
↓
シール材の塗布
（ヘラ等で幅10mm厚み2mm程度塗布し表面を平滑に仕上げる）
↓
養　生
↓
清掃後、自主確認（充填状況を目視や指触により確認）

外壁・庇・上裏の改修設計数量（⊙モルタル塗り仕上げ　・コンクリート打放し仕上げ）【参考数量】

モルタル浮き部	①	（一般部分：16本/㎡）	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	76.6㎡
		（狭幅部：5本/m）	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	24.4m
	②	（剥落の恐れのある 0.25 ㎡以上の浮き）	モルタル塗替え工法	
欠損部等	③	（鉄筋爆裂部・鉄筋露出部）W00×H00×D0 mm程度	エポキシ樹脂モルタル充填工法	
		（鉄筋爆裂部・鉄筋露出部）W00×H00×D0 mm程度	エポキシ樹脂モルタル充填工法	
		（鉄筋爆裂部・鉄筋露出部）W00×H00×D0 mm程度	エポキシ樹脂モルタル充填工法	
	④	（浅い欠損）W00×H00×D0 mm程度	ポリマーセメントモルタル充填工法	
		（浅い欠損）W00×H00×D0 mm程度	ポリマーセメントモルタル充填工法	
		（浅い欠損）W00×H00×D0 mm程度	ポリマーセメントモルタル充填工法	
下地調整材		（不陸調整厚さ）1～3 mm程度	セメント系下地調整塗材　２種（Ｃ－２）	1017㎡

ひび割れ部	⑤	（1.0 mm超）	（挙動しない）	Ｕカットシール工法（可とう性エポキシ樹脂）
			（挙動する）	Ｕカットシール工法（シーリング材） 239m
	⑥	（0.2 mm以上）（0.2 mm以上～1.0 mm以下）		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 72m
	⑦	（0.2 mm未満）	（挙動しない）	シール工法（パテ状エポキシ樹脂）
			（挙動する）	シール工法（可とう性エポキシ樹脂）

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修工事フロー図		
縮　尺	―	番　号	95　枚の内　12　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範　大臣登録　第209067号		
高　山　市			

体育館　外　部　仕　上　表　（改修前、撤去・改修後）

屋　　根	改修前	長尺着色亜鉛鉄板瓦棒葺　雪止めアングル撤去　箱樋：シート防水撤去
	改修後	長尺着色ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ遮熱鋼板断熱瓦棒葺t=0.4カバー工法　（断熱材ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40　3種b）　雪止めアングル（L-50×50×4　3段）　箱樋：ＲＤ斫り撤去、耐酸被覆鋼板箱樋、ＲＤ新設、アルミ笠木新設
渡り廊下屋根	改修前	亜鉛折板SOPt＝1.0
	改修後	下地調整の上ＳＯＰ塗り替え（裏面共）
軒　　裏	改修前	アクリルリシン吹付
	改修後	高圧洗浄、下地調整の上複層塗材ＲＥ
玄　関　庇	改修前	上裏：アクリルリシン吹付
	改修後	上裏：LSG下地構造用合板t=9の上桧板張りt=12　W=105　WP
縦　　樋	改修前	体育館：ＳＧＰφ100　SOP撤去
	改修後	体育館：SGP（白）100ADP塗装（3級）
渡り廊下樋	改修前	軒樋：塩ビ折板用軒樋撤去　縦樋：ＶＰφ75撤去
	改修後	軒樋：塩ビ折板用軒樋新設　縦樋：カラーＶＰφ75新設　取り合い部：ルーフデッキH=88新設
外　　壁	改修前	東・西面一部：ＣＢt=150ﾓﾙﾀﾙﾘｼﾝ吹付撤去　北面：ＣＢt=150ﾓﾙﾀﾙﾘｼﾝ吹付　南面：ＲＣﾓﾙﾀﾙﾘｼﾝ吹付　柱・梁型：ＲＣﾓﾙﾀﾙ下地ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付
	改修後	玄関廻り・西面一部：鉄骨胴縁下地透湿防水シート張り構造用合板（特類）t=9の上杉板張りt=12W=105WP　北面：既設ＣＢ面ﾓﾙﾀﾙ塗り下地調整の上複層塗材ＲＥ 東面一部：鉄骨胴縁下地透湿防水シート張り窯業系サイディングt=16（防火構造）複層塗材RE　南面：高圧洗浄下地処理の上可とう形外装薄塗り材Ｅ（着色骨材）低汚染仕様
巾　　木	改修前	モルタル塗り、ノロ補修
	改修後	ｶﾁｵﾝ樹脂ﾓﾙﾀﾙの上巾木用ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂塗料塗りH=700　南・西面：巾木用アクリルシリコン系多彩仕上塗材塗りH=200・700
そ　の　他	改修前	自転車置き場撤去、北面樹木、残土撤去
	改修後	ｸﾞﾗﾝﾄﾞ駐車場用ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装、東面通路、犬走階段改修　玄関ポーチ土間、スロープ、側溝改修　放課後クラブ用下足入れ
	改修前	
	改修後	

参考品名等（同等品以上とする）	
材料・部位	参考品名・　製造所
可とう形外装薄塗り材Ｅ　（低汚染仕様）	・セラミエレガンス（エスケー化研㈱）・Ｂｅニューストーンｓｉ　（菊水化学工業㈱）
巾木用アクリルシリコン樹脂塗料	・セラミガードＮＥＯ（エスケー化研㈱）
巾木用アクリルシリコン系多彩仕上材	・ニューアールダンテＫＩＳＯ　（フジワラ化学㈱）
玄関ポーチタイル　100角	・ピアッツアＯＸ　（㈱ＬＩＸＩＬ）
玄関床タイル　150角	・フォスキー　（㈱ＬＩＸＩＬ）
トイレ用長尺塩ビシート	・トワレ　（東リ㈱）
珪藻土　　・玄関ホール	・シルタッチＳＲ　（フジワラ化学㈱）
・トイレ	・けいそうエコナ　（フジワラ化学㈱）
・第二体育館	・けいそうエコナ　（フジワラ化学㈱）
自然塗装（内部）	・オスモエキストラクリア+ノーマルクリア　（オスモ＆エーデル㈱）
木材保護塗装（外部）	・ノンロット205ＮＺカラー　（三井化学産資㈱）
杉圧縮ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	・ＨＩＤＡ

内　部　仕　上　表　（　改修前、撤去・改修後　）

室　　名		床	巾　木	壁	天　　井	廻り縁	天井高さ	備　　考
ア　リ　ー　ナ	改修前	全面撤去　（東石残置） （木床組、ﾗﾜﾝ合板t＝15下張り桜フローリングt=15）	木製巾木Ｈ＝100撤去	木下地木毛板の上木製リブ全面撤去	野地板木毛セメント板表し　鉄骨梁、母屋SOP （木毛板調査の上劣化部分張り替え）		吹き抜け	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ、防球ネット（正面、中央、サイド） 体育器具支柱基礎金具 バスケットゴール（壁面固定式2対） 土間下断熱、土間ｺﾝｸﾘｰﾄ新設（有筋） 電動暗幕、床下換気口、床下点検口 校歌、児童会の歌パネル
	改修後	体育館用鋼製床組、構造用合板（特類）t=12の上 カバ複合フローリングt=18（単板厚6）UC（1液性水性ｳﾚﾀﾝ3回塗り+2液性ｳﾚﾀﾝ1回塗り） （大型積層型式ノリ釘併用）　コートライン引き（土間ｺﾝｸﾘｰﾄ新設、断熱材敷）	木製巾木（桧）H=100　ＮＰ	外壁面：発泡ウレタン断熱材吹付t=50ＬＧＳ65形下地 構造用合板t=9の上桧羽目板張り（本実目透かし）t=12W=105 ＮＰ	野地板木毛板下地処理の上ＮＡＤ 鉄骨部下地調整の上ＳＯＰ			
ス　テ　ー　ジ	改修前	全面撤去　（木床組、ﾗﾜﾝ合板t＝15下張り桜フローリングt=15）	木製巾木Ｈ＝100撤去	ラワン合板t＝5.5SOP撤去　木胴縁撤去	野地板木毛セメント板表し　鉄骨梁、母屋SOP		5580	緞帳1式 飾り板付き収納台車（9台）、 ブドウ棚張り替え（大引き残し）
	改修後	ステージ用鋼製床組構造用合板（特類）t=12の上　（大型積層型式ノリ釘併用） カバ複合フローリングt=18（単板厚6)UC（1液性水性ｳﾚﾀﾝ3回塗り+2液性ｳﾚﾀﾝ1回塗り）	木製巾木（桧）H=100　ＮＰ	外壁面発泡ウレタン断熱材吹付t=30ＬＧＳ65形下地 内部既設軸組木下地、胴縁新設 PBt=12.5の上有孔シナ合板張りt=5.5（寒冷紗裏貼り）ＮＰ	野地板木毛板下地処理の上ＮＡＤ 鉄骨部下地調整の上ＳＯＰ			
器　具　庫　Ｂ	改修前	ステージ床に準ずる　踏込み部モルタル金こて下地塗床撤去 木製階段撤去	木製巾木Ｈ＝100撤去	モルタル金こてゾラコート吹付　ラワン合板SOPt=5.5撤去 木胴縁撤去	野地板木毛セメント板表し　鉄骨梁、母屋SOP		吹き抜け	収納棚
	改修後	モルタル金こて下地ＬＶＳt=2.0　木製階段新設	ビニル巾木Ｈ＝60	外壁面発泡ウレタン断熱材吹付t=30ＬＧＳ65形下地 内部既設軸組木下地、胴縁新設 ＰＢt=12.5の上シナ合板t=5.5ＮＰ	野地板木毛板下地処理の上ＮＡＤ 鉄骨部下地調整の上ＳＯＰ			
控　　室	改修前	ステージ床に準ずる　踏込み部モルタル金こて下地塗床撤去 木製階段撤去	木製巾木Ｈ＝100撤去	モルタル金こてゾラコート吹付　ラワン合板SOPt=5.5撤去 木胴縁撤去	野地板木毛セメント板表し　鉄骨梁、母屋SOP		吹き抜け	ピアノ移設復旧（調律共）
	改修後	モルタル金こて下地ＬＶＳt=2.0　木製階段新設	ビニル巾木Ｈ＝60	外壁面発泡ウレタン断熱材吹付t=30ＬＧＳ65形下地 内部既設軸組木下地、胴縁新設 構造用合板t=9の上シナ合板t=5.5ＮＰ	野地板木毛板下地処理の上ＮＡＤ 鉄骨部下地調整の上ＳＯＰ			
器具庫Ａ	改修前	モルタル金こて撤去	木製巾木撤去	木下地ラワン合板t=5.5SOP撤去	木下地PBt=9ＶＰ撤去	塩ビ	2400	収納棚
	改修後	モルタル金こての上厚膜型エポキシ塗床	ビニル巾木Ｈ＝60	ＬＧＳ50形下地フレキシブルボード張りt=6（目透かし張り）	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5			
玄関ホール	改修前	モルタル下地フローリングブロック撤去、一部100角タイル撤去	木製巾木、人研巾木撤去	モルタル金こてゾラコート吹付	木下地PBt=9ＶＰ撤去	木製（桧）	2600	下足入れ 手洗いキャビネット
	改修後	モルタル下地の上杉圧縮ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ直貼りt=15 一部150角タイル貼り	木製巾木（桧）H=100　ＮＰ	外壁面発泡ウレタン断熱材吹付t=30、ＬＧＳ50形下地 腰：PBt=12.5の上桧小幅板張りt=12　壁PBt=12.5の上珪藻土塗り	ＬＧＳ下地ＰＢt=9.5の上桧小幅板張りt=12			
事　務　室	改修前	土間コンクリート、モルタル下地フローリングブロック撤去	木製巾木撤去	モルタル金こてゾラコート吹付	木下地PBt=9の上ＲＷt=12撤去	塩ビ	2500	ミニキッチン　ブラインド（ｷﾞｱ式）
	改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金こて仕上げ新設の上ＬＶＳt=2.0	ビニル巾木Ｈ＝60	外壁面ウレタン断熱材吹付t=30、ＬＧＳ50形下地PBt=12.5の上クロス（Ｖ）	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5			
倉　　庫	改修前	モルタル下地フローリングブロック撤去	木製巾木撤去	ＰＢt=12.5の上クロス撤去	木下地PBt=9の上ＲＷt=12撤去	塩ビ	2500	収納棚
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ下地ＬＶＳt=2.0	ビニル巾木Ｈ＝60	外壁面ウレタン断熱材吹付t=30、ＬＧＳ50形下地PBt=12.5（目透かし張り）ＥＰ	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5			
男女便所	改修前	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ、ＬＶＳ撤去	ＬＶＳ立上撤去	ＰＢt=12.5の上ＥＰ　ＰＢクロス貼り撤去	木下地PBt=9ＶＰ撤去	塩ビ	250	ピクトサイン
	改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金こて新設の上トイレ用ＬＶＳt=2.0	ＬＶＳ立上	外壁面ウレタン断熱材吹付t=30、ＰＢｔ＝12.5の上（ＧＬ工法） 腰：抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3　壁：珪藻土塗り	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5			
多機能トイレ	改修前	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ、モルタル下地フローリングブロック撤去	木製巾木撤去			塩ビ	2300	手すり、ベビーチェア、ベビーベッド、オストメイト ピクトサイン
	改修後	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ金こて新設の上トイレ用ＬＶＳt=2.0	ＬＶＳ立上	ＬＧＳ下地 PBｔ＝12.5の上　腰：抗菌ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3　壁：珪藻土塗り	ＬＧＳ下地ＰＢt=9.5の上クロス（Ｖ）			
第2体育室	改修前	モルタル下地フローリングブロック撤去	木製巾木撤去	モルタル金こてゾラコート吹付　木下地合板t=5.5撤去（木下地は残す）	木下地PBt=9の上ＲＷt=12撤去	塩ビ	3000	ミニキッチン　カーテン（遮光3級）
	改修後	モルタル金こて複合フローリングt=13（単板厚3）（県内産栗）	木製巾木（杉）H=100　ＮＰ	ＬＧＳ65形下地PBt=12.5の上　腰：シナ合板t=5.5（目透かし張り）ＮＰ　壁：珪藻土塗	ＬＧＳ下地ＰＢt=9.5の上ＲＷt=12　ＧＷt=100　24Ｋ敷込み			
ギャラリー	改修前	モルタル金こて	モルタル金こてＶＰ	ﾓﾙﾀﾙ金こてＶＰ	モルタル金こてＶＰ			
	改修後	下地調整の上エポキシ樹脂系薄型塗床材	木製巾木（桧）H=100　ＮＰ	発泡ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付t=30　ＰＢt=12.5の上（GL工法）有孔シナ合板（寒冷紗裏貼り）ＮＰ	上裏：木下地構造用合板t=9の上桧上桧板張り（本実目透かし）t=12ＮＰ			
階　段　室	改修前	モルタル金こて塗床撤去（ﾓﾙﾀﾙ共）	モルタル金こてＶＰ	ﾓﾙﾀﾙ金こてゾラコート吹付塗膜全面除去（ＲＡ種）	木下地PBt=9ＶＰ撤去	塩ビ	2700	木製手すりφ35（市販品）
	改修後	ﾓﾙﾀﾙ金こて下地複合フローリング直貼りt=13（単板厚3）（県内産栗）	ビニル巾木Ｈ＝60 ササラビニル巾木	外壁面：発泡ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付t=20ＰＢt=12.5（GL工法）の上Ｅ2（継目処理） 内部：LGS50形下地PBt=12.5の上Ｅ2（継目処理）	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5　ＧＷt=100　24Ｋ敷込み			
物　　置	改修前	モルタル下地フローリングブロック撤去	木製巾木撤去	モルタル金こてゾラコート吹付	木下地PBt=9ＶＰ撤去	塩ビ	2700	木製棚
	改修後	モルタル金こてＬＶＳt=2.0	ビニル巾木Ｈ＝60	外壁面：発泡ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付t=20ＰＢt=12.5（GL工法）ＥＰ（継目処理） 内部：LGS50形下地PBt=12.5の上ＥＰ（継目処理）	ＬＧＳ下地化粧ＰＢt=9.5　ＧＷt=100　24Ｋ敷込み			

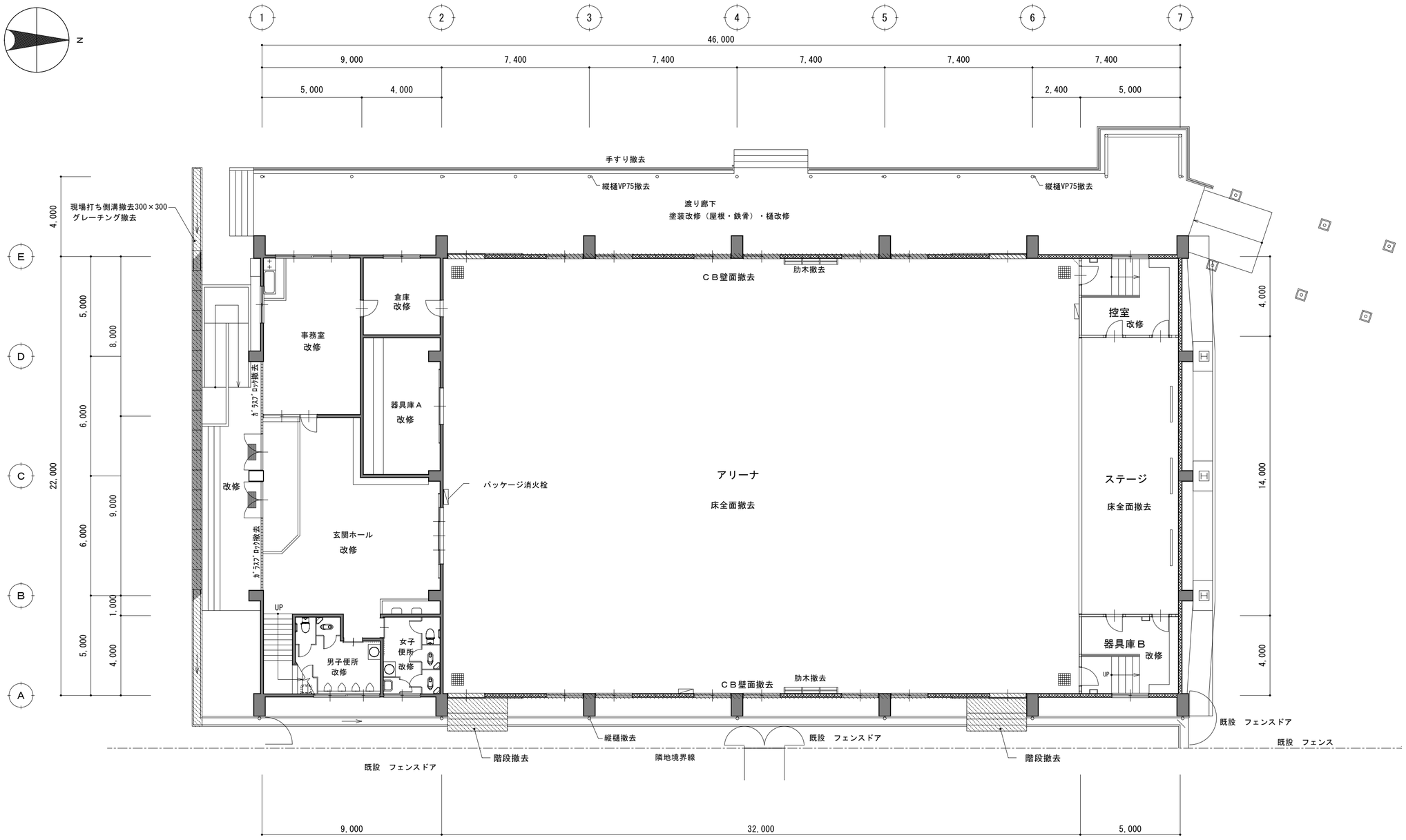
凡例

ＡＬＣ版	軽量気泡コンクリート版	ＬＧＳ	金属製壁下地　金属製天井下地	クロス（Ｖ）	ビニール壁紙　ＱＭ-0814程度 ビニール壁紙　ＮＭ-〇〇〇〇	ＤＰ	耐候性塗料塗り	ＬＶＳ	長尺塩ビシート貼り
Ｃ・Ｂ積み	空洞コンクリートブロック積　Ｃ種	ＲＷ	ロックウール吸音板　ＮＭ-8599			ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		
Ｍ塗り	モルタル鏝仕上げ	ＲＶ－Ⅰ	ラワン合板完全耐水	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント塗り	ＧＰ	つや有合成エマルジョンペイント塗り		
Ｔ貼り	タイル貼り	ＲＶ－Ⅱ	ラワン合板高度耐水	ＮＡＤ	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	ＷＰ	木材保護着色剤塗り		
Ｔ・Ｂ貼り	テラゾブロック貼り	ＰＢｔ＝９．５	プラスターボード　ＱＭ-9828	ＣＬ	クリヤーラッカー塗り（自然塗料）	ＮＰ	自然塗料塗り		
ＡＢ板	ケイ酸カルシュウム板　ＮＭ-8578	ＰＢｔ＝１２．５	プラスターボード　ＮＭ-8619	ＵＣ	ウレタン樹脂ワニス塗り	Ｅ１	外装薄塗り材Ｅ		
	化粧ケイカル板　ＮＭ-8579　ＮＭ-8577	ＰＢ（化）	化粧プラスターボード　ＱＭ-0524			Ｅ２	内装薄塗り材Ｅ		

※接着剤は全てＦ☆☆☆☆とする。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	仕上表		
縮　尺	―	番　号	95　枚の内　13　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



【凡　例】

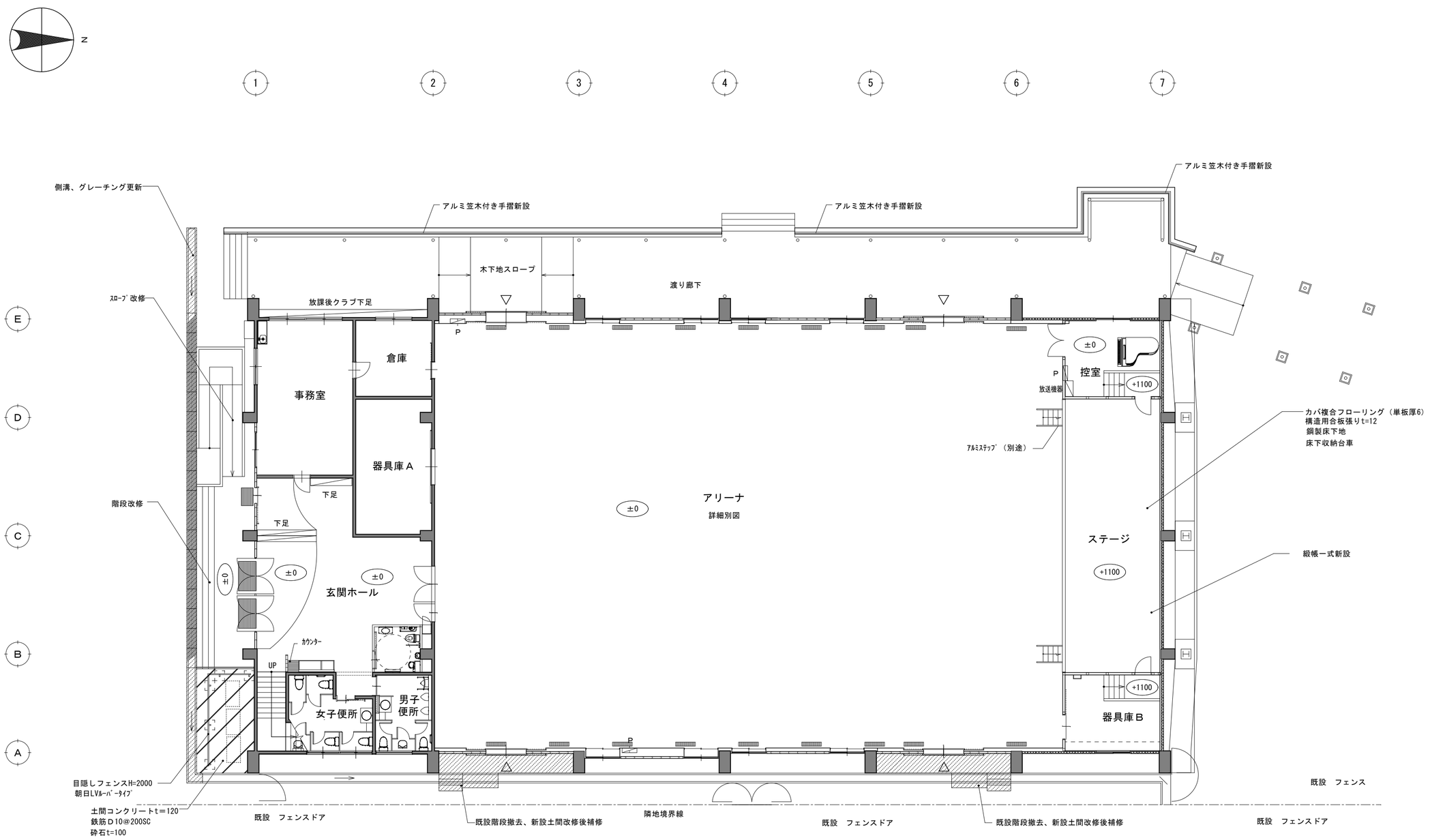
コンクリートブロック壁

RC壁

木製壁

改修前　1階平面図　1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事		
図　名	改修前　1階平面図		
縮　尺	1/150	番　号	95　枚の内　14　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

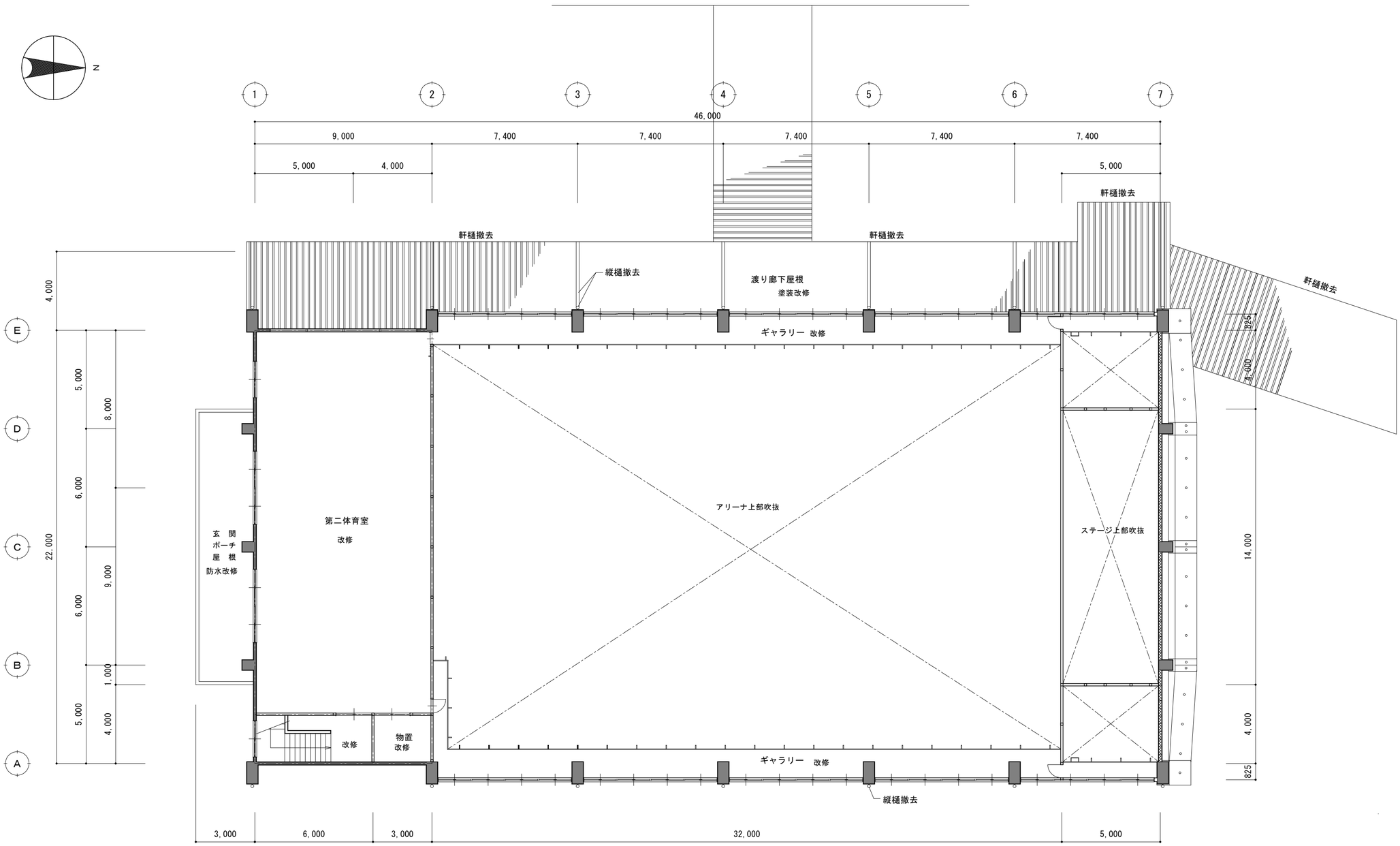


【凡　例】

- 既設ＣＢt=150壁
- RC壁
- 鉄骨胴縁下地
- 木製壁
- P 既設パッケージ型消火栓移設

改修後　1階平面図　1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　1階平面図		
縮　尺	1/150	番　号	95　枚の内　15　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



【凡 例】

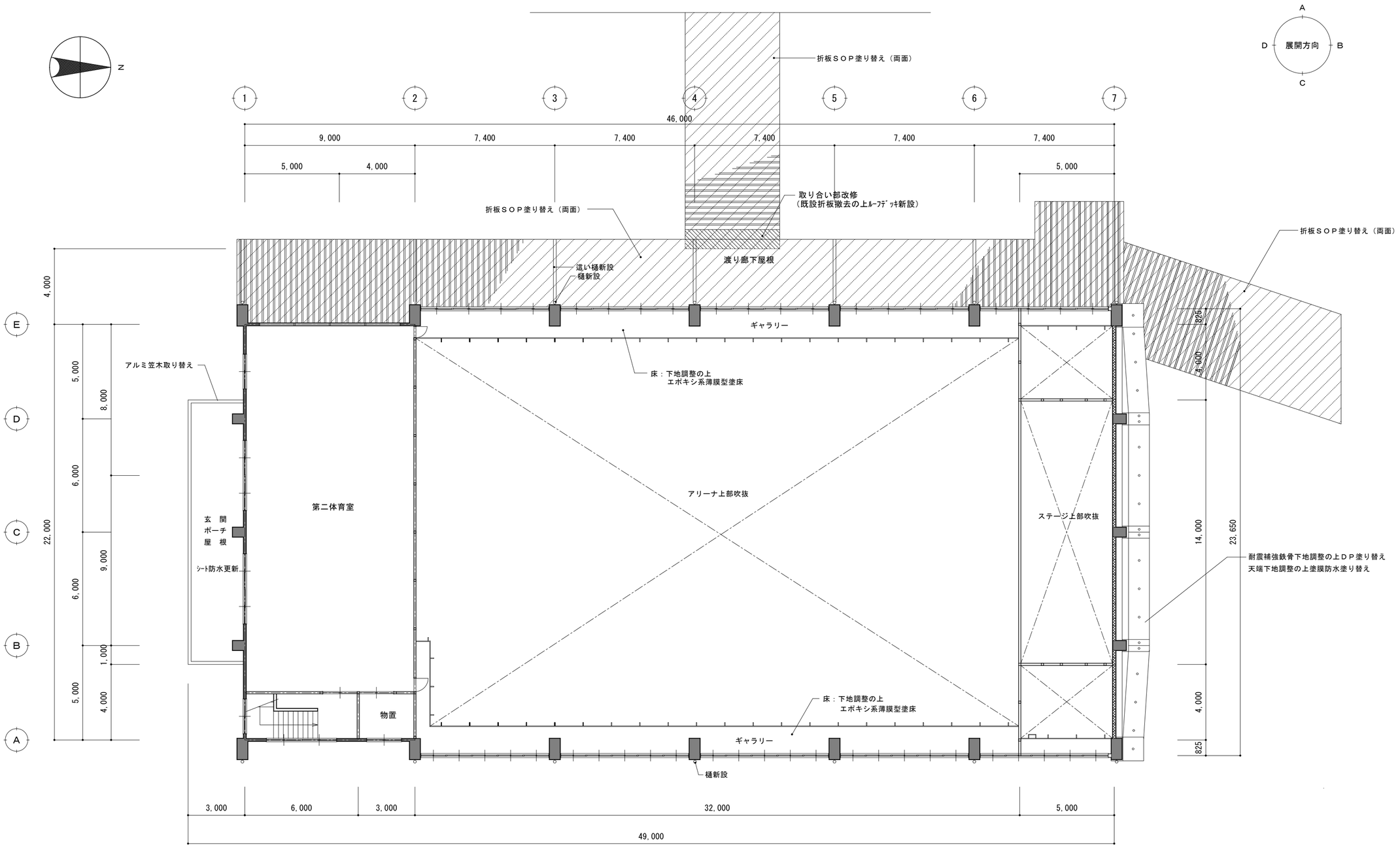
コンクリートブロック壁

RC壁

木製壁

改修前 2階平面図 1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図 名	改修前 2階平面図		
縮 尺	1/150	番 号	95 枚の内 16 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設 計	有限会社 新井設計事務所 1級建築士 荒井 俊範 大臣登録 第209067号		
高 山 市			

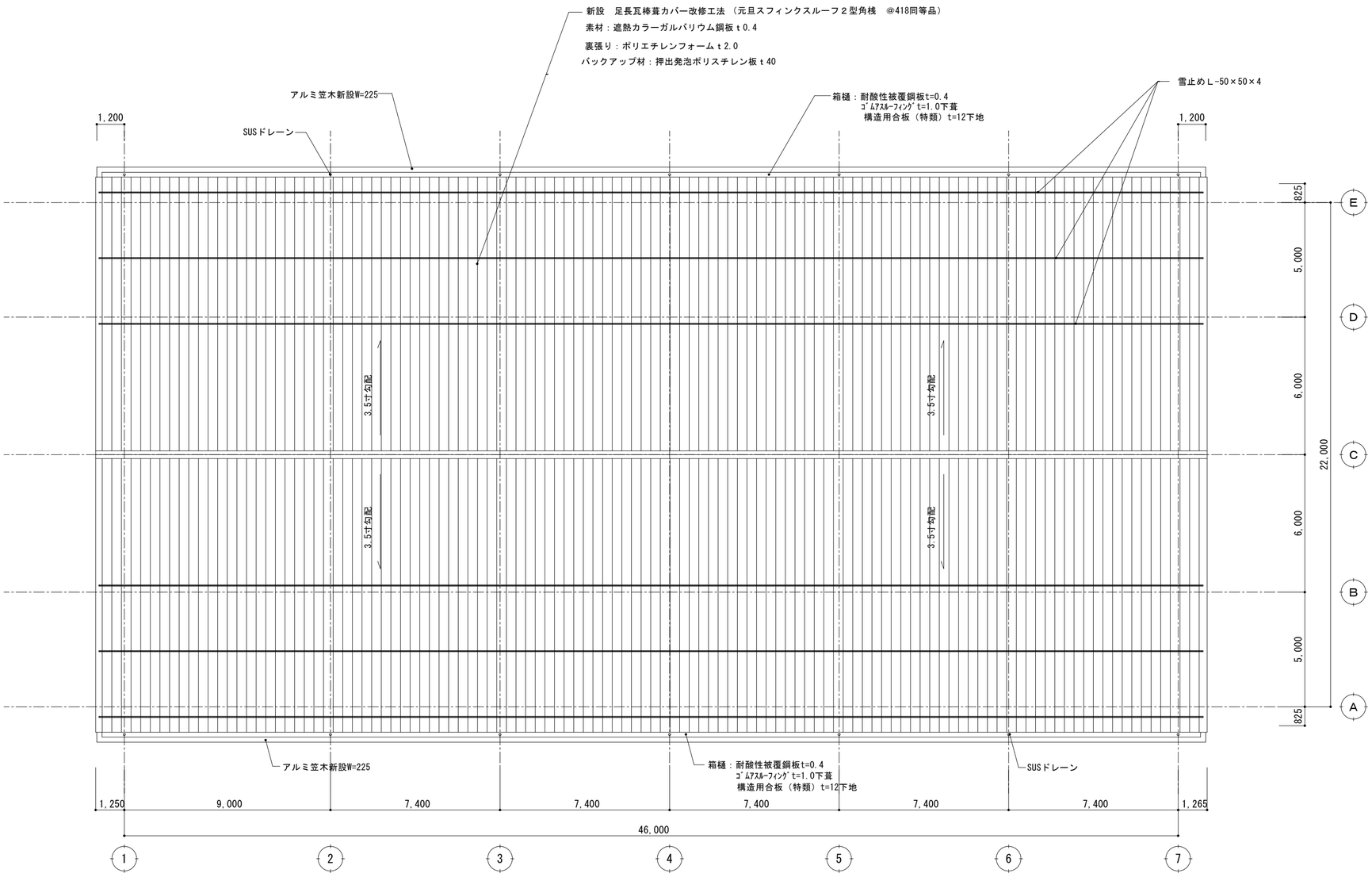


改修後　2階平面図　1/150

【凡　例】

- 既設ＣＢt=150壁
- RC壁
- 木製壁

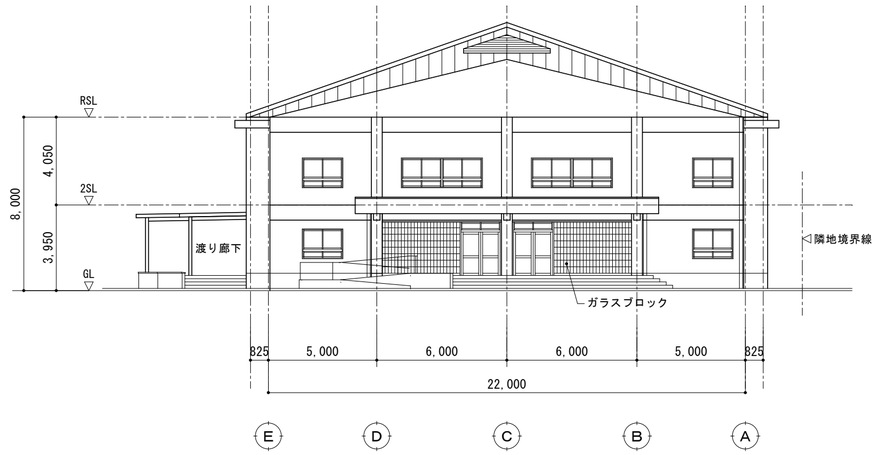
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　2階平面図		
縮　尺	1/150	番 号	95　枚の内　17　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



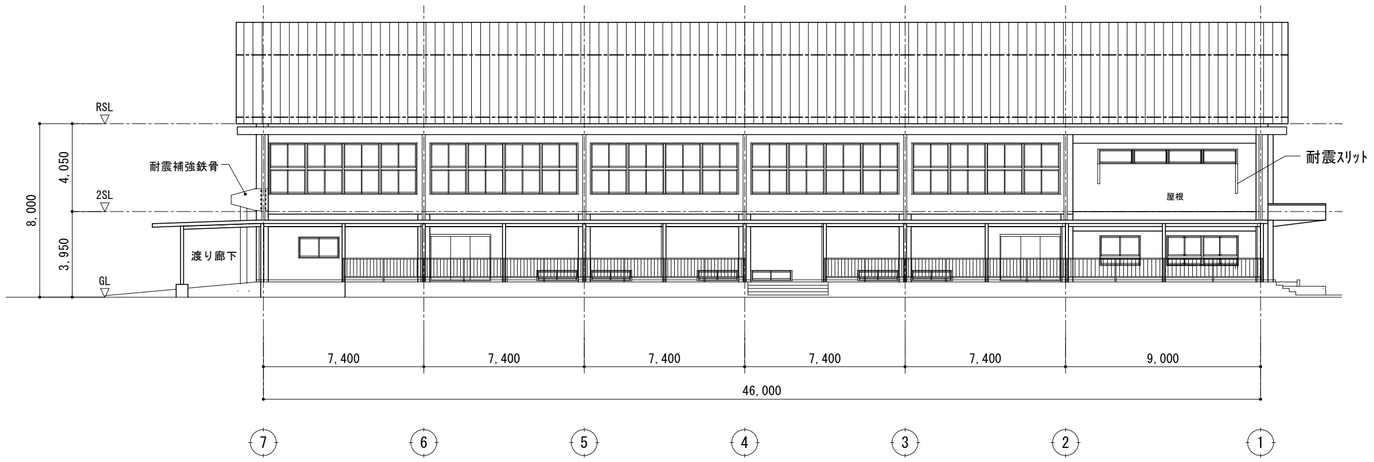
改修後　屋根伏図　1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　屋根伏図		
縮　尺	1/150	番　号	95　枚の内　18　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所	１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号	
高　　山　　市			

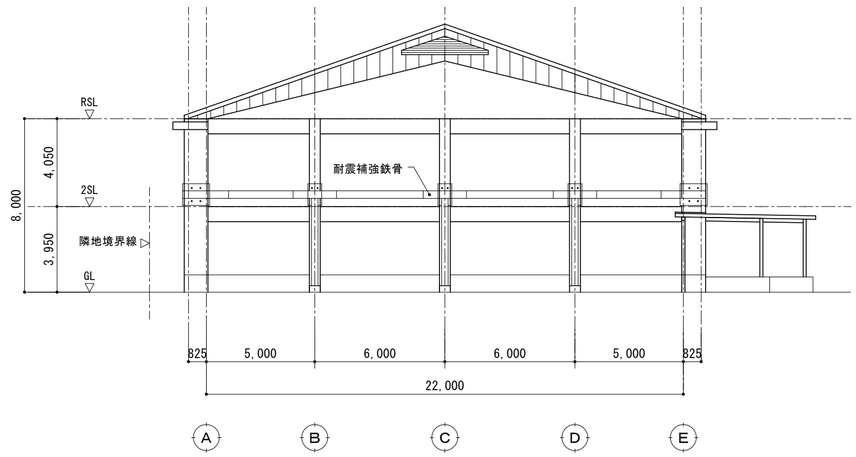
改修前　東立面図　1/200



改修前　南立面図　1/200

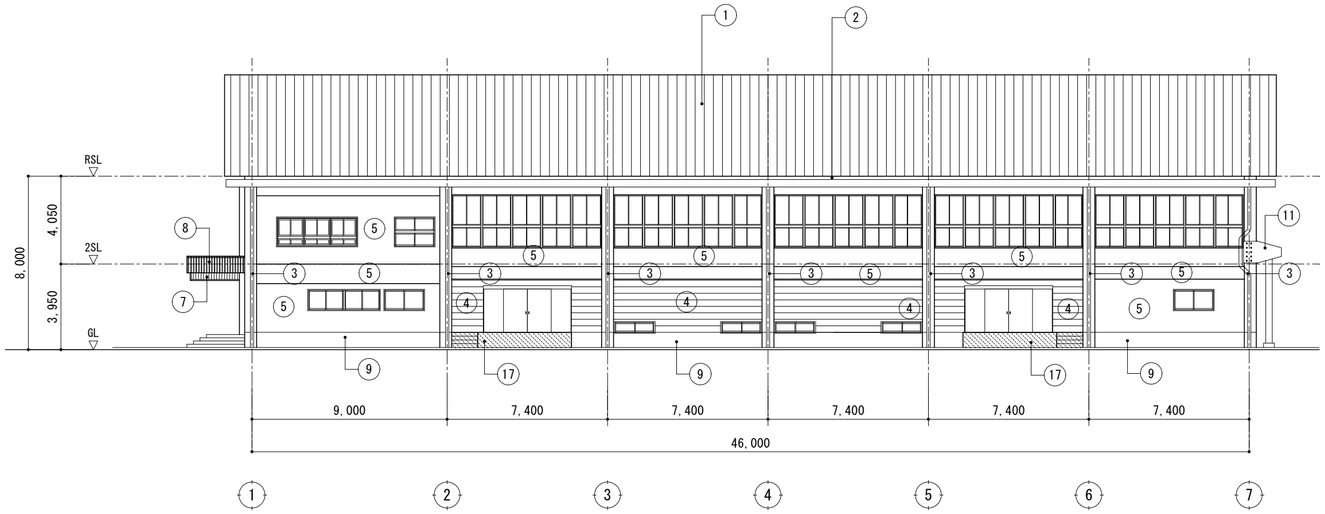


改修前　西立面図　1/200



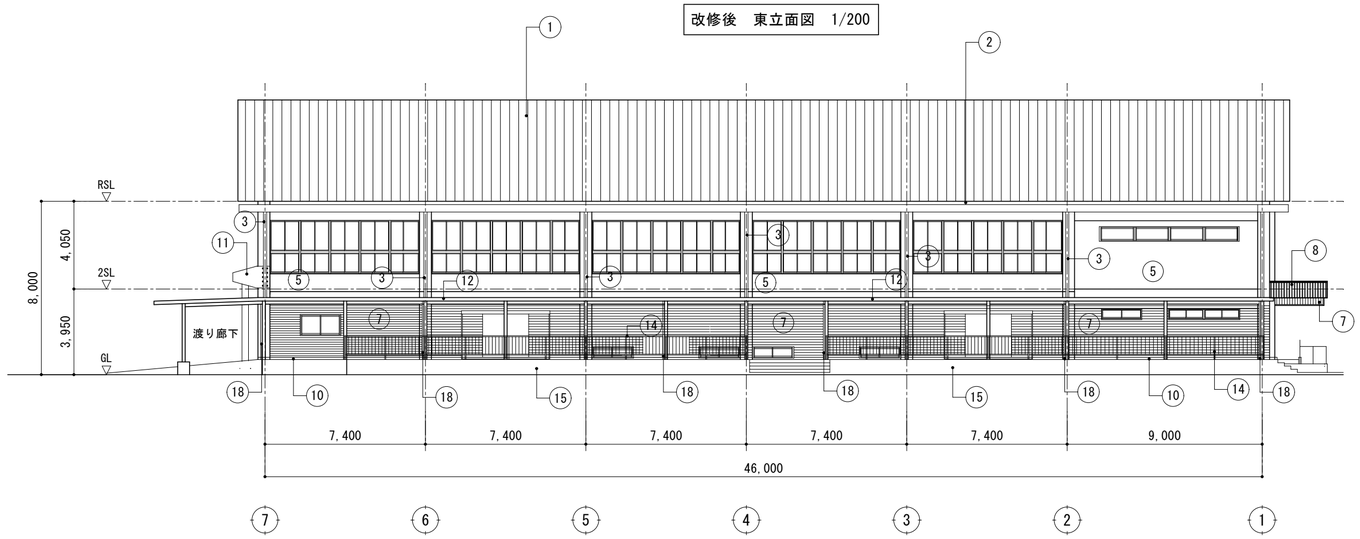
改修前　北立面図　1/200

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　立面図		
縮　尺	1/200	番　号	95　枚の内　19　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

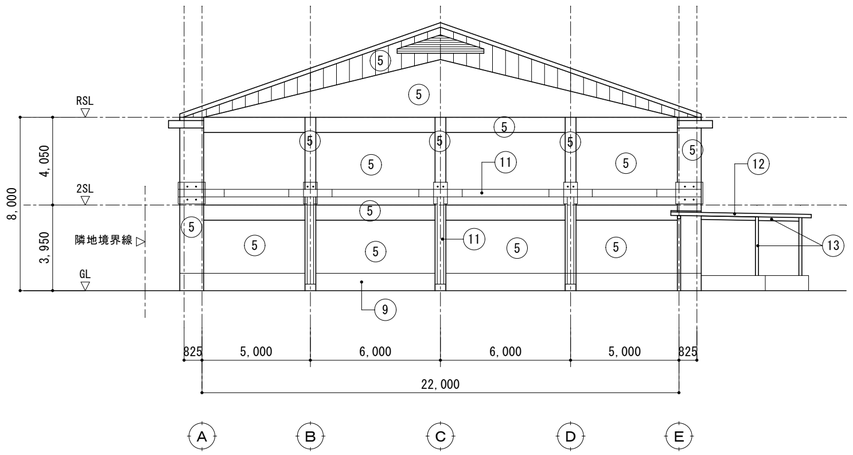


改修後　東立面図　1/200

改修後　南立面図　1/200



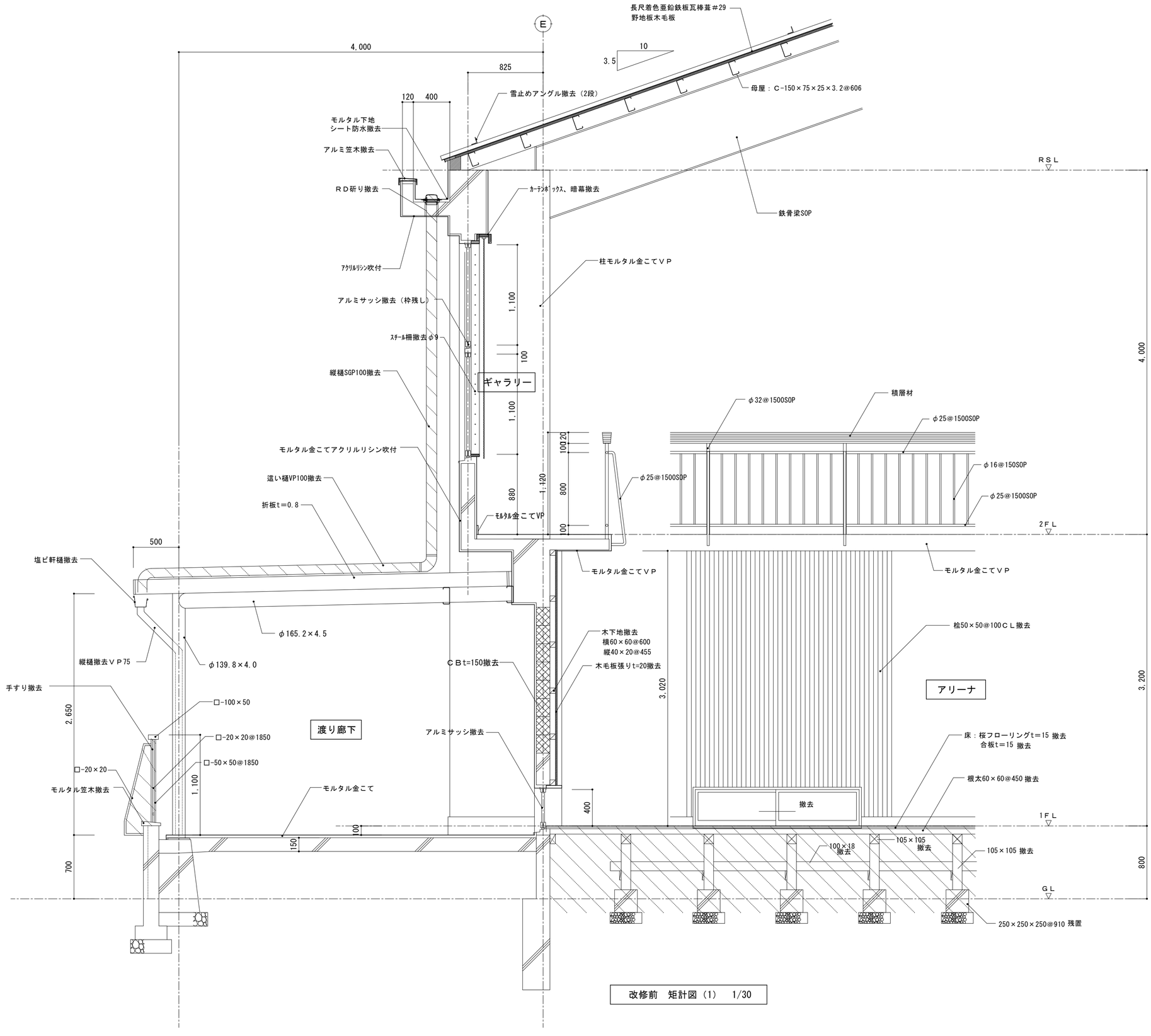
改修後　西立面図　1/200



改修後　北立面図　1/200

①	断熱長尺着色ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板瓦棒葺きt=0.4カバー工法　断熱材t=40　雪止め亜鉛めっきＬ-50×50×4（3段）	⑪	耐震補強鉄骨部下地調整の上ＤＰ梁天端下地調整の上ウレタン塗膜防水
②	箱樋：既設ｼｰﾄ防水、ﾄﾞﾚｰﾝ撤去耐酸被覆鋼板（谷コイル）箱樋、塩ビねじ付きドレーン	⑫	渡り廊下折板葺下地調整の上SOP塗り替え（裏面共）軒樋：折板用軒樋取り替え
③	既設縦樋撤去　SGPW100ＡＤＰ新設	⑬	渡り廊下鉄部下地調整ＲＡ種の上ＤＰ
④	外壁既設ＣＢ造壁撤去鉄骨胴縁下地透湿防水ｼｰﾄ貼り窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り	⑭	既設スチール手すり撤去　アルミ笠木付き手摺
⑤	柱・梁型・壁　下地調整の上複層塗材ＲＥ	⑮	既設ｺﾝｸﾘｰﾄ腰壁打ち増し改修
⑥	外壁下地調整の上可とう形外装薄塗り材Ｅ（骨材着色）低汚染仕様	⑯	既設コンクリート階段、スロープ改修
⑦	鉄骨胴縁下地構造用合板t=9透湿防水ｼｰﾄ貼りの上杉板張りt=12（本実目透かし張り）ＷＰ	⑰	既設コンクリート階段撤去新設、改修
⑧	木目調アルミルーバー	⑱	渡り廊下竪樋取り替え　カラーＶＰφ75
⑨	巾木用アクリルシリコン樹脂塗料塗り		
⑩	巾木用アクリルシリコン系多彩仕上塗材塗り		

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　立面図		
縮　尺	1/200	番　号	95　枚の内　20　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

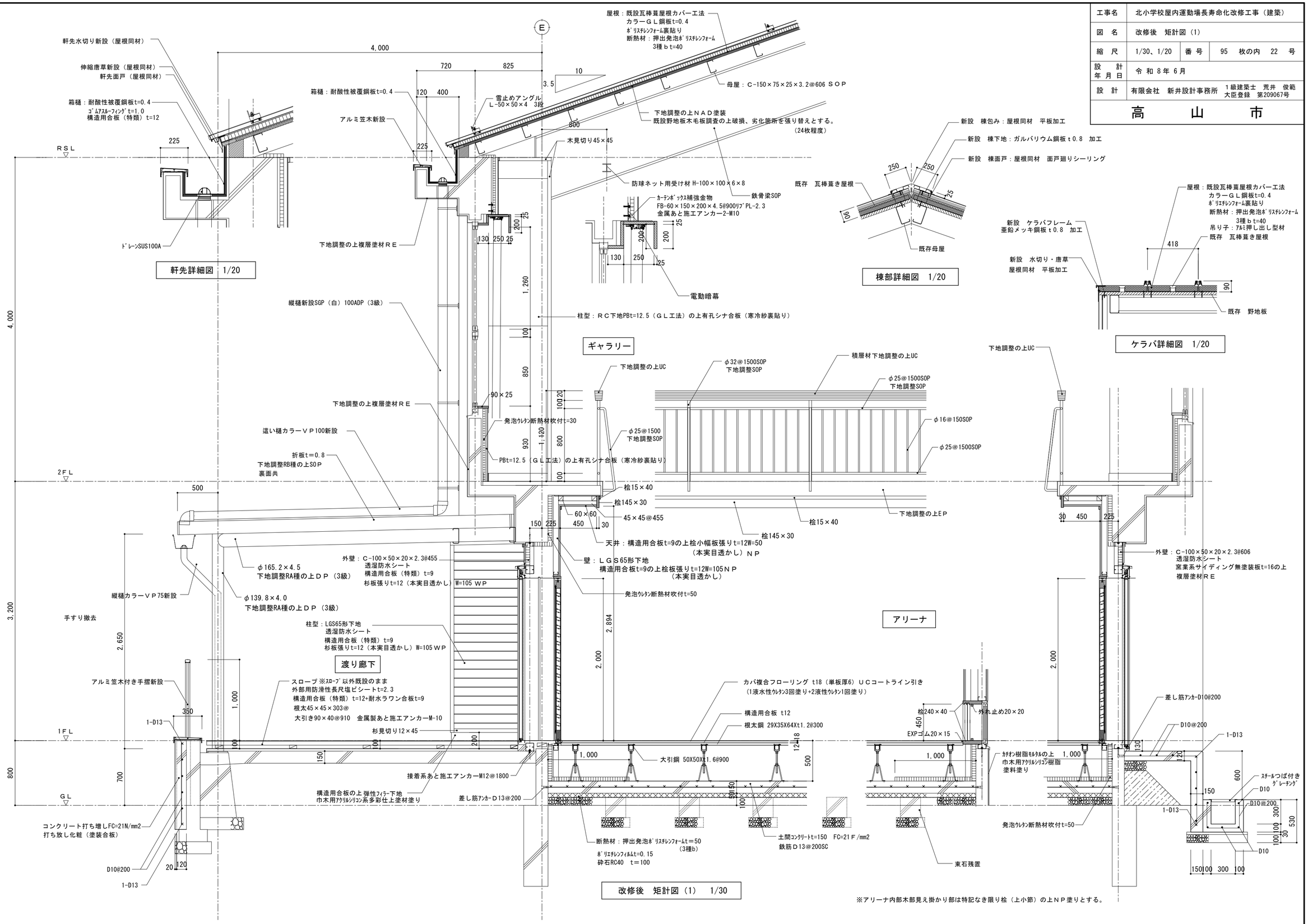


改修前　矩計図（1）　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　矩計図（1）		
縮　尺	1/30	番　号	95　枚の内　21　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

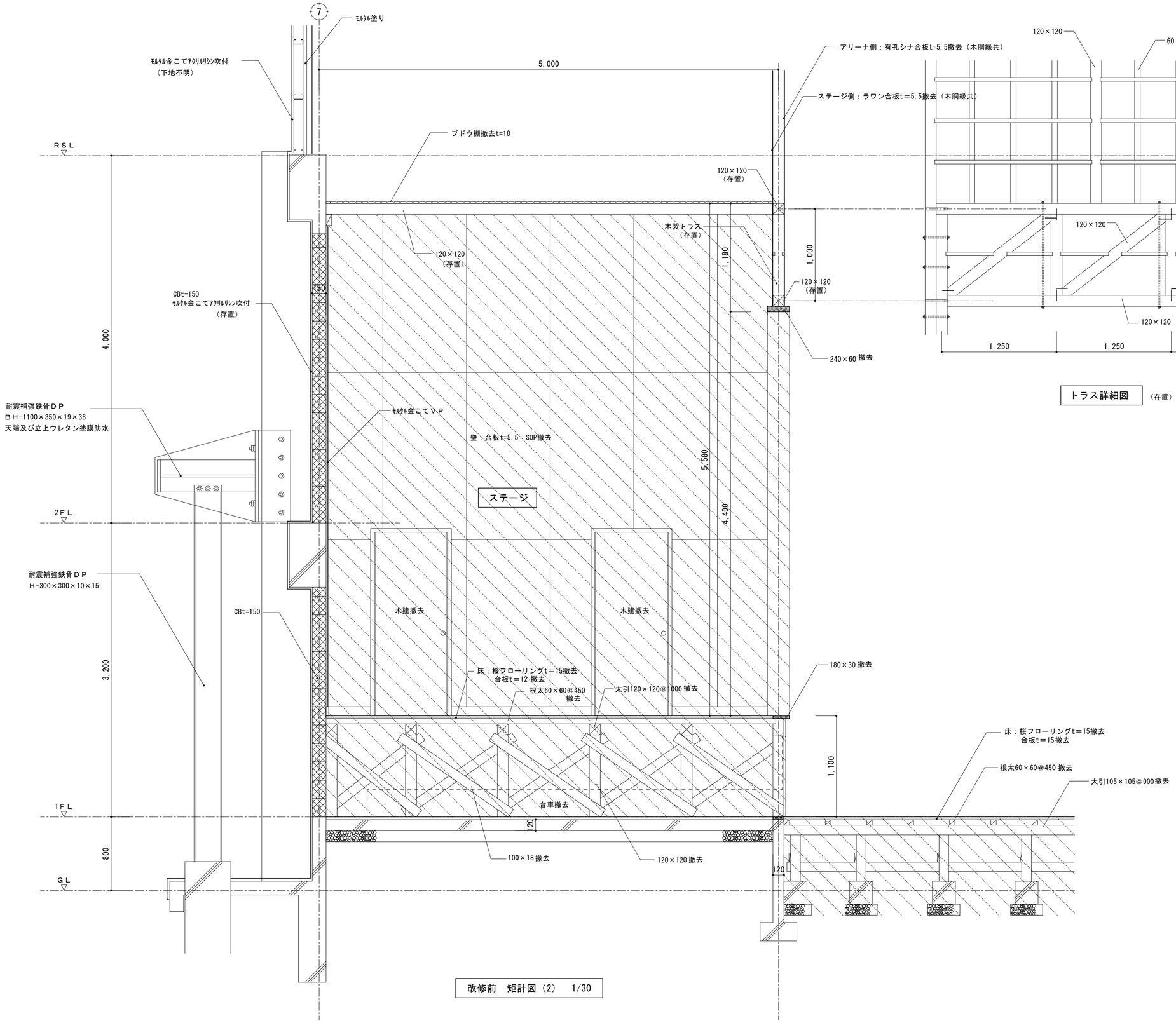
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　矩計図（1）		
縮　尺	1/30、1/20	番　号	95　枚の内　22　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



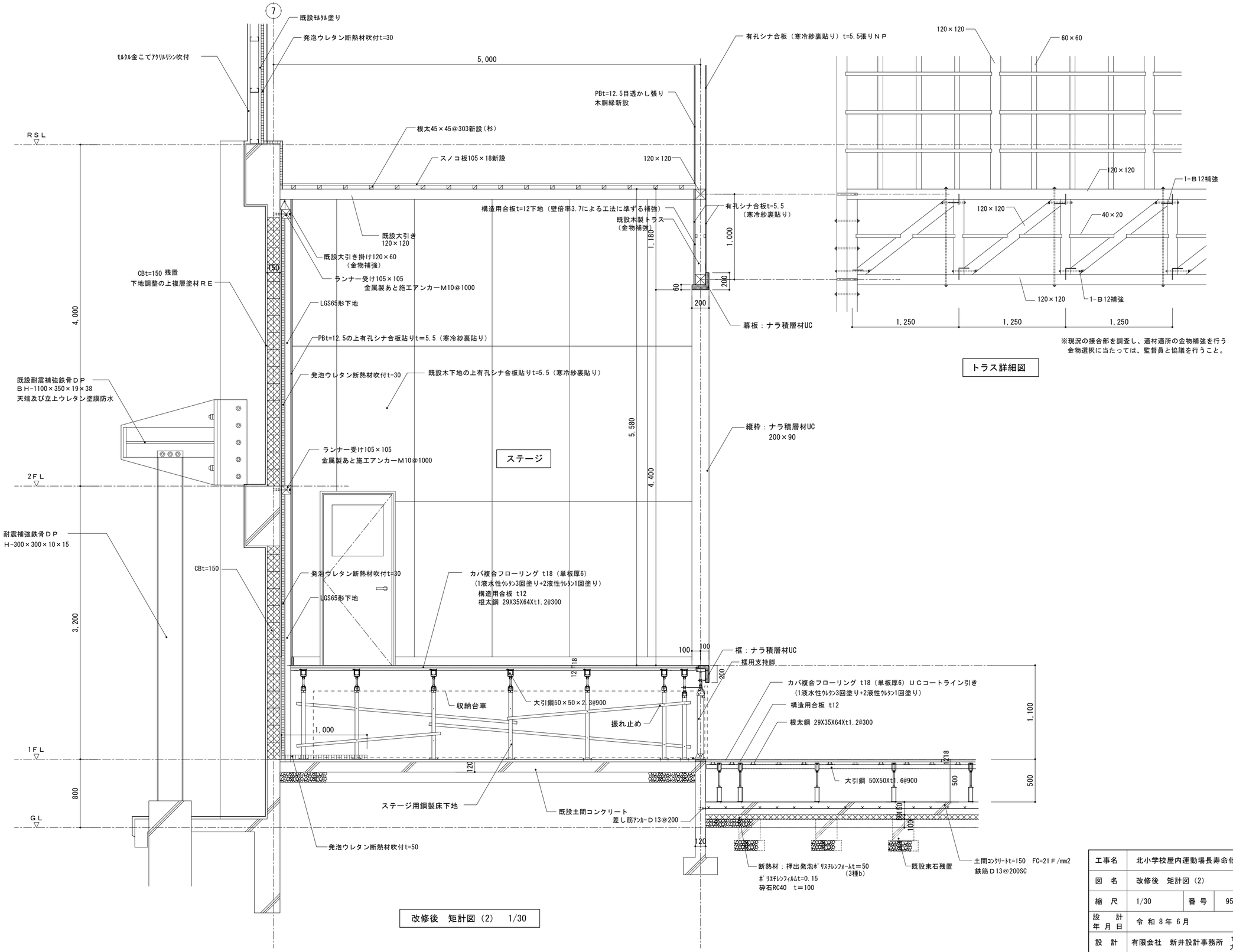
改修後　矩計図（1）　1/30

※アリーナ内部木部見え掛かり部は特記なき限り桧（上小節）の上ＮＰ塗りとする。



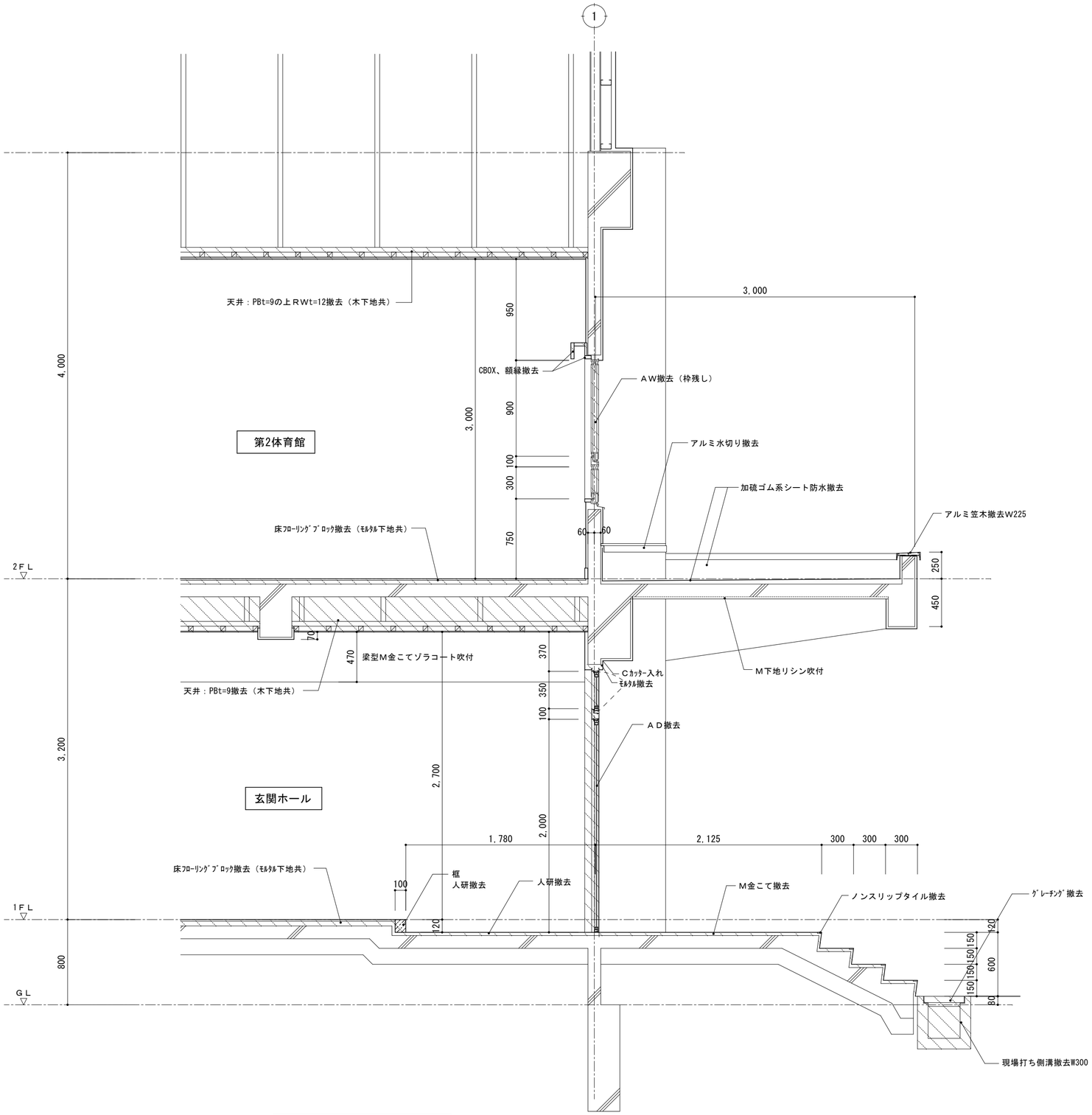
改修前　矩計図（2）　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　矩計図（2）		
縮　尺	1/30	番 号	95　枚の内　23　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			



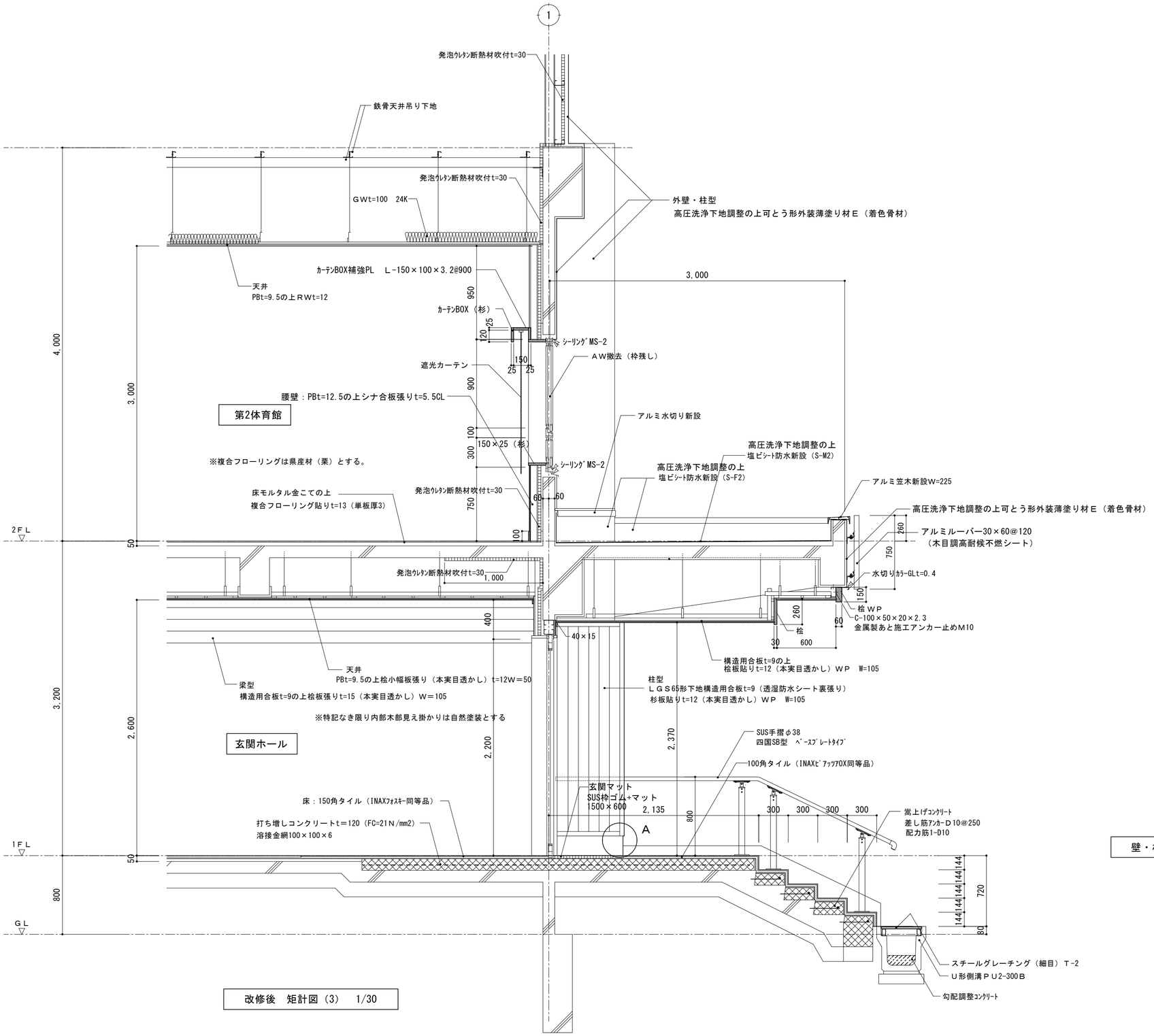
改修後　矩計図（2）　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　矩計図（2）		
縮　尺	1/30	番　号	95　枚の内　24　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

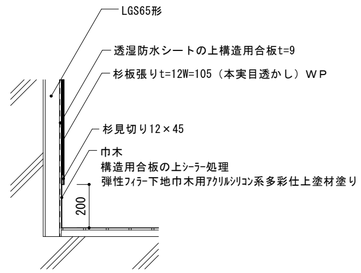


改修前　矩計図（3）　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　矩計図（3）		
縮　尺	1/30	番　号	95　枚の内　25　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			

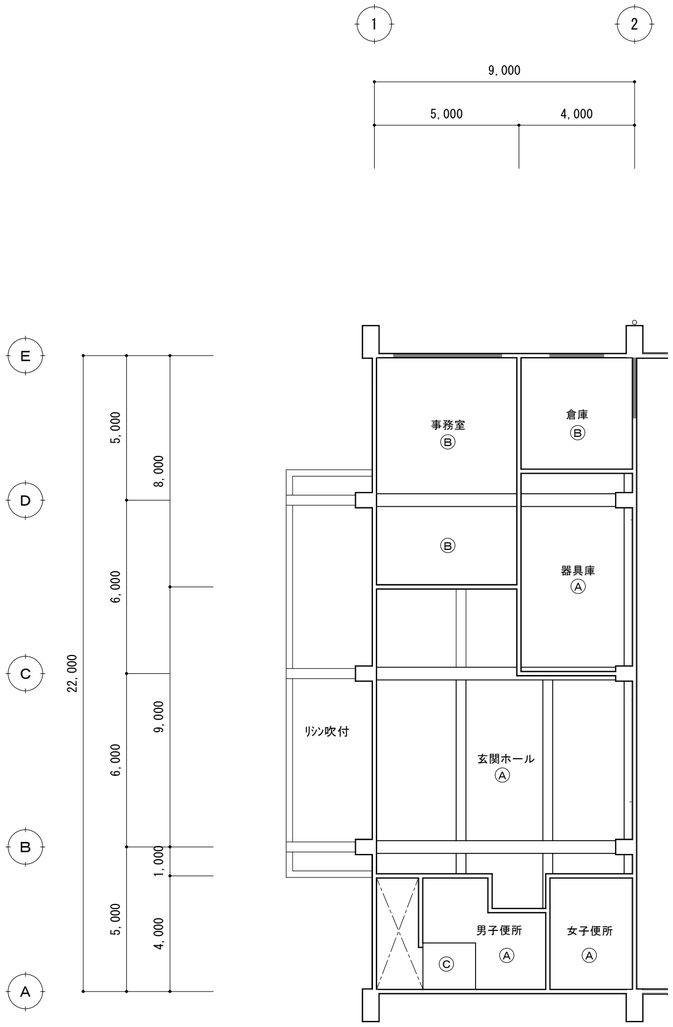


改修後　矩計図（3）　1/30



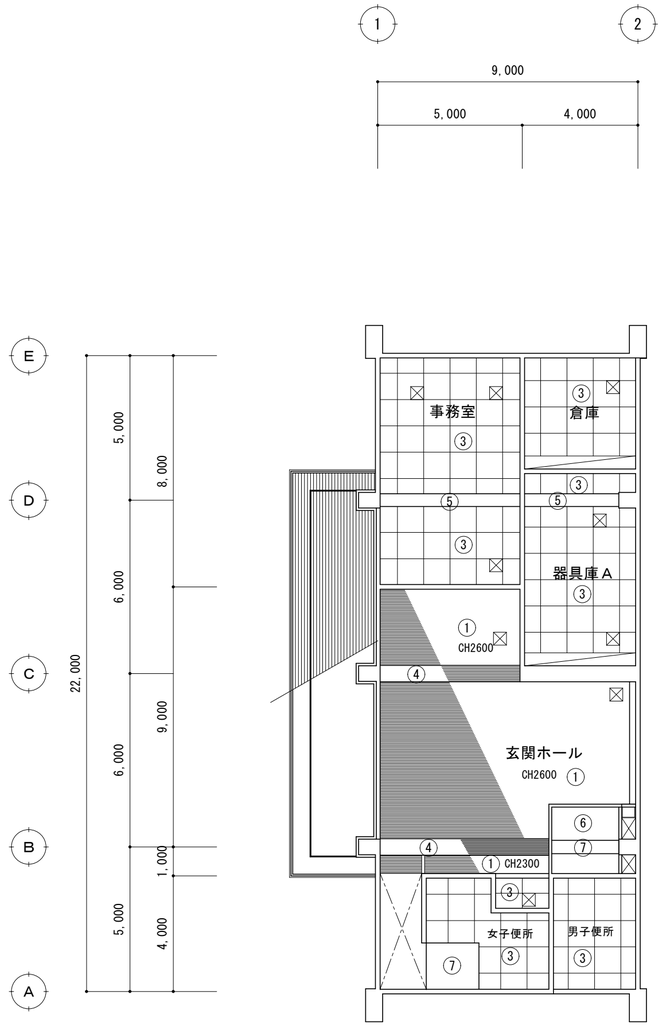
壁・柱型巾木（Ａ部）詳細図1/20

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　矩計図（3）		
縮　尺	1/30、1/20	番　号	95　枚の内　26　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



改修前　1階天井伏図　1/150

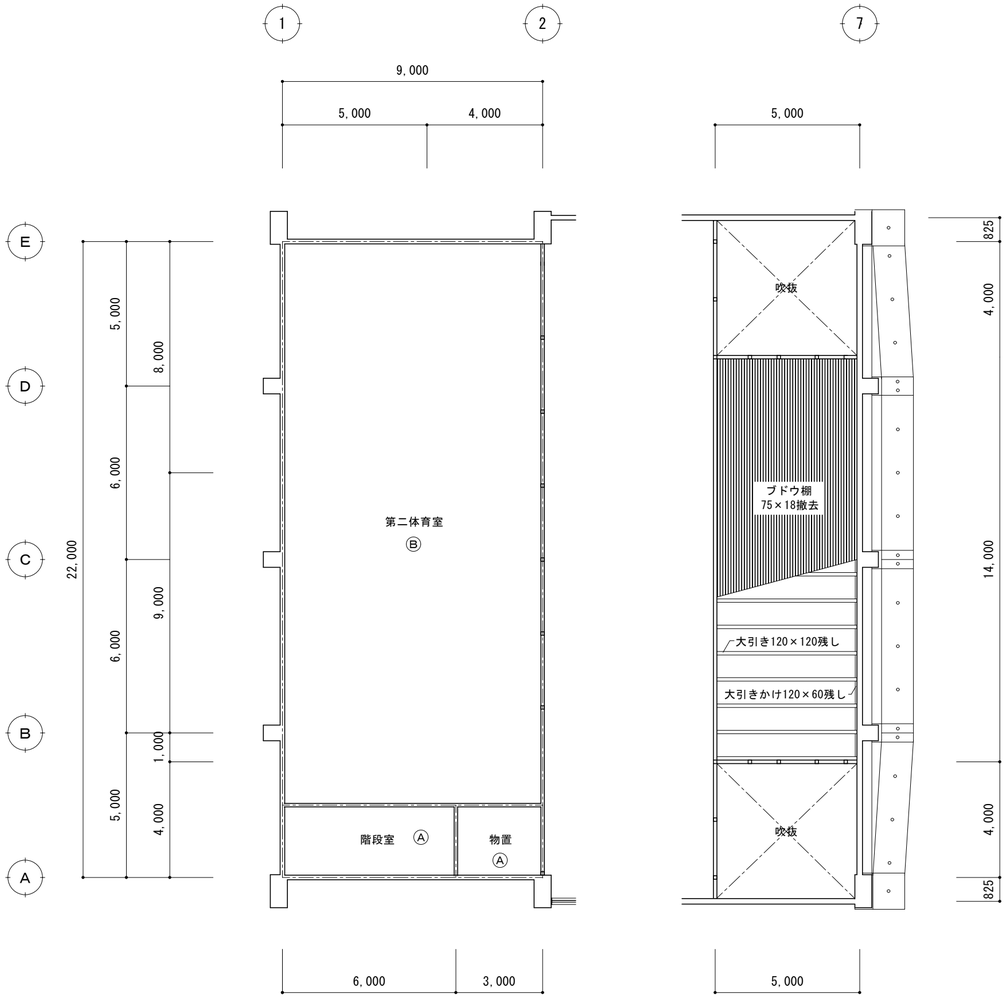
Ⓐ	木下地　PBt=9VP　撤去
Ⓑ	木下地　PBt=9の上　RWt=12　撤去　（石綿含有建材）
Ⓒ	木下地　PBt=9.5の上　クロス貼り　撤去



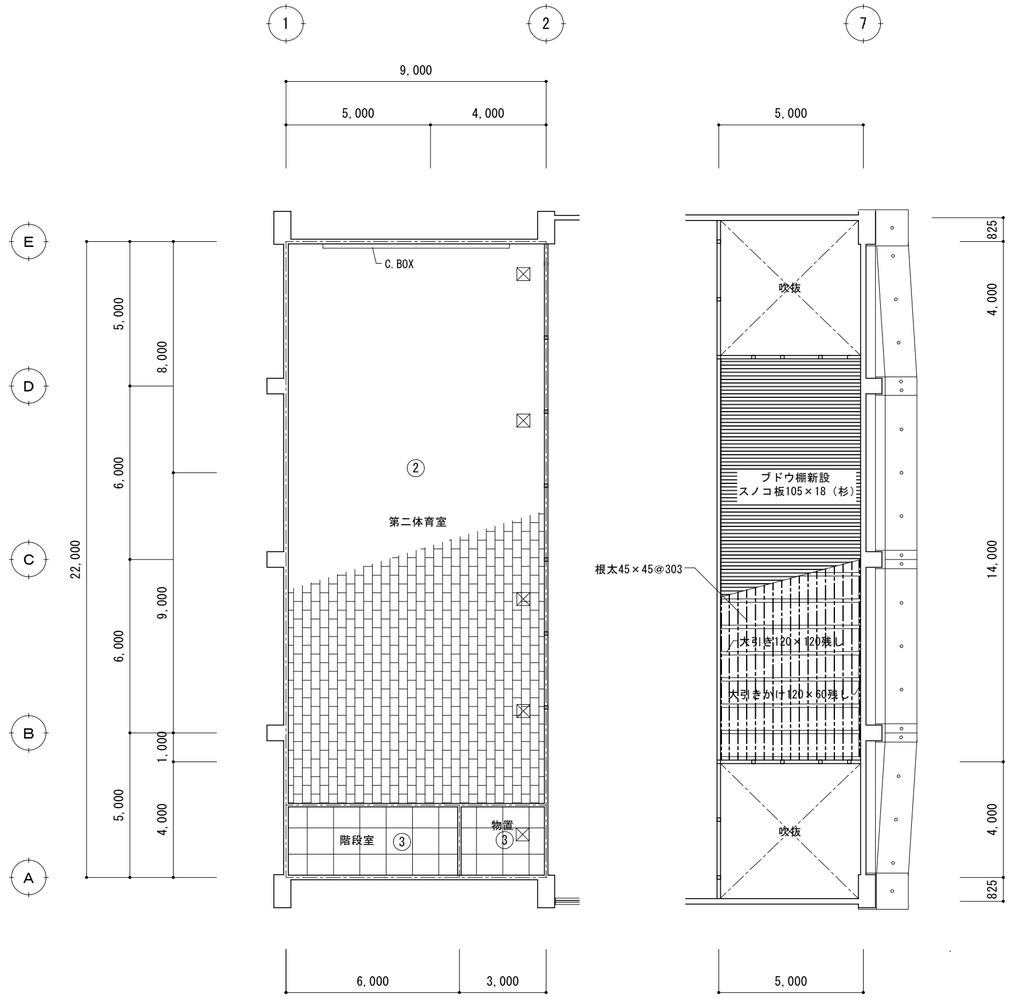
改修後　1階天井伏図　1/150

①	LGS下地新設　PBt=9.5の上桧小幅板板張りt=12（本実目透かし）NP 桧廻り縁
②	LGS下地新設　PBt=9.5の上RWt=12　塩ビ廻り縁
③	LGS下地新設　化粧PBt=9.5　塩ビ廻り縁
④	梁型：木下地構造用合板t=9の上桧小幅板板張りt=12（本実目透かし）NP
⑤	梁型：ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上EP　塩ビ廻り縁
⑥	LGS下地新設　PBt=9.5の上クロス貼り　塩ビ廻り縁
⑦	ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上クロス貼り
⑧	LGS下地新設構造用合板t=9の上桧板張りt=12（本実目透かし）ＷＰＷ=105
☒	アルミ天井点検口450角　額縁タイプ
	ＬＧＳ下地吊りボルトは金属製アンカーＭ10打設とする 引張試験を行うこと（1ロット3本）

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　1階天井伏図		
縮　尺	1/150	番 号	95　枚の内　27　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



改修前　2階天井伏図　1/150

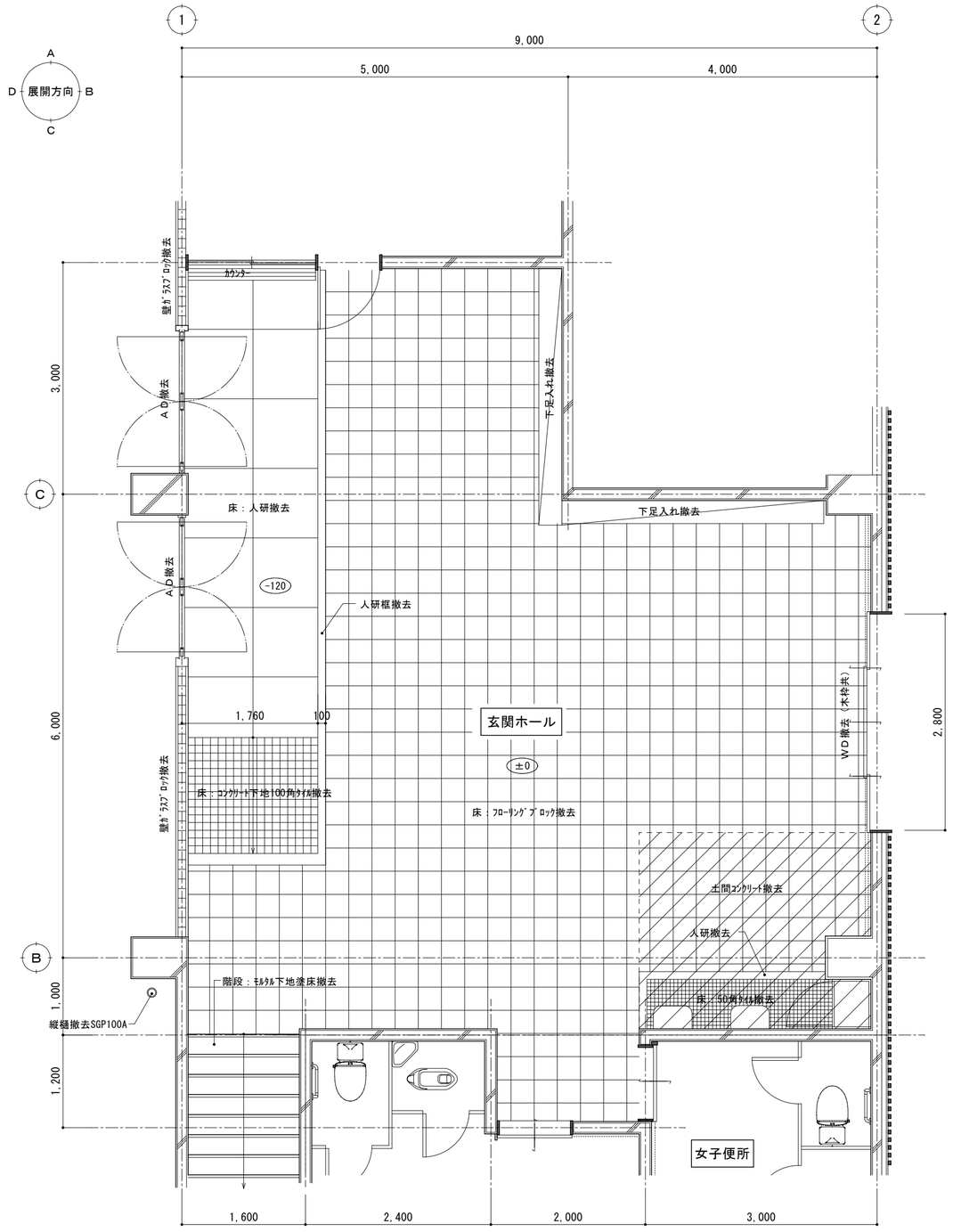


改修後　2階天井伏図　1/150

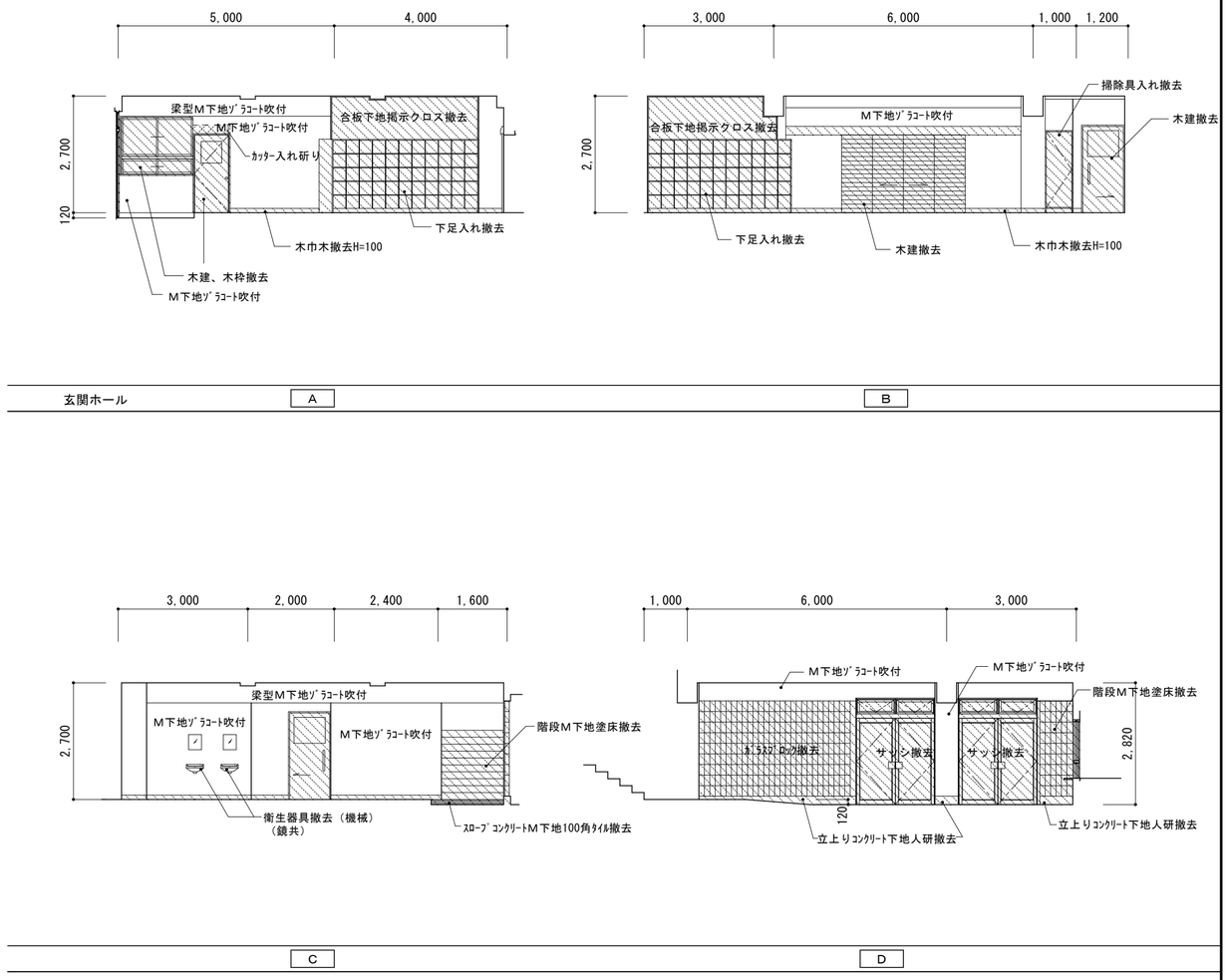
Ⓐ	木下地　PBt=9VP　撤去
Ⓑ	木下地　PBt=9の上　RWt=12　撤去　（石綿含有建材）

①	LGS下地新設　PBt=9.5の上桧小幅板板張りt=12（本実目透かし）NP 桧廻り縁
②	LGS下地新設　PBt=9.5の上RWt=12 塩ビ廻り縁
③	LGS下地新設　化粧PBt=9.5　塩ビ廻り縁
④	梁型：木下地構造用合板t=9の上桧小幅板板張りt=12（本実目透かし）NP
⑤	梁型：ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上EP　塩ビ廻り縁
⑥	LGS下地新設　PBt=9.5の上クロス貼り　塩ビ廻り縁
⑦	ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上クロス貼り
⑧	LGS下地新設構造用合板t=9の上桧板張りt=12（本実目透かし）ＷＰＷ=105
	ＬＧＳ下地吊りボルトは金属製アンカーＭ10打設とする 引張試験を行うこと（1ロット3本）

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　2階天井伏図		
縮　尺	1/150	番 号	95　枚の内　28　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

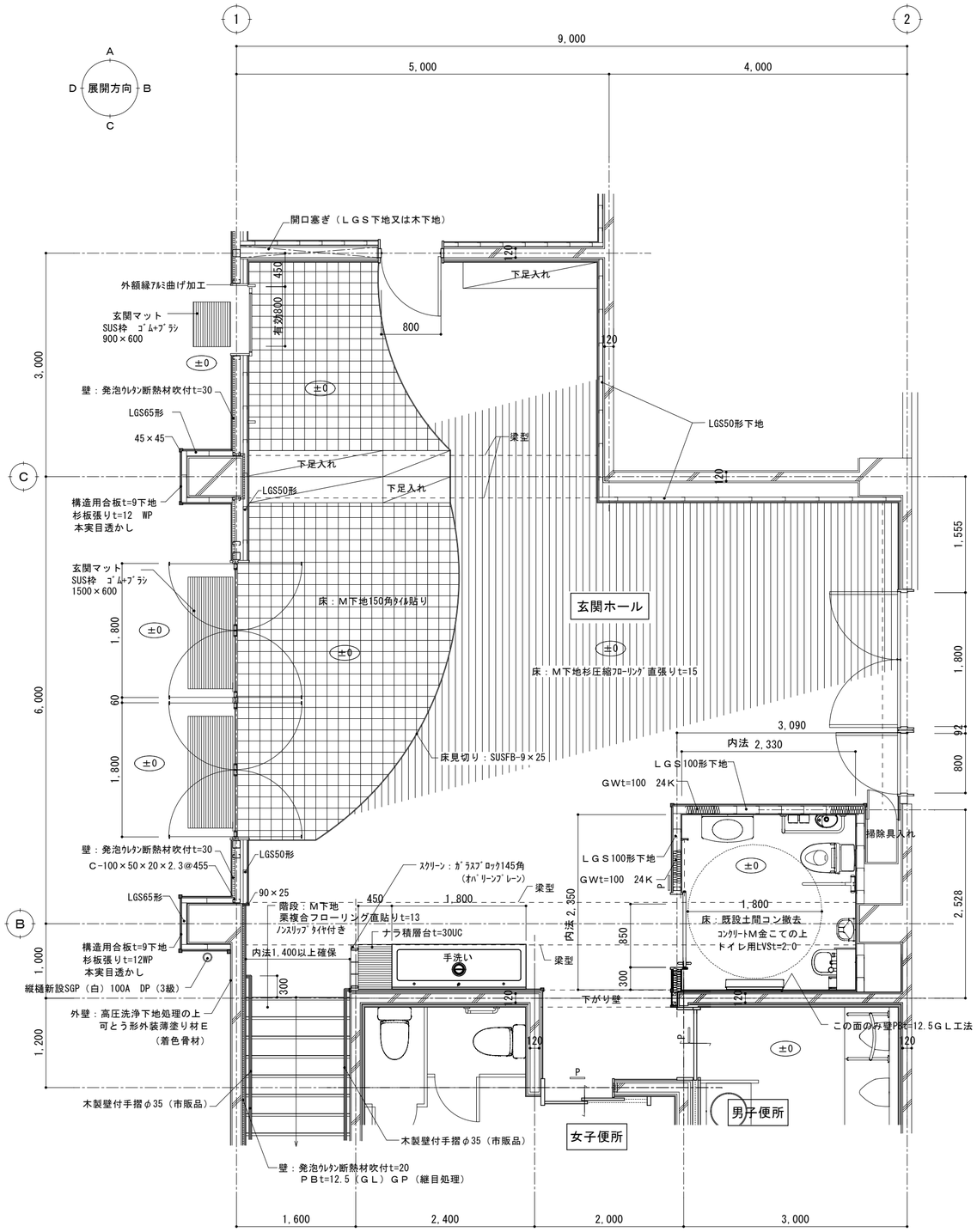


改修前　玄関ホール平面詳細図　1/50



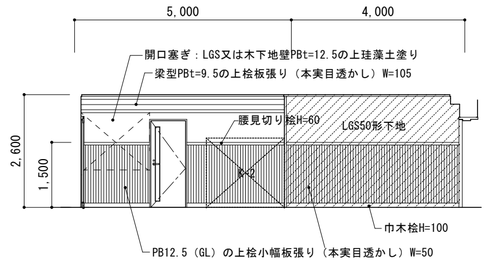
改修前　展開図　1/50

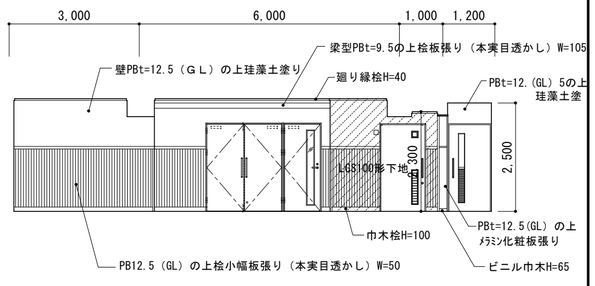
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事		
図　名	改修前　玄関ホール平面詳細図、展開図		
縮　尺	1/50　1/100	番　号	95　枚の内　29　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



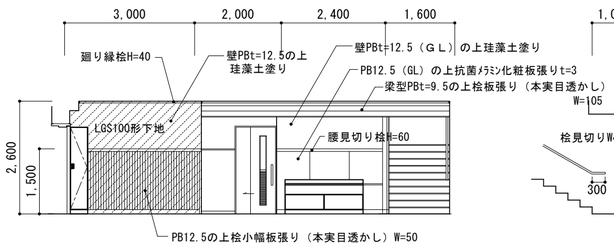
改修後　玄関ホール平面詳細図　1/50

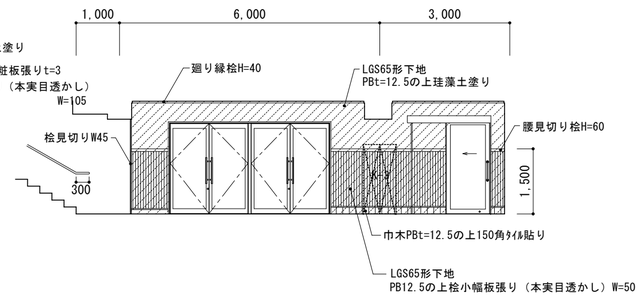
※木部見え掛かりは特記なき限り自然塗装とする。





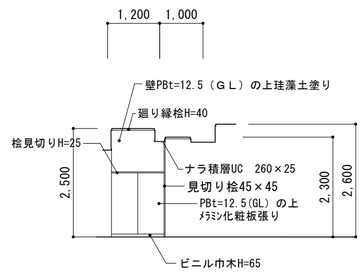
玄関ホール　A　B



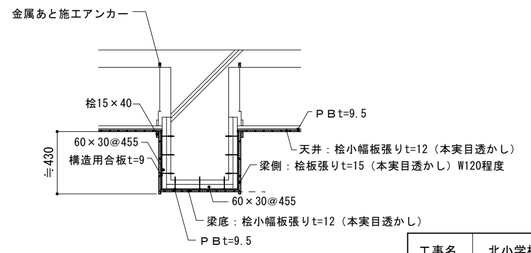


C　D

改修後　展開図　1/50

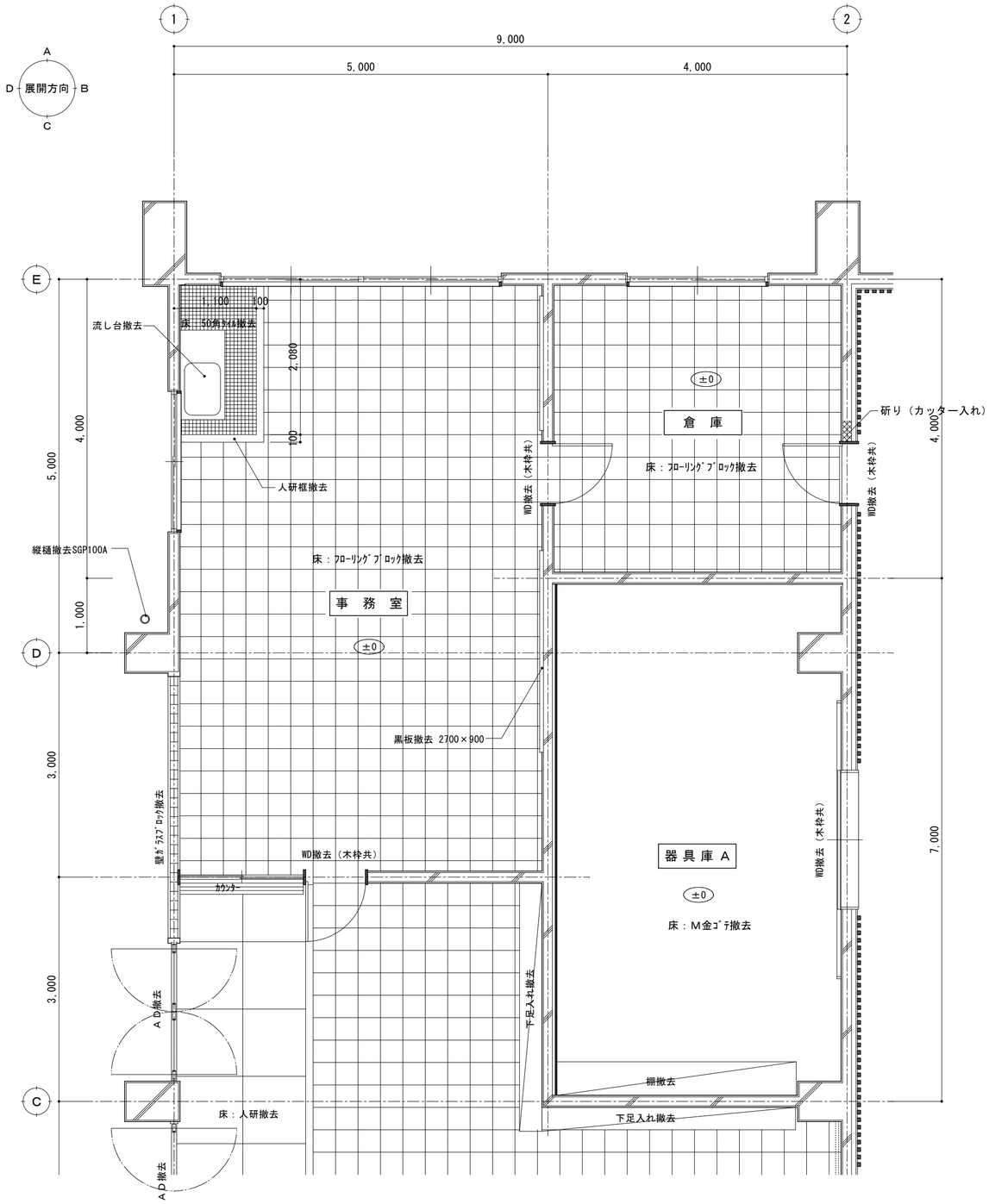


男子・女子便所前　D

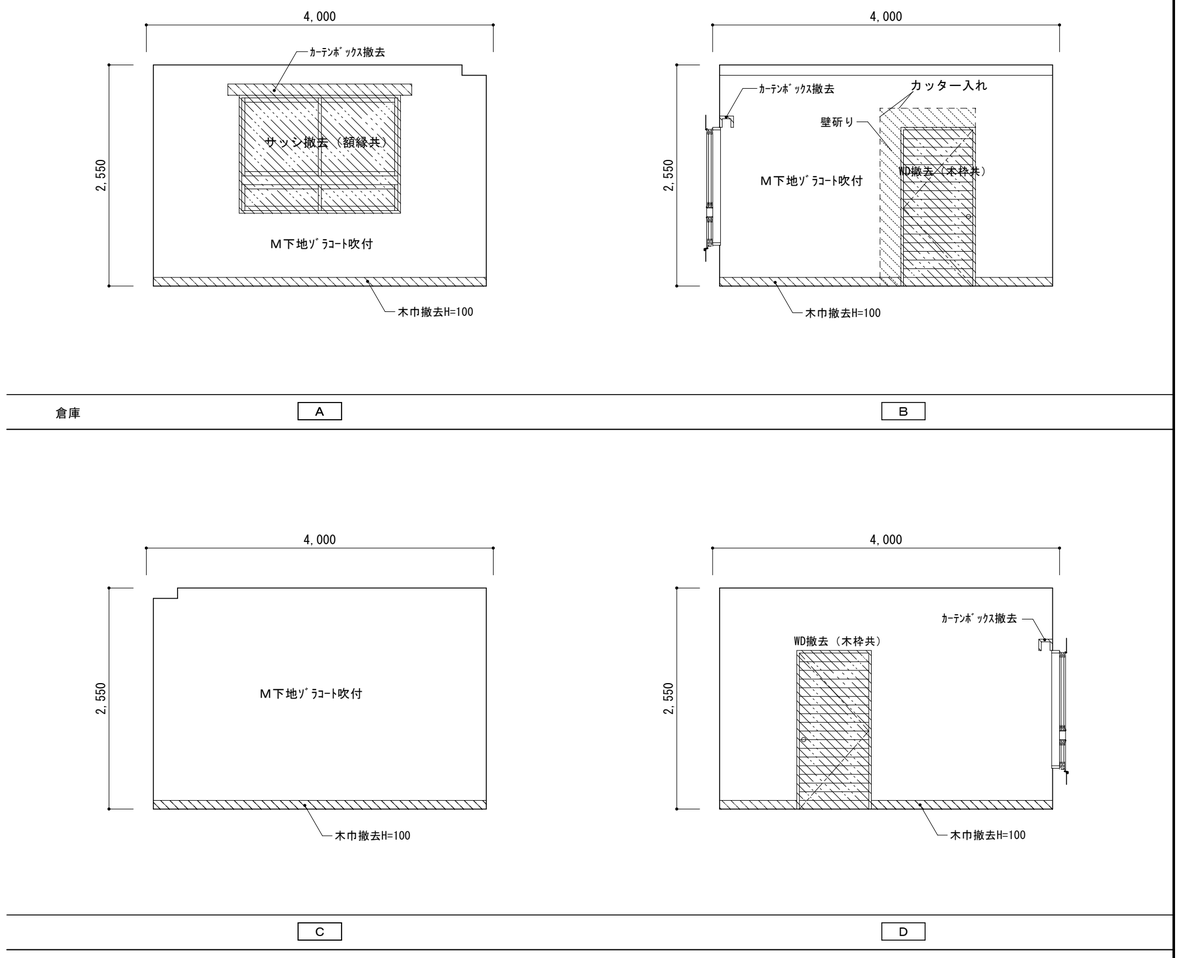


梁型詳細図　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後 玄関ホール平面詳細図、展開図、部分詳細図		
縮　尺	1/50　1/100 1/30	番　号	95　枚の内　30　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

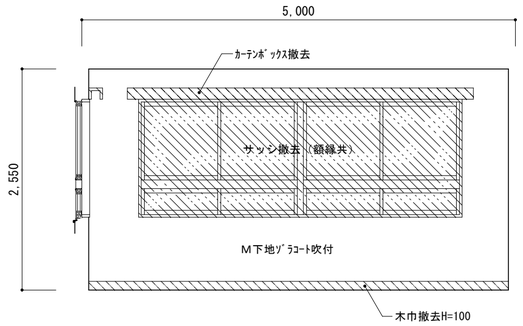


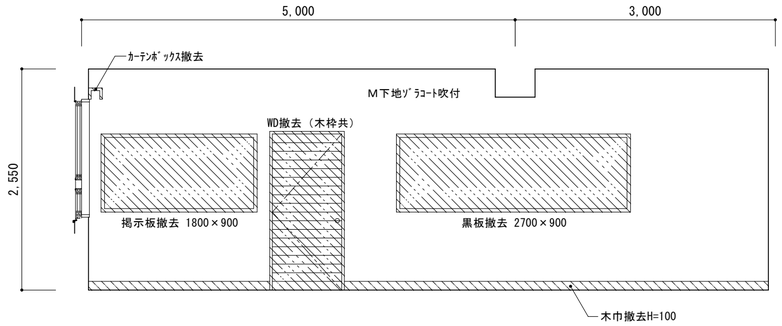
改修前　事務室、倉庫、器具庫A　平面詳細図　1/50



改修前　展開図　1/50

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前 事務室、倉庫、器具庫A平面詳細図、倉庫展開図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　31　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

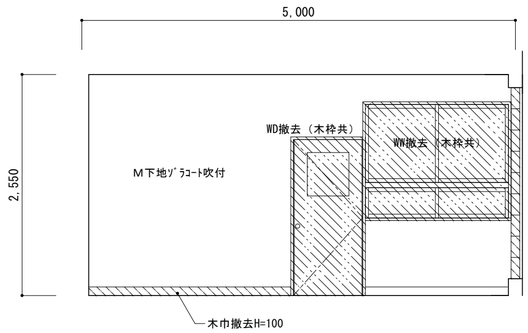


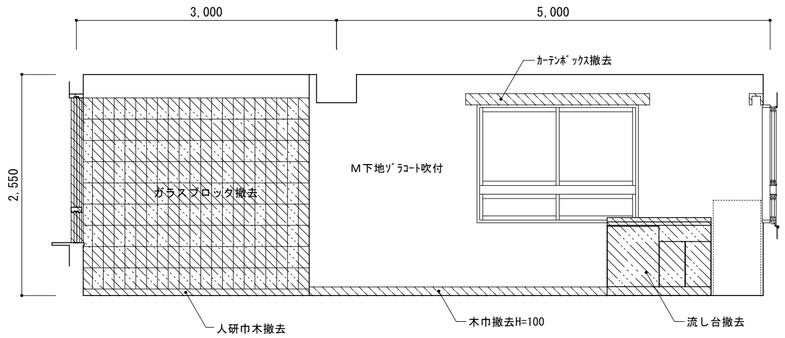


事務室

A

B

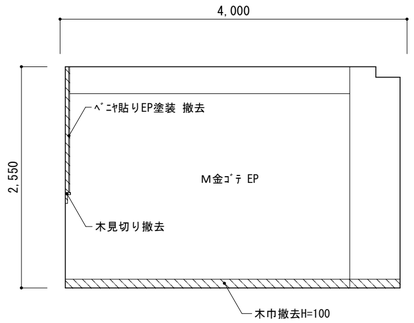




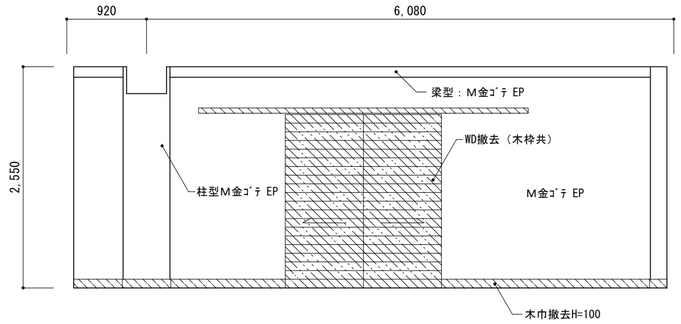
C

D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　事務室展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　32　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

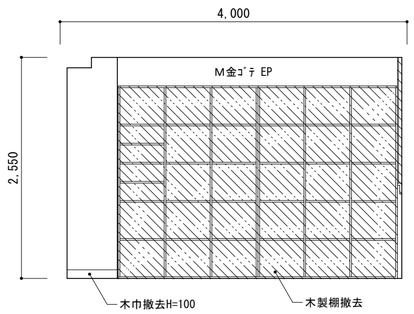


A

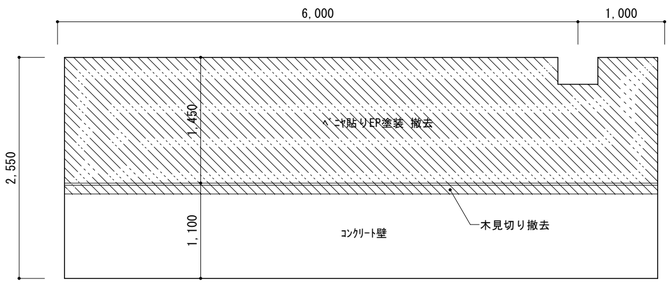


B

器具庫Ａ

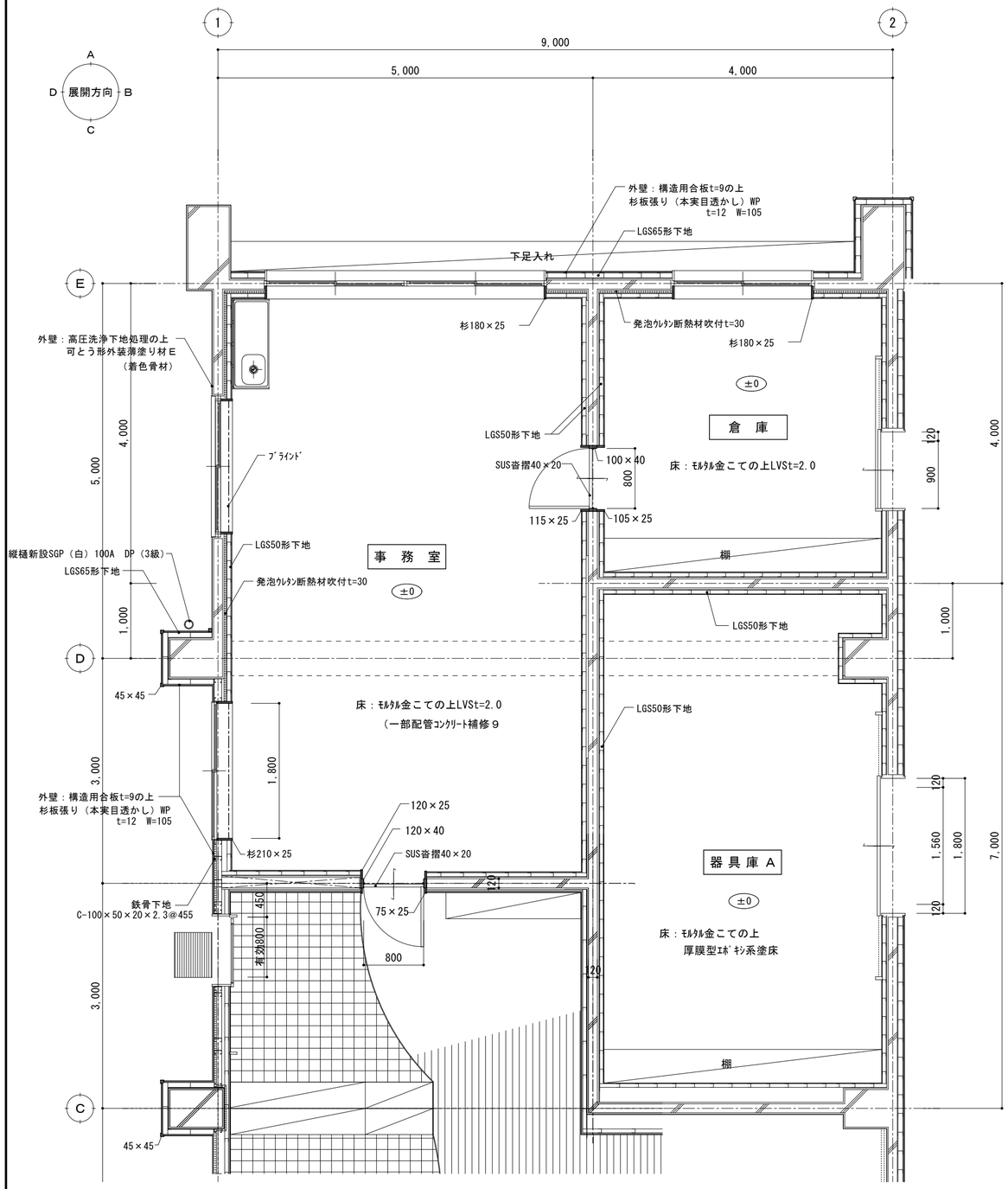


C



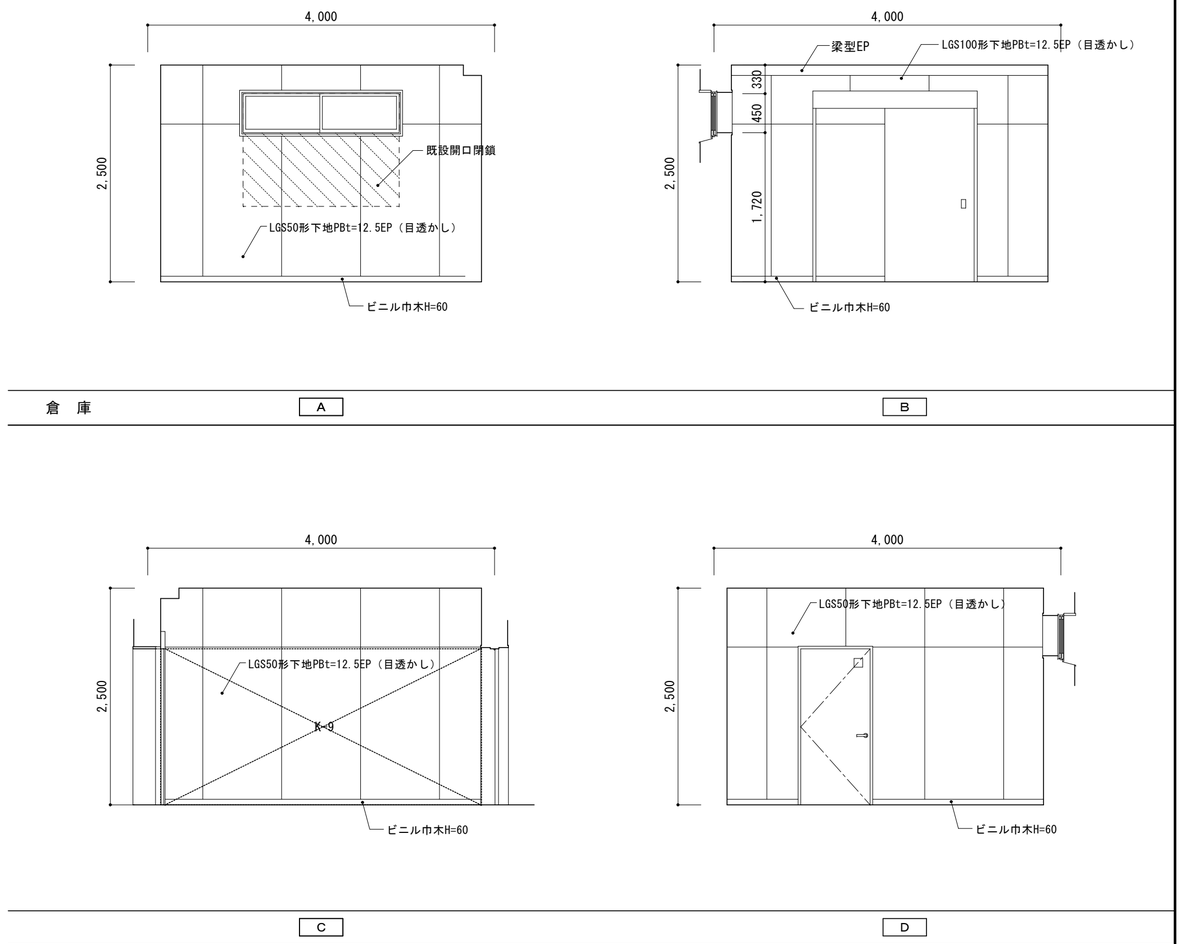
D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　器具庫Ａ展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　33　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

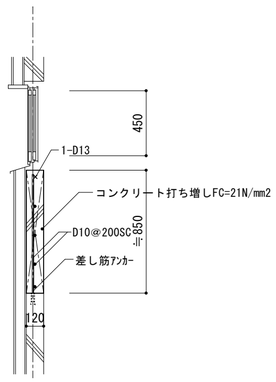


改修後　事務室、倉庫、器具庫平面詳細図　1/50

※特記なき限り内部木部見え掛かりは杉（上小節）自然塗装とする。



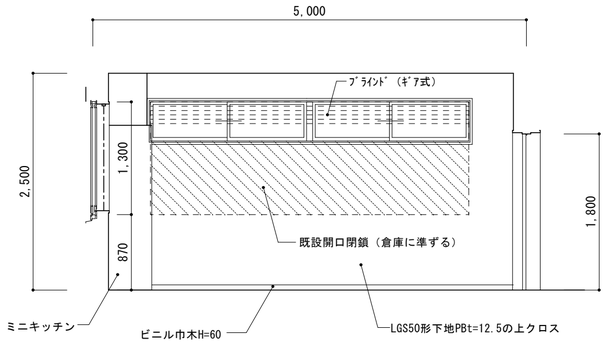
改修後　展開図　1/50

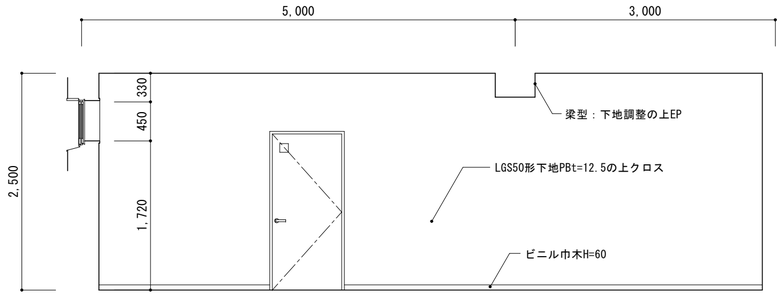


壁開口部閉鎖詳細図　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築)		
図　名	改修後 事務室、倉庫、器具庫A平面詳細図、倉庫展開図		
縮　尺	1/50、1/30	番　号	95　枚の内　34　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市

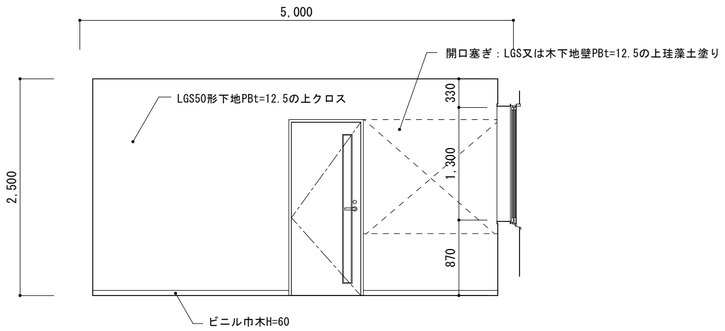


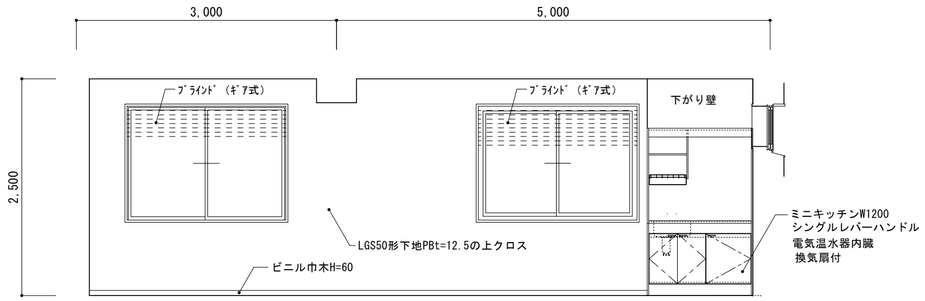


事務室

A

B

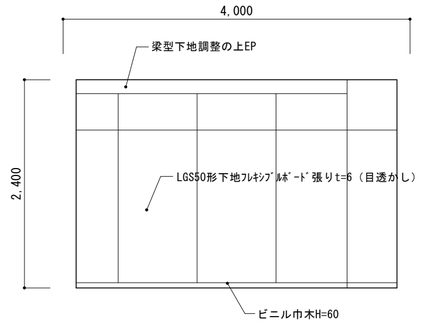




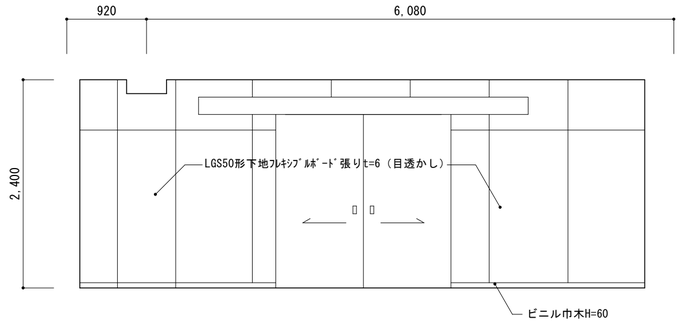
C

D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　事務室展開図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　35　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

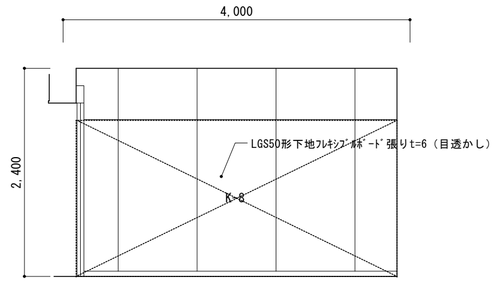


A

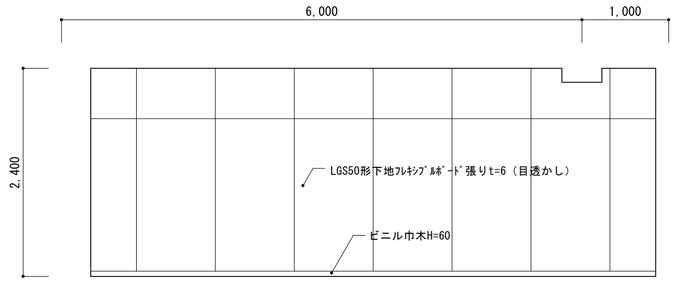


B

器具庫Ａ

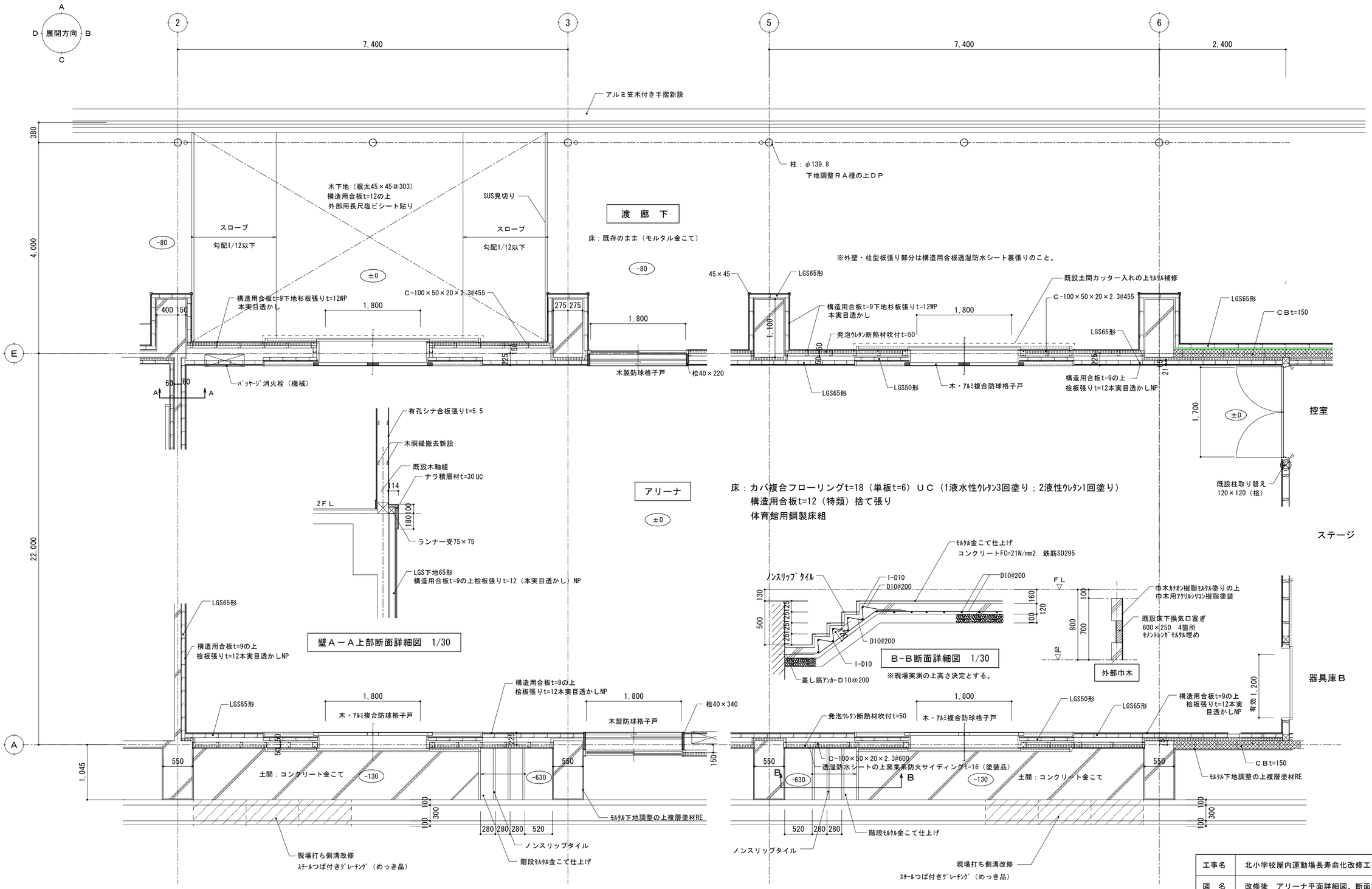


C



D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　器具庫Ａ展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　36　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

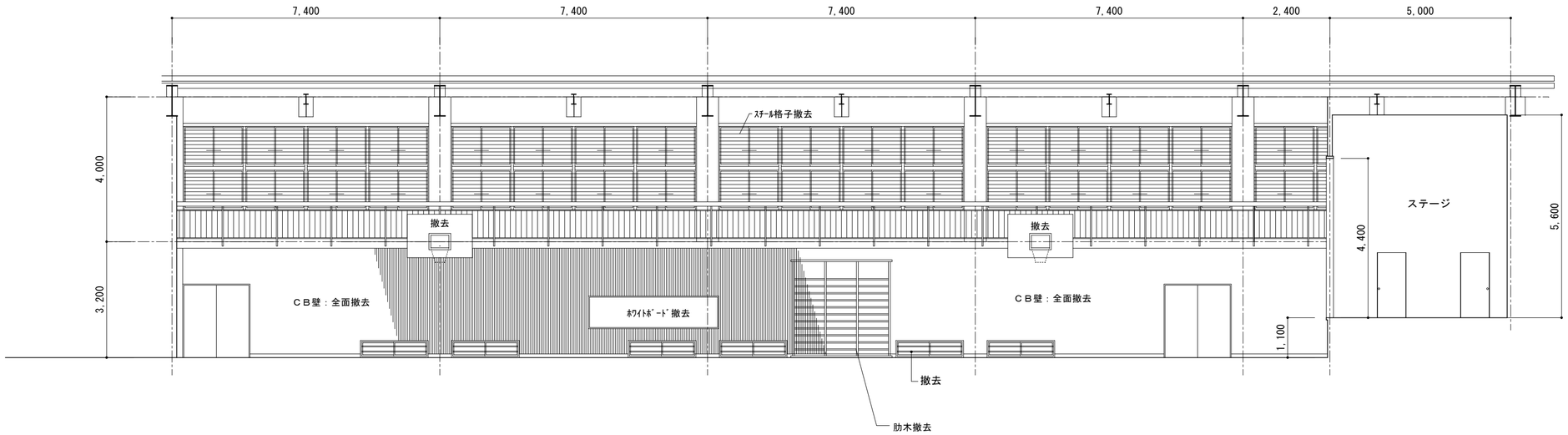


改修後　アリーナ平面詳細図　1/50

※アリーナ壁4方向に紅白幕取付用ＳＵＳ回転フック@1000程度取付とする。

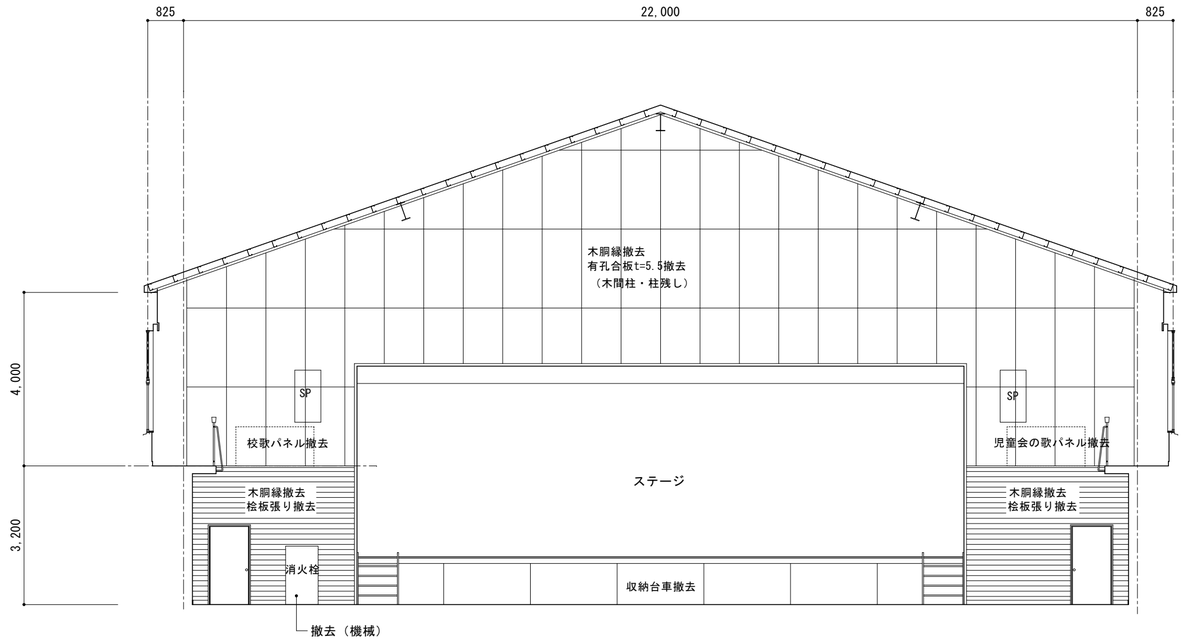
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）			
図　名	改修後　アリーナ平面詳細図、断面詳細図			
縮　尺	1/50　1/30	番　号	95　枚の内　37　号	
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月			
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号			

高　　山　　市



アリーナ

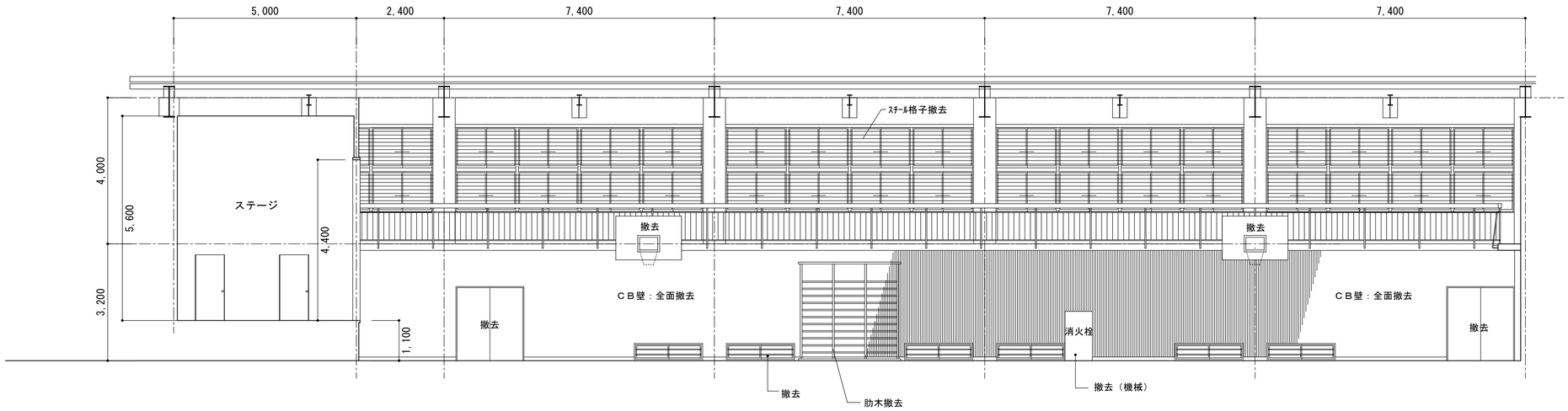
A



B

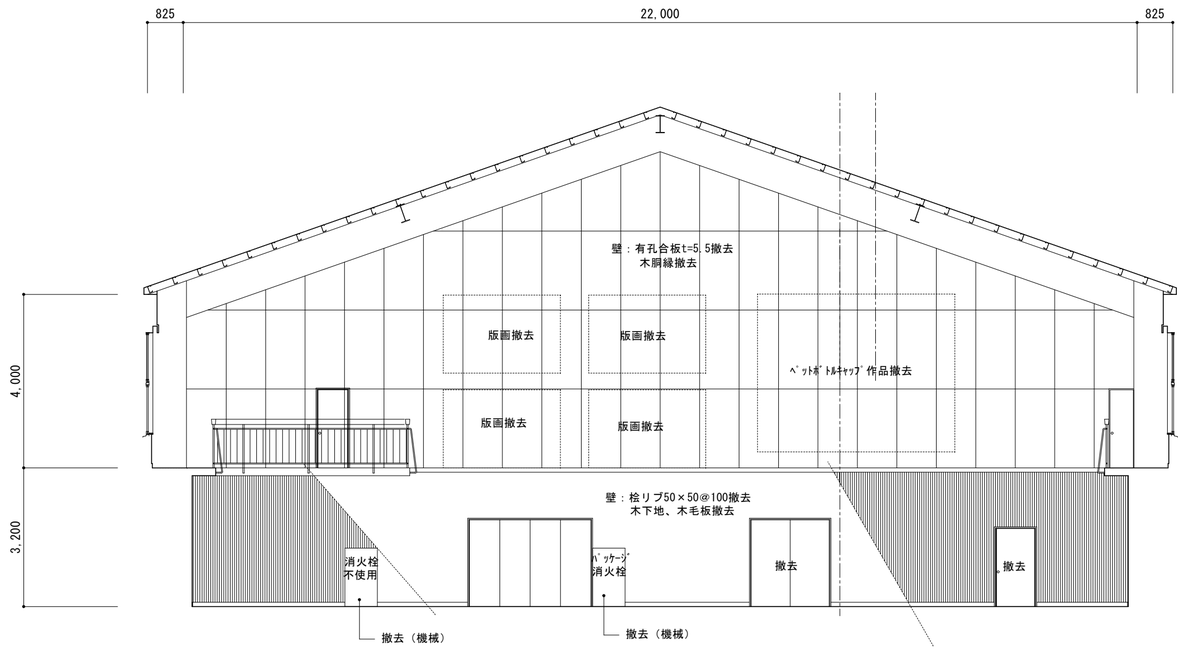
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　アリーナ展開図（1）		
縮　尺	1/100	番　号	95　枚の内　38　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



アリーナ

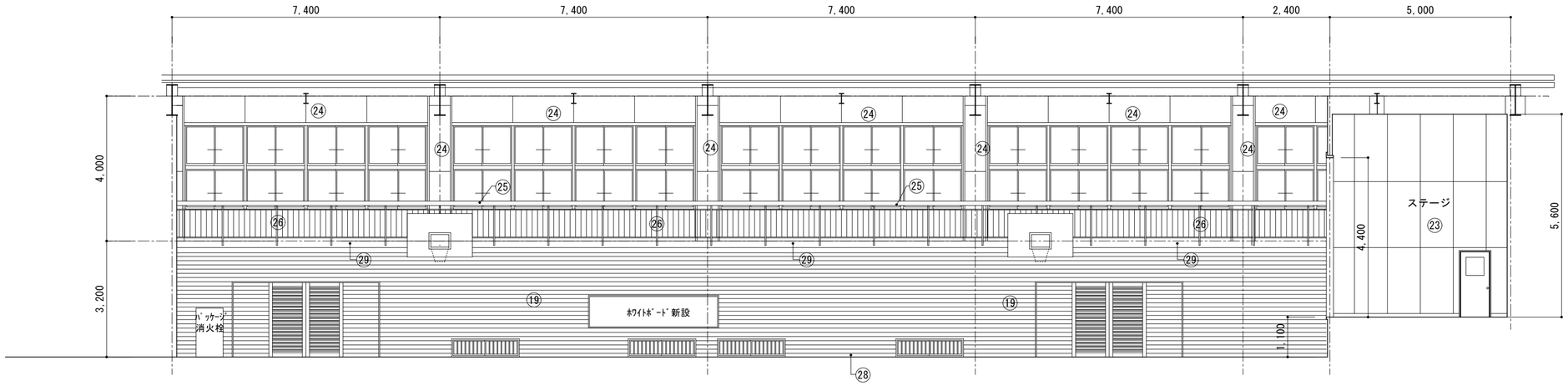
C



D

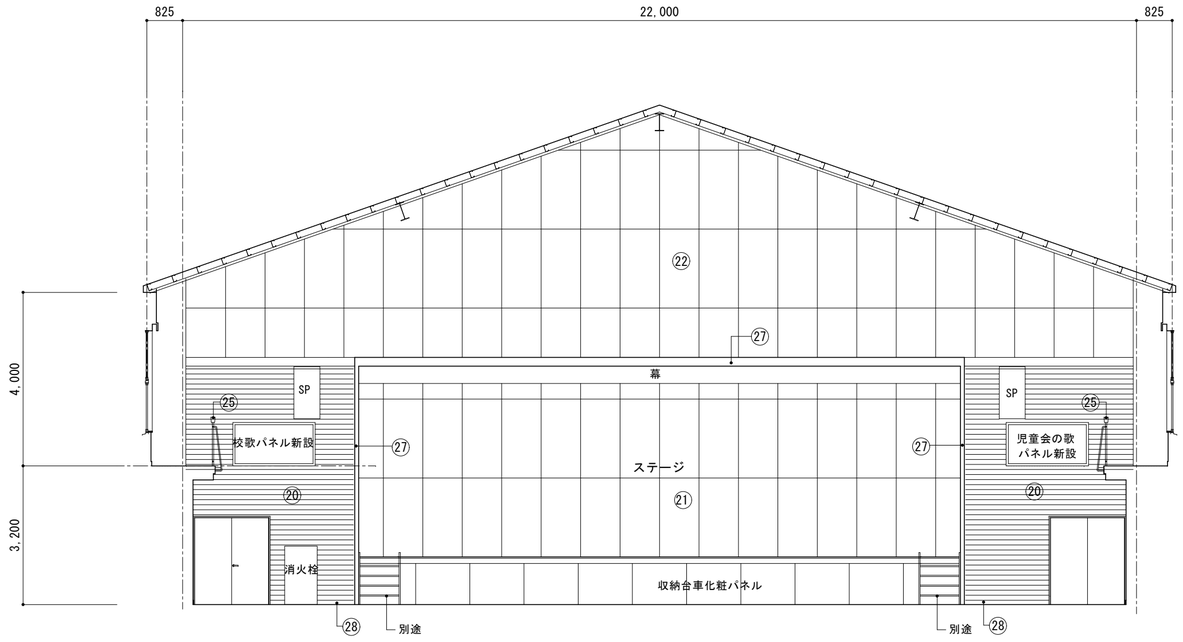
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　アリーナ展開図（2）		
縮　尺	1/100	番　号	95　枚の内　39　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市

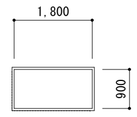


アリーナ

A



※パネル位置及びｽﾋﾟｰｶｰﾎﾞｯｸｽは現場協議により、決定する。



校歌・児童会の歌パネル
文字：ｱﾙﾐ複合板t=5　ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ出力貼り
枠：桧W=50飛騨春慶塗り

⑲	LGS65形下地構造用合板t=9の上桧板張りt=12　W=105（本実目透かし）
⑳	木下地構造用合板t=9の上桧板張りt=12　W=105（本実目透かし）NP
㉑	LGS65形下地PBt=12.5の上有孔シナ合板目透かし張り（寒冷紗裏貼り）（本実目透かし）NP
㉒	木下地有孔シナ合板t＝5.5目透かし張り（寒冷紗裏貼り)NP
㉓	木下地シナ合板t＝5.5目透かし張りNP
㉔	PBt=12.5（ＧＬ工法）の上有孔シナ合板ｔ＝5.5目透かし張り（寒冷紗裏貼り）NP
㉕	既設木部下地調整の上UC
㉖	既設鉄部下地調整の上SOP
㉗	木部幕板等UC
㉘	木部巾木等NP
㉙	既設ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上EP

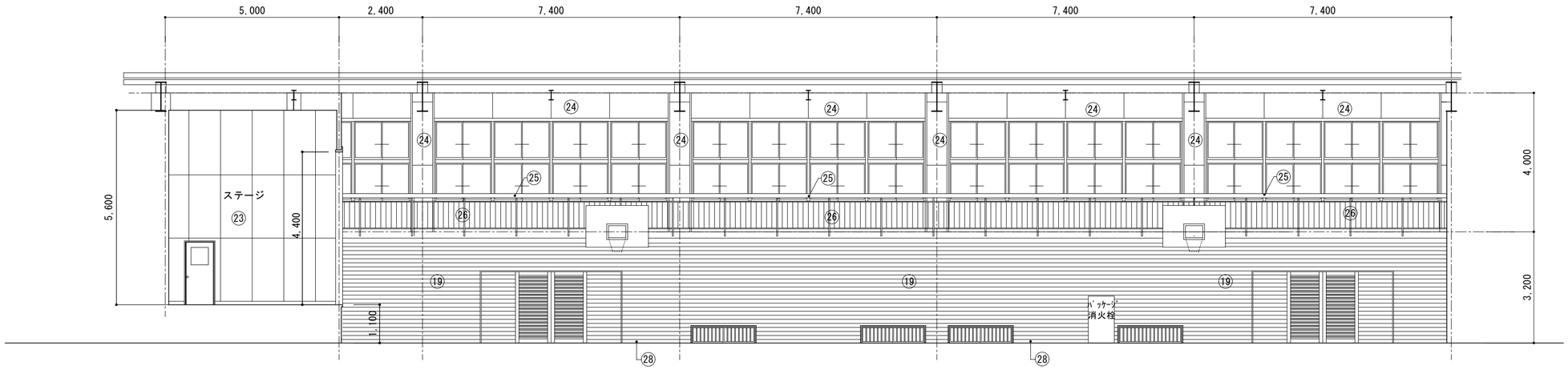
※壁：紅白幕取付用ステンレス回転フック取付@1000程度

ＮＰ：自然塗料２回塗り

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事(建築)		
図　名	改修後　アリーナ展開図（1）		
縮　尺	1/100	番　号	95　枚の内　40　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

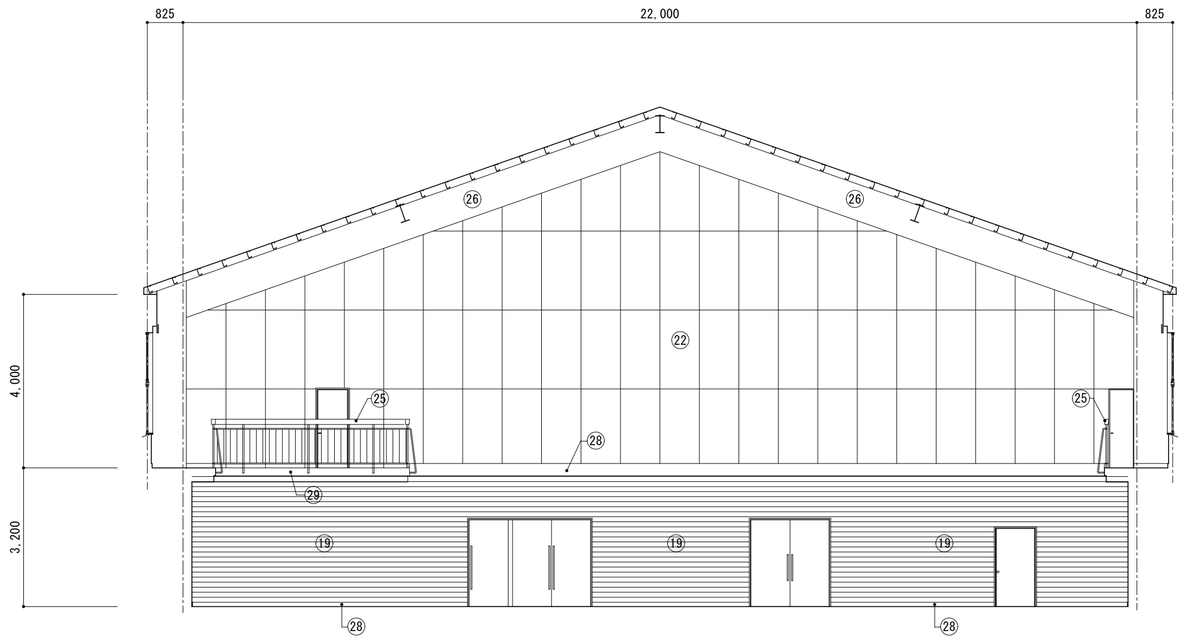
高　　山　　市

B



アリーナ

C



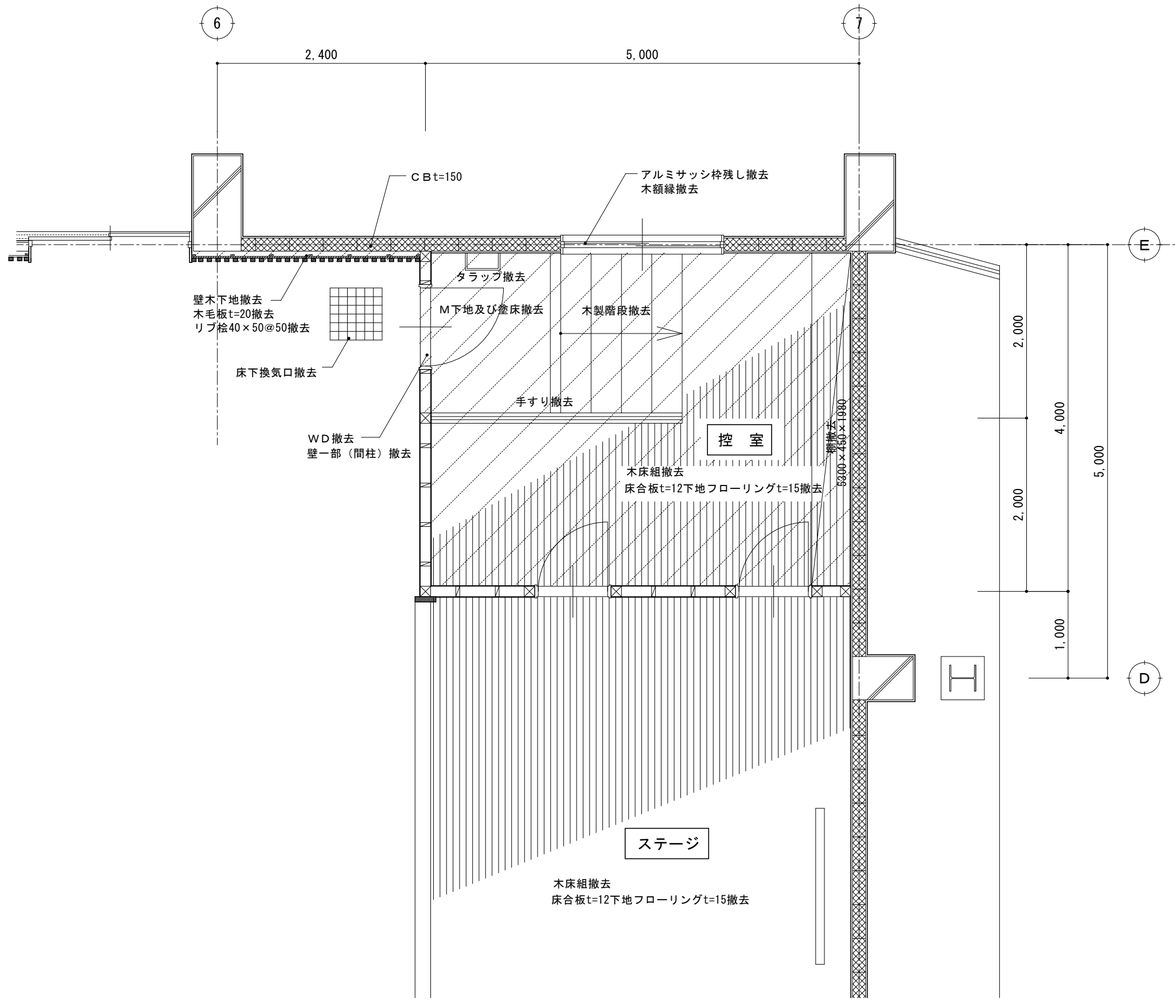
⑲	LGS65形下地構造用合板t=9の上桧板張りt=12　W=105（本実目透かし）NP
⑳	木下地構造用合板t=9の上桧板張りt=12　W=105（本実目透かし）NP
㉑	LGS65形下地PBt=12.5の上有孔シナ合板目透かし張り（寒冷紗裏貼り）（本実目透かし）NP
㉒	木下地有孔シナ合板t＝5.5目透かし張り（寒冷紗裏貼り)NP
㉓	木下地シナ合板t＝5.5目透かし張りNP
㉔	PBt=12.5（ＧＬ工法）の上有孔シナ合板ｔ＝5.5目透かし張り（寒冷紗裏貼り）NP
㉕	既設木部下地調整の上UC
㉖	既設鉄部下地調整の上SOP
㉗	木部幕板等UC
㉘	木部巾木等NP
㉙	既設ﾓﾙﾀﾙ下地調整の上EP

※壁：紅白幕取付用ステンレス回転フック取付@1000程度
ＮＰ：自然塗料２回塗り

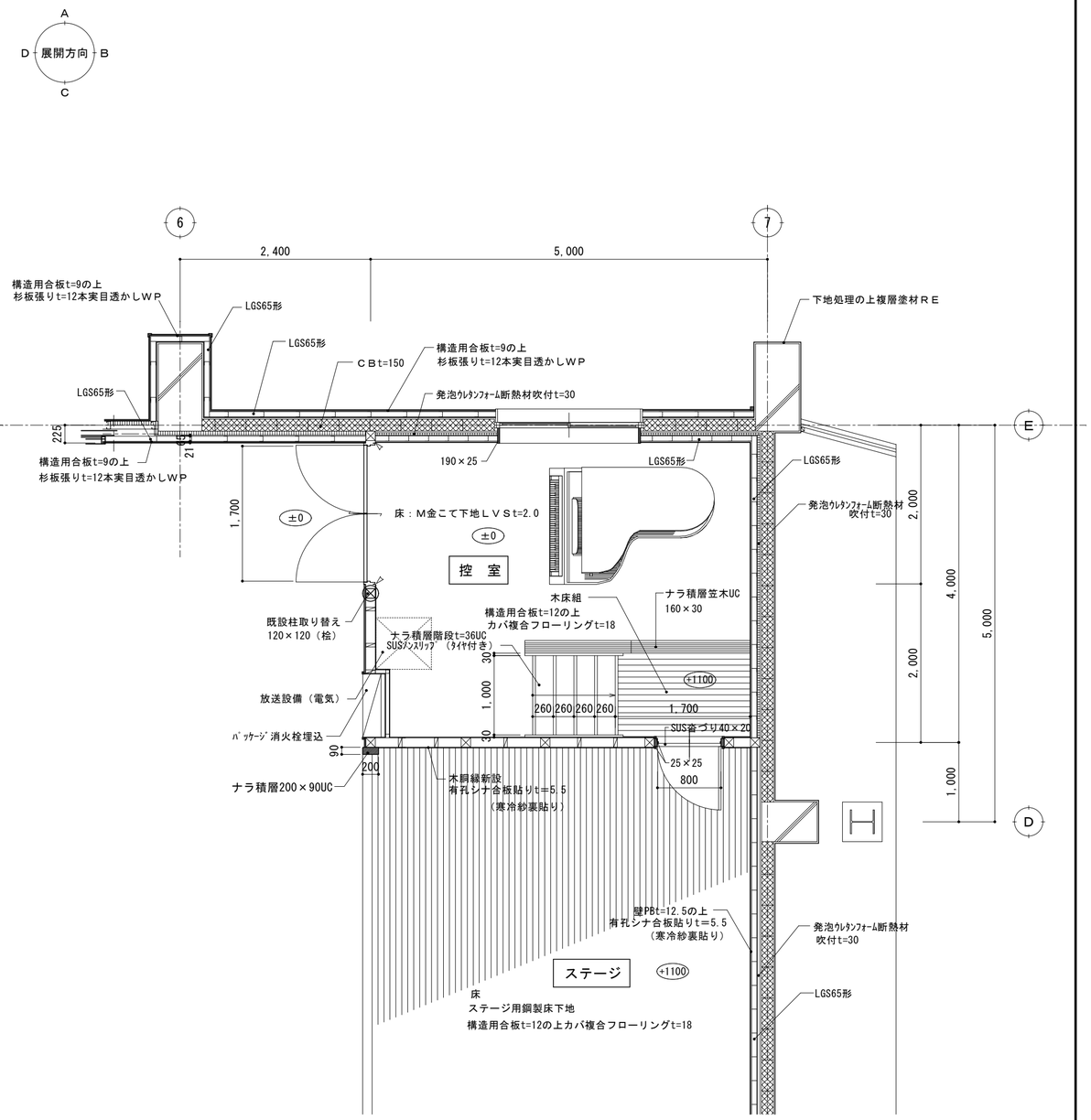
D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　アリーナ展開図（2）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　41　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



改修前　控室・ステージ平面詳細図　1/50

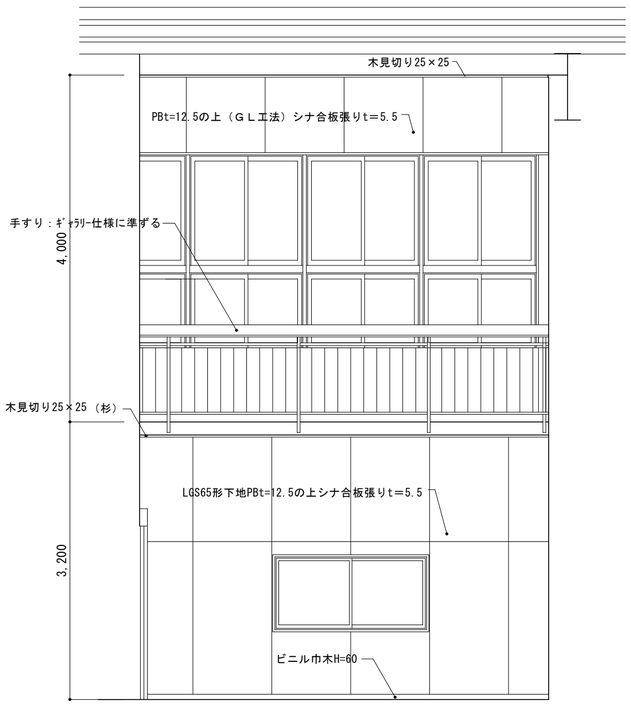


改修後　控室・ステージ平面詳細図　1/50

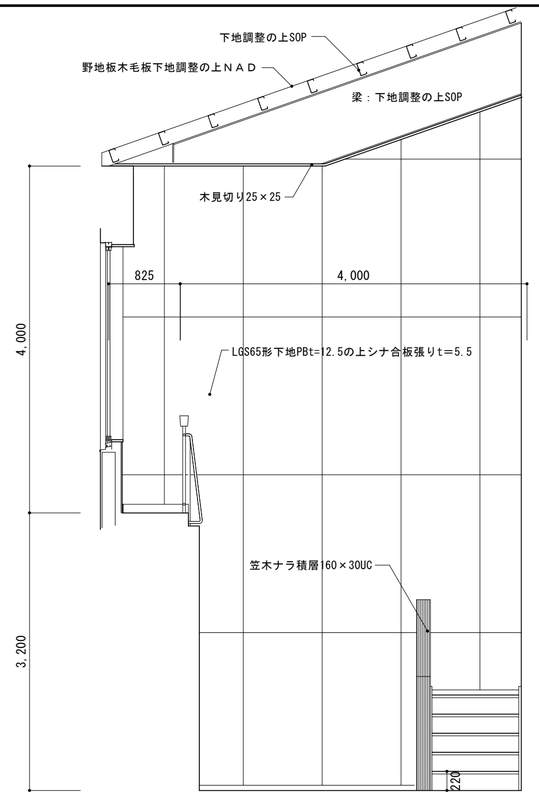
※特記なき限り内部木部見え掛かりは杉（上小節）自然塗装とする。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　控室・ステージ平面詳細図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　42　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			

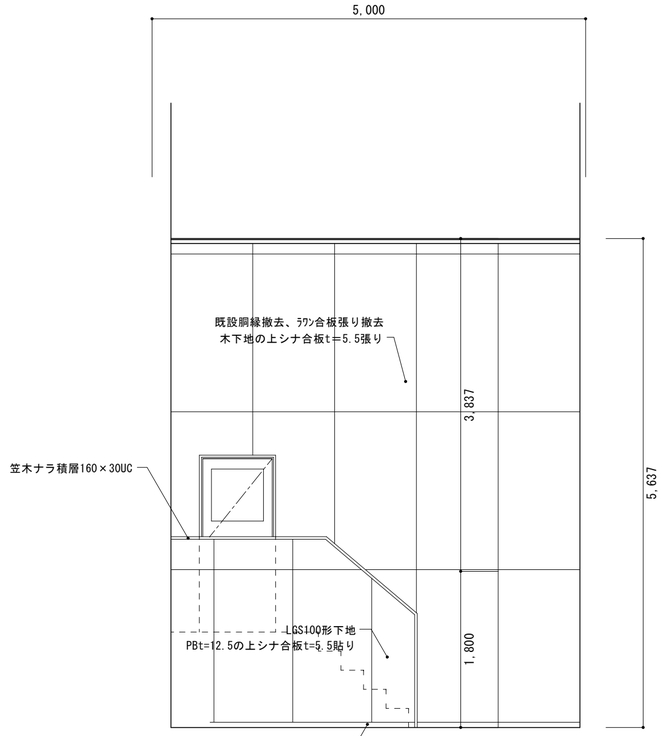
改修後　控室展開図　1/50



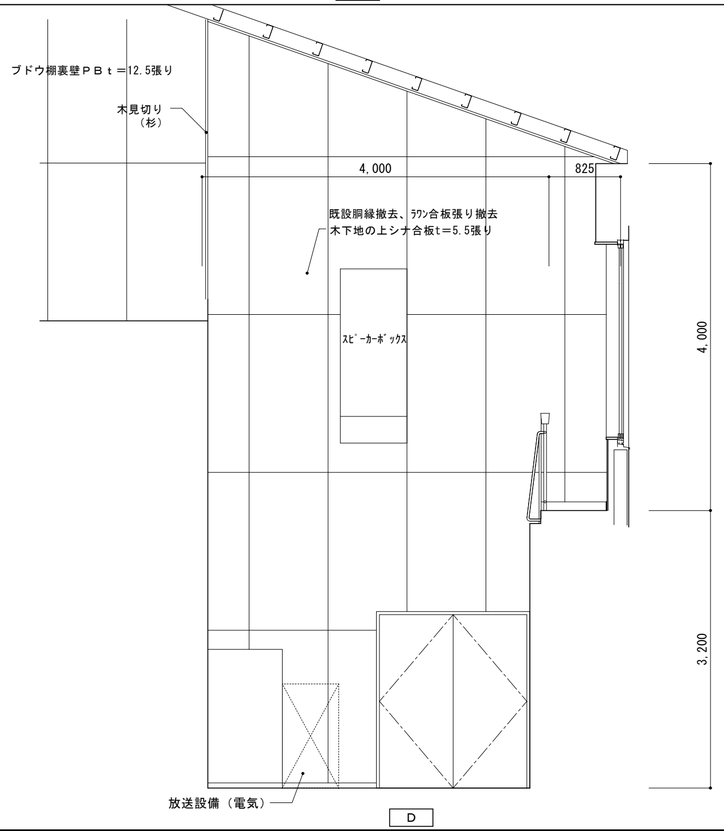
A



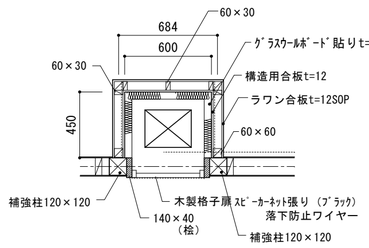
B

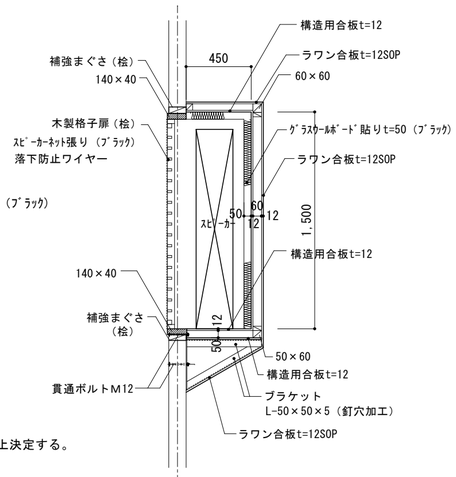


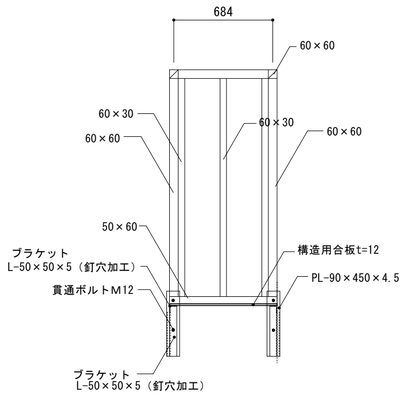
C



D







※既設軸組を確認の上取付位置、下地補強柱、まぐさ等は施工図作成の上決定する。

平　面　図

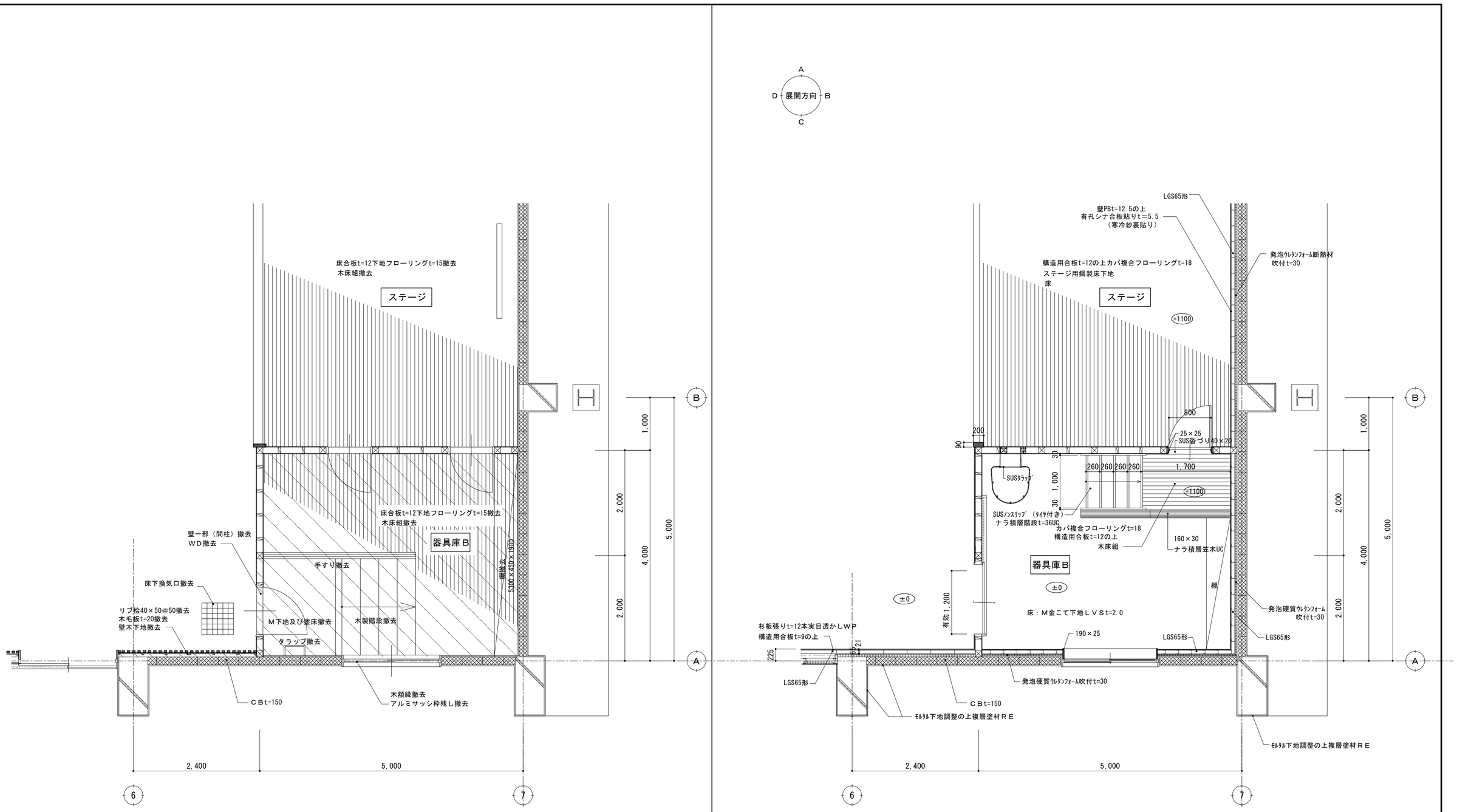
断　面　図

軸　組　図

スピーカーボックス詳細図　1/30　2箇所

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　控室展開図、部分詳細図		
縮　尺	1/50、1/30	番　号	95　枚の内　43　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

改修前　器具庫Ｂ・ステージ平面詳細図　1/50

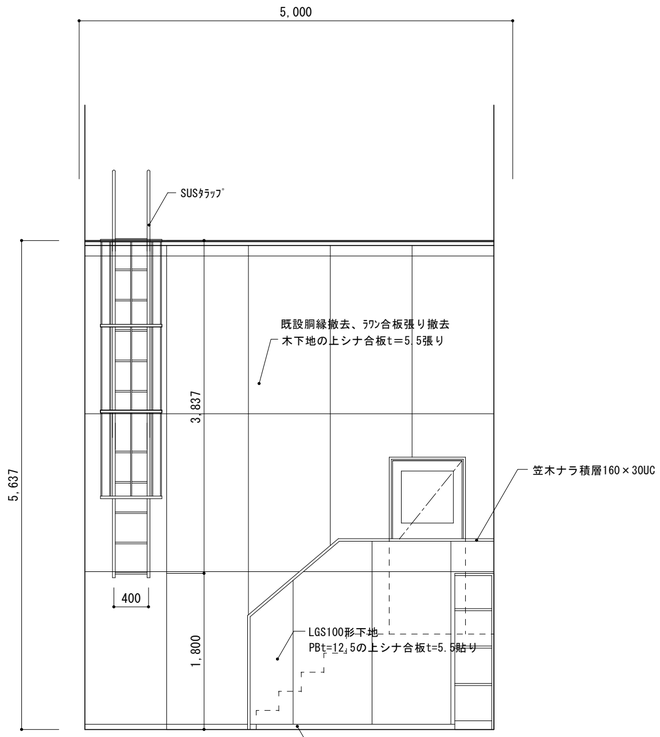


改修後　器具庫Ｂ・ステージ平面詳細図　1/50

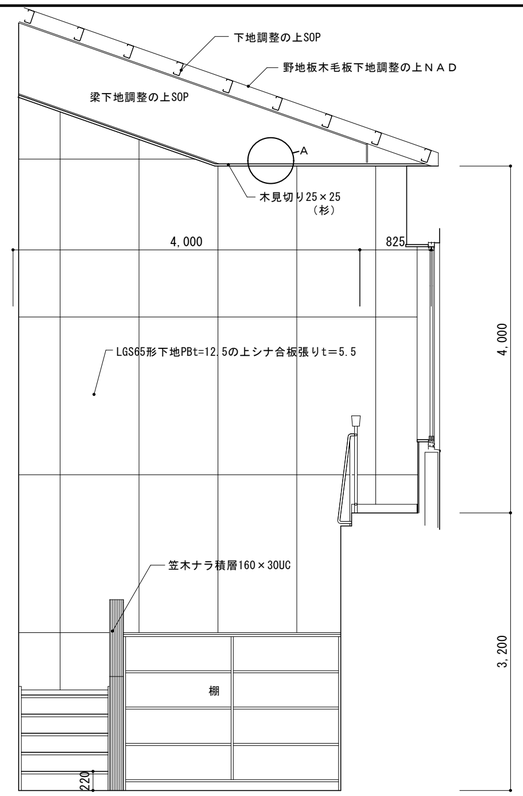
※特記なき限り内部木部見え掛かりは杉（上小節）自然塗装とする。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　器具庫Ｂ・ステージ平面詳細図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　44　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

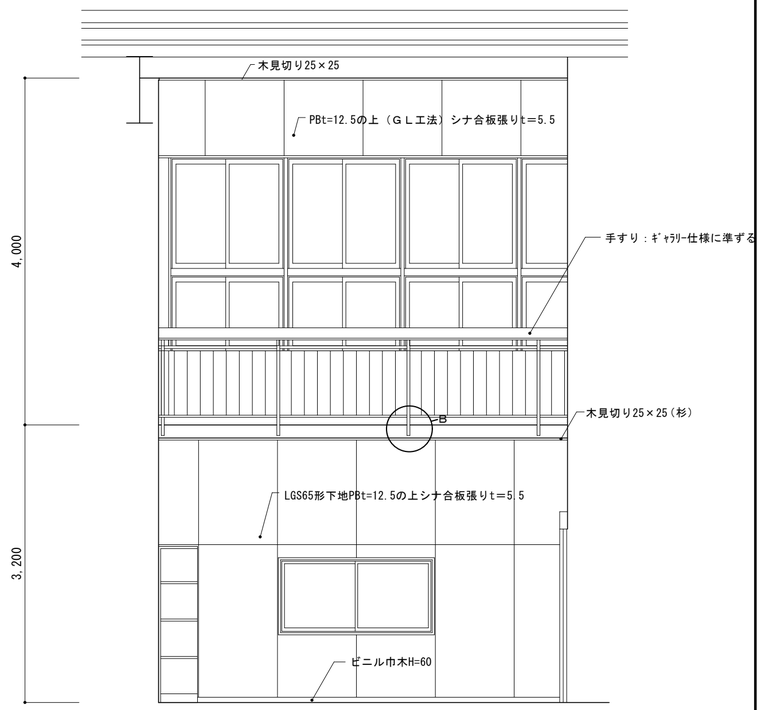
改修後　器具庫Ｂ展開図　1/50



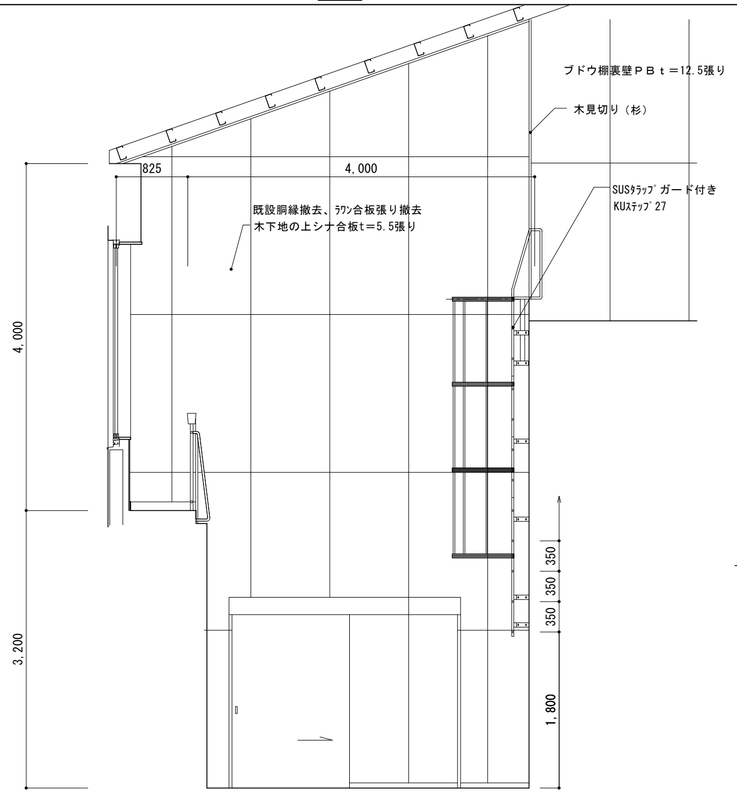
A



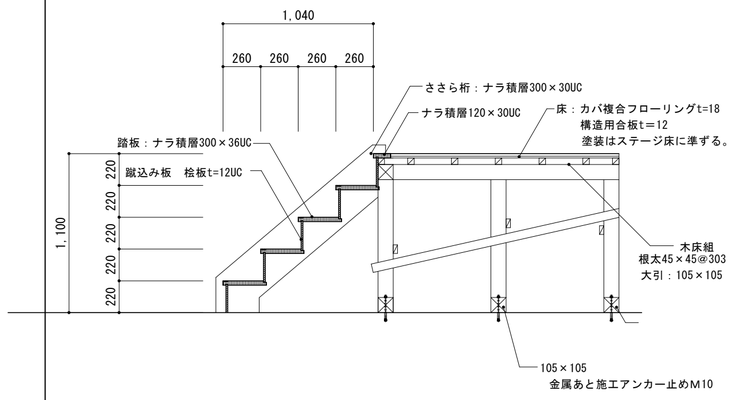
B



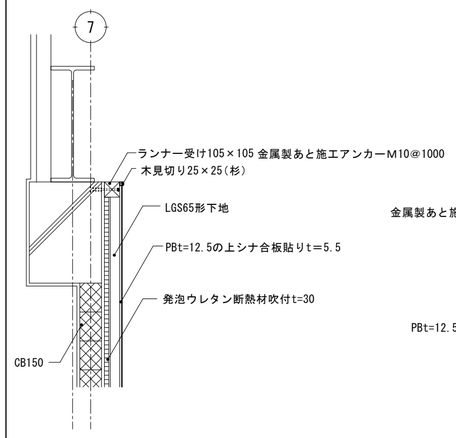
C



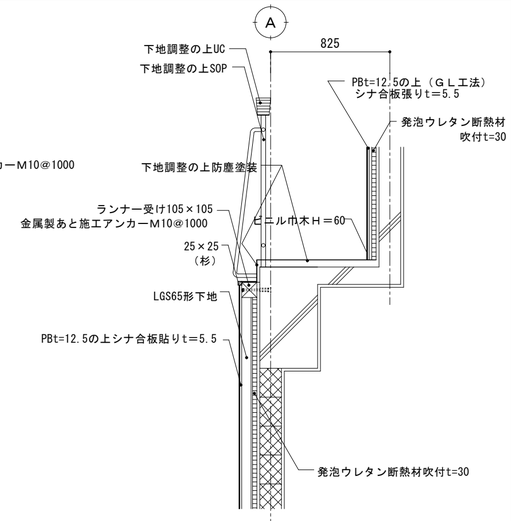
D



階段詳細図　1/30



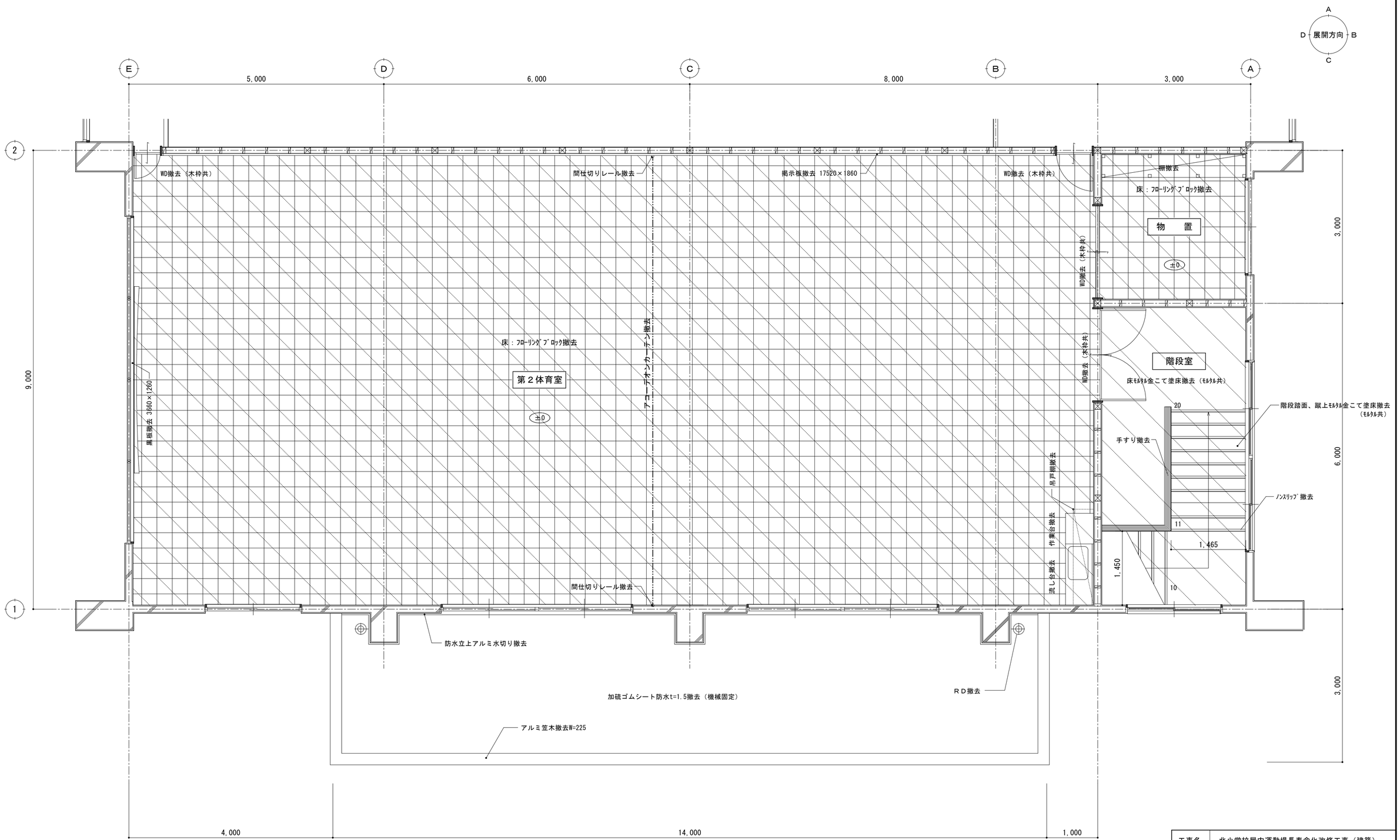
Ａ部詳細図　1/30



Ｂ部詳細図　1/30

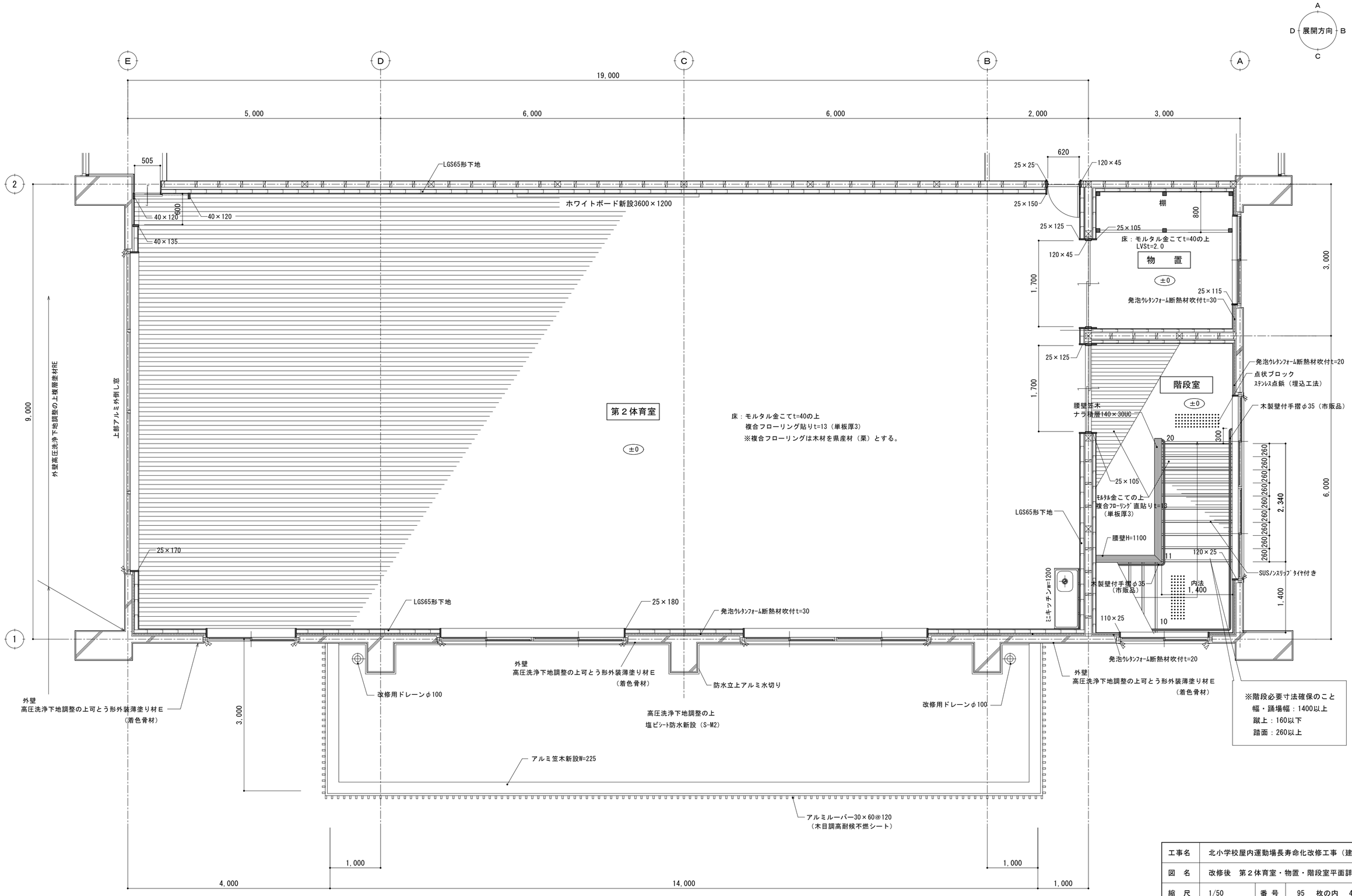
Ｅ通りも準ずる

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　器具庫Ｂ展開図、部分詳細図		
縮　尺	1/50、1/30	番　号	95　枚の内　45　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



改修前　第2体育室・物置・階段室平面詳細図　1/50

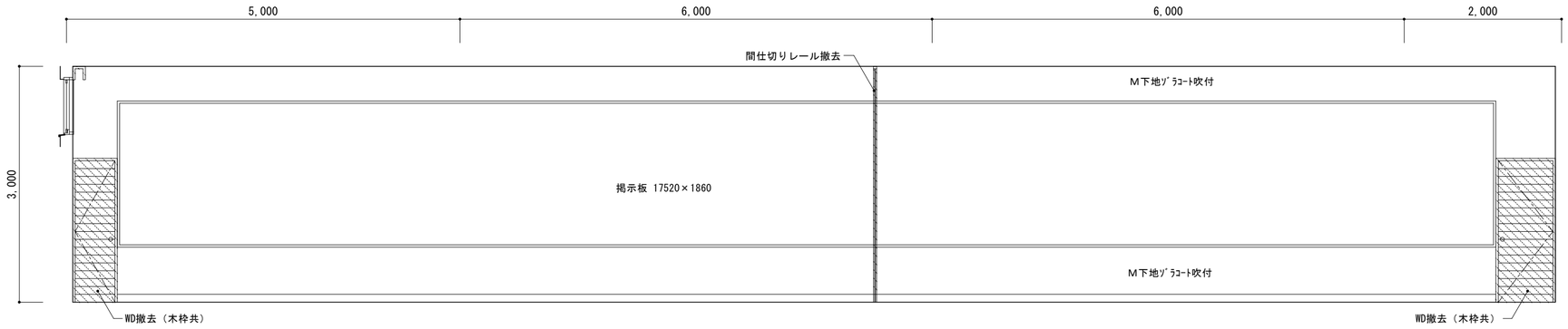
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　第２体育室・物置・階段室平面詳細図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　46　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



※特記なき限り内部木部見え掛かりは杉（上小節）自然塗装とする。

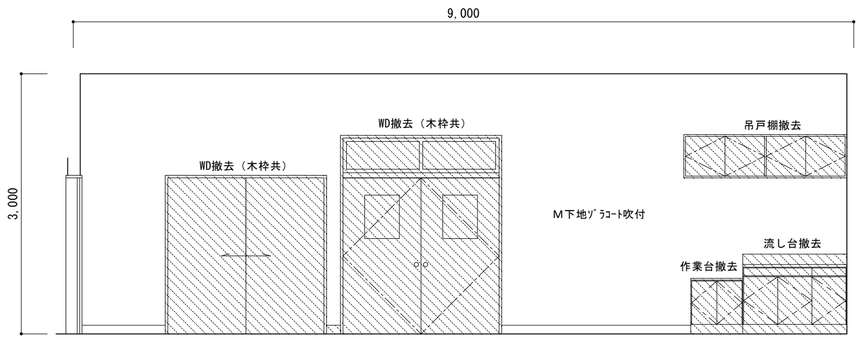
改修後　第２体育室・物置・階段室平面詳細図　1/50

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　第２体育室・物置・階段室平面詳細図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　47　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

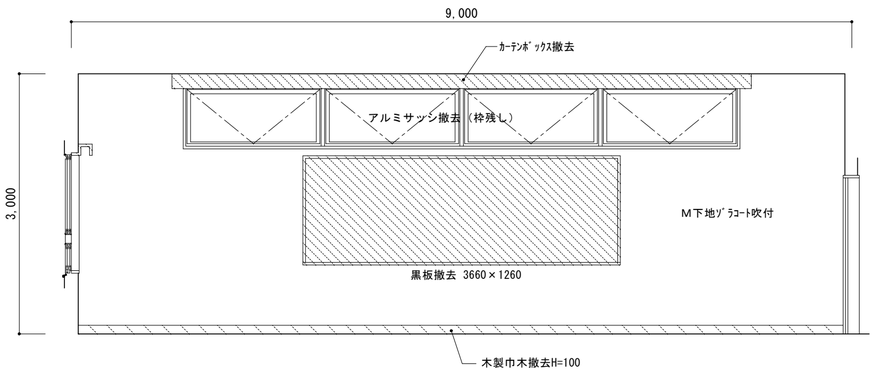


改修前　第2体育館

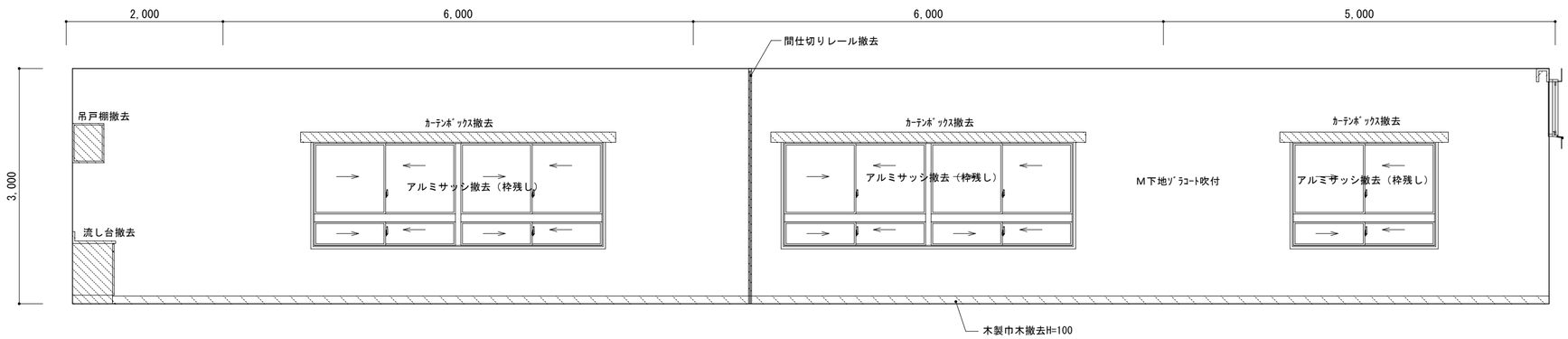
A



B

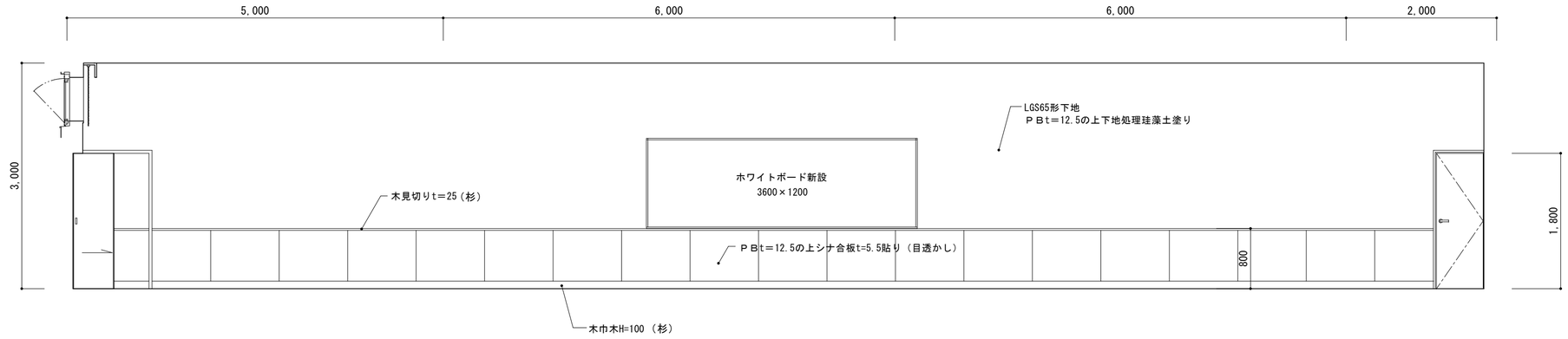


D



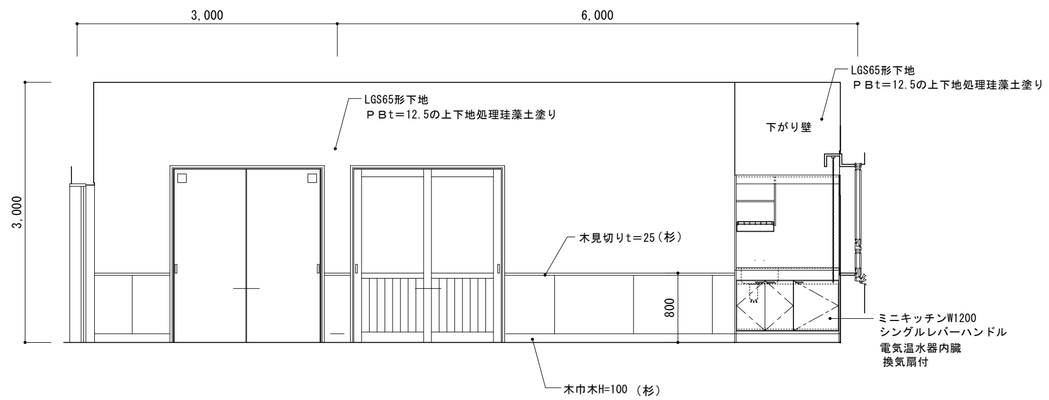
C

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　第2体育室展開図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　48　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

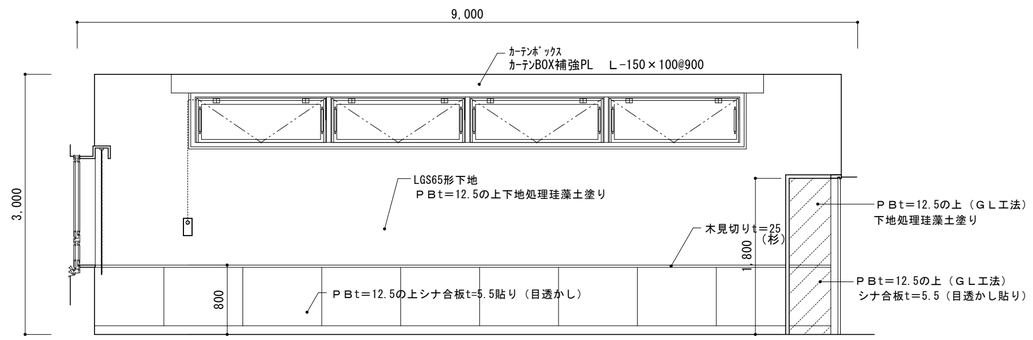


改修後　第2体育館

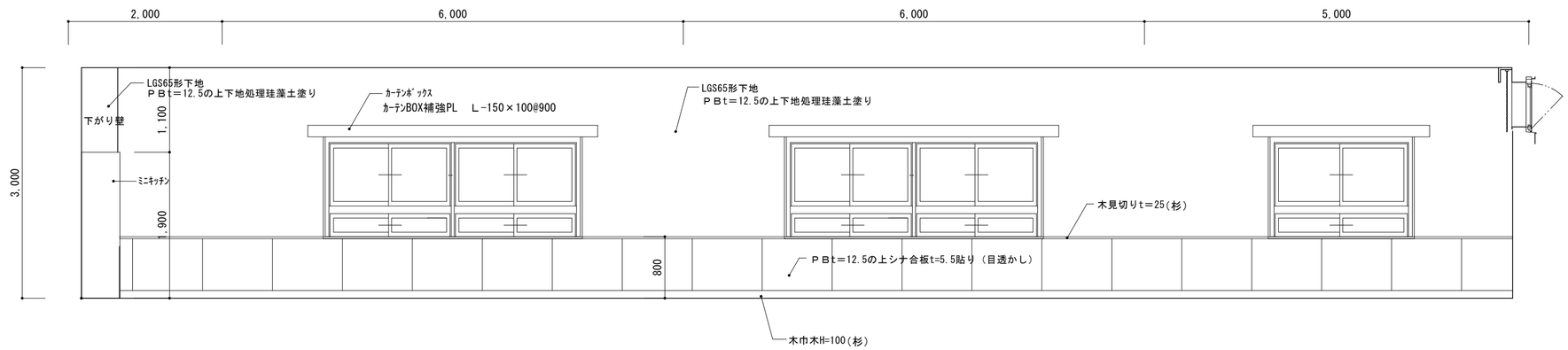
A



B



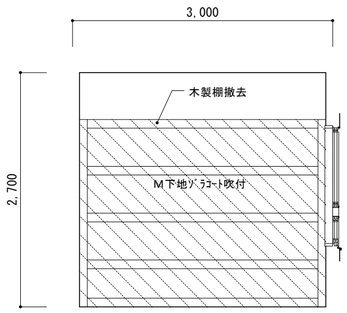
D

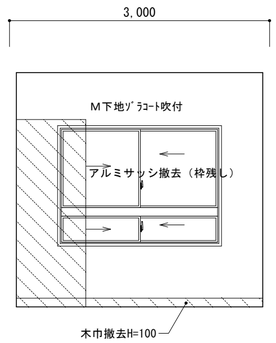


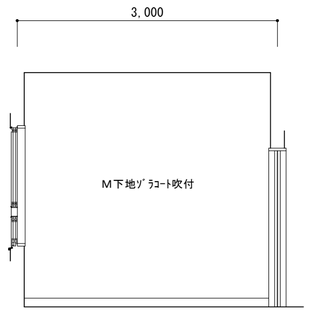
C

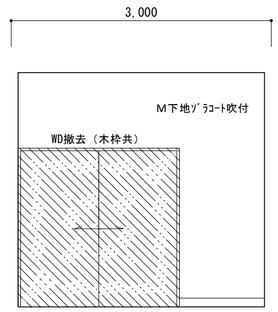
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　第2体育室展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　49　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市



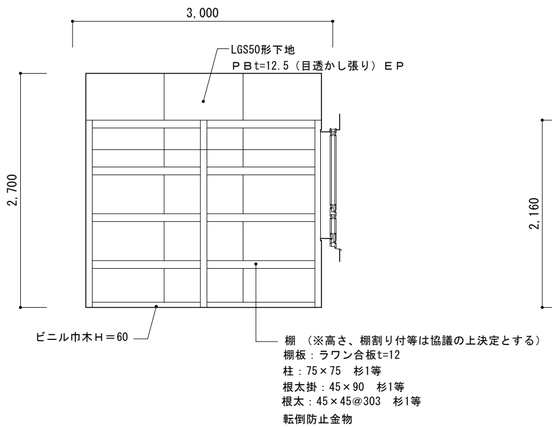


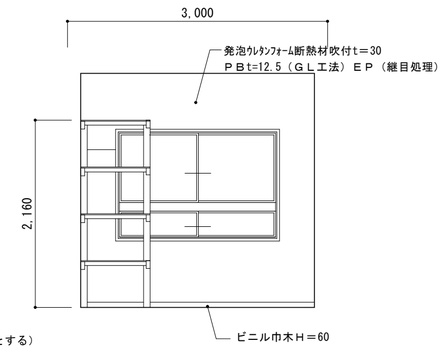


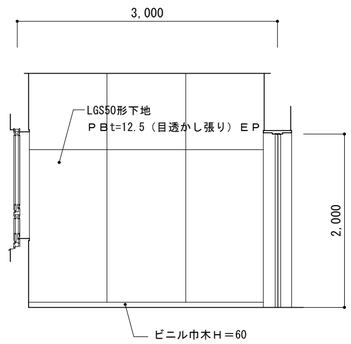


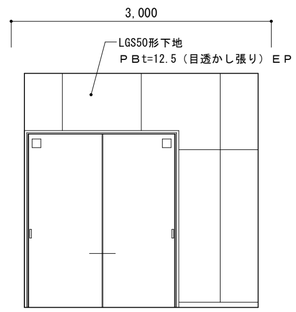
改修前　2階物置

A　B　C　D





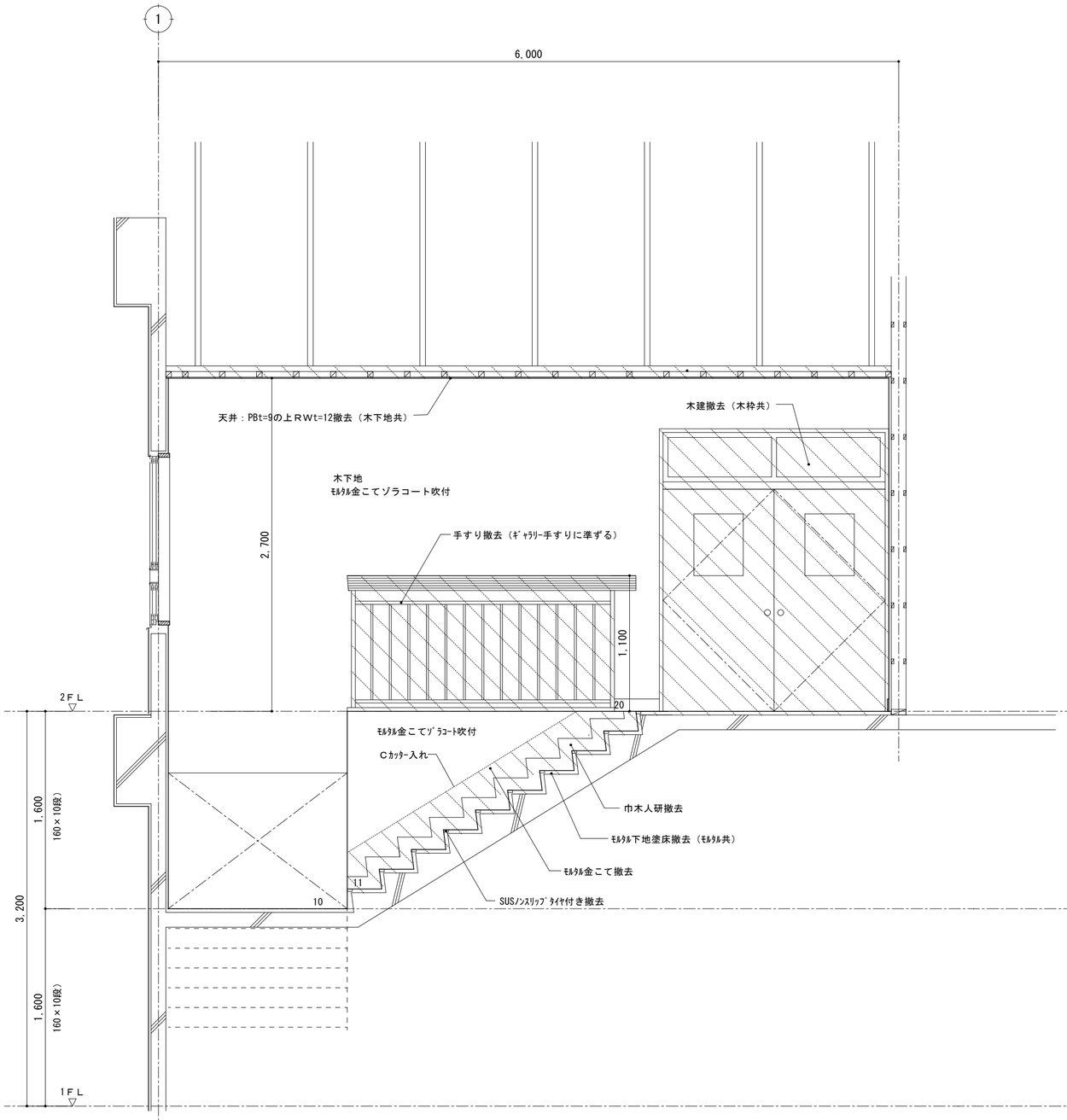




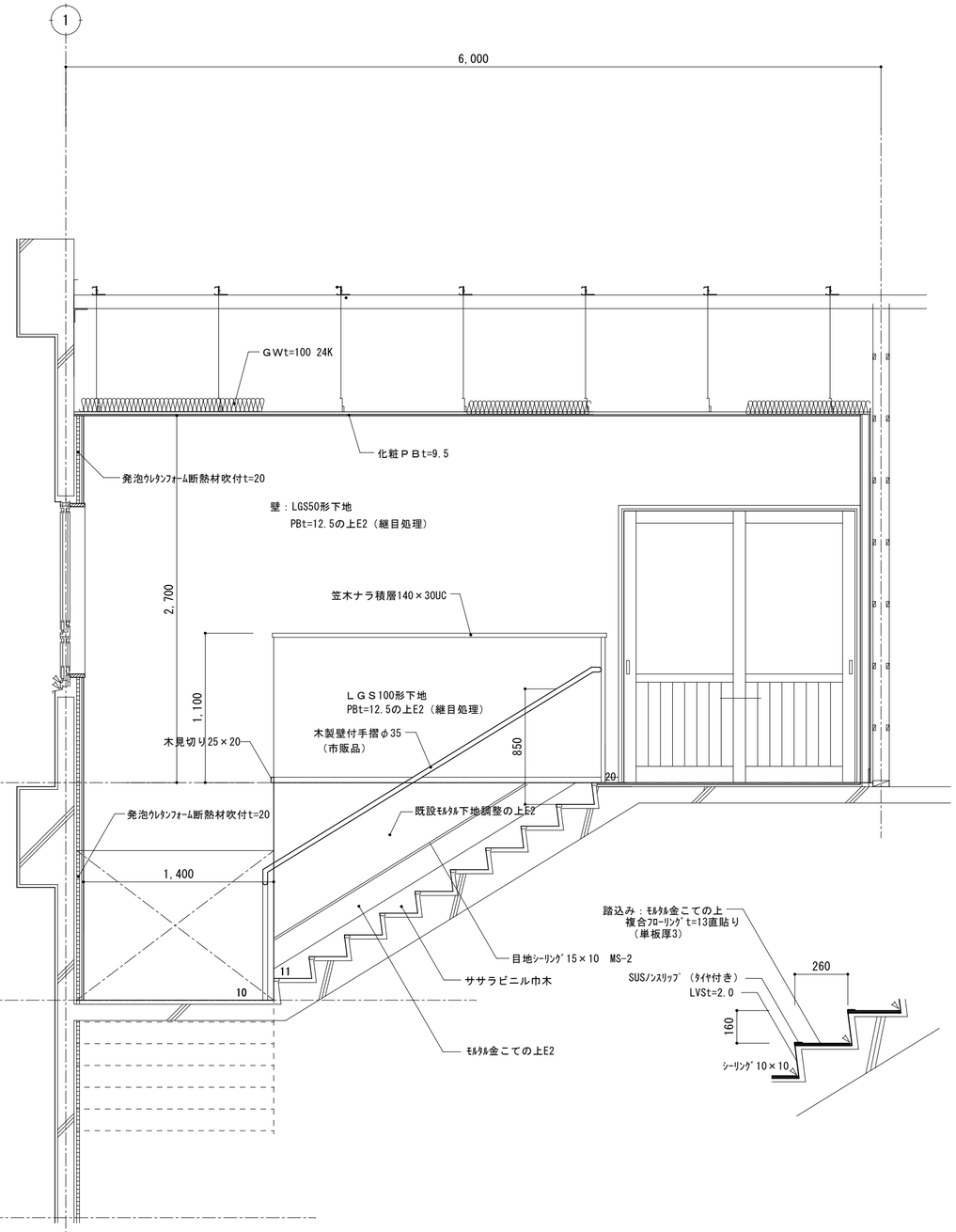
改修後　2階物置

A　B　C　D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　2階物置展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　50　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

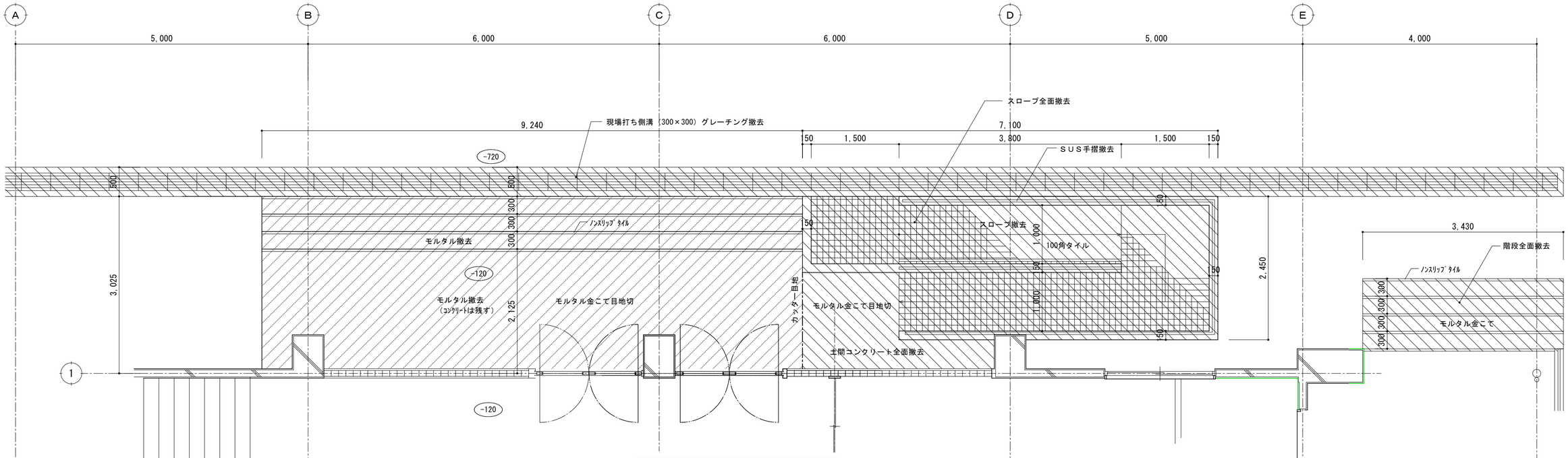


改修前　階段室断面図　1/30

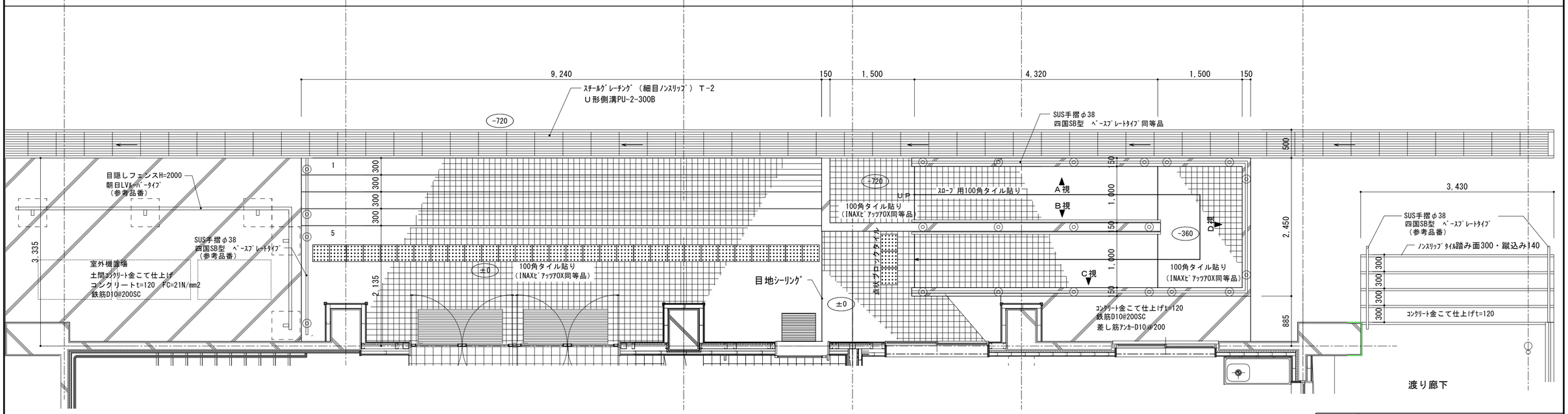


改修後　階段室断面図　1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　階段室断面図		
縮　尺	1/30	番　号	95　枚の内　51　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



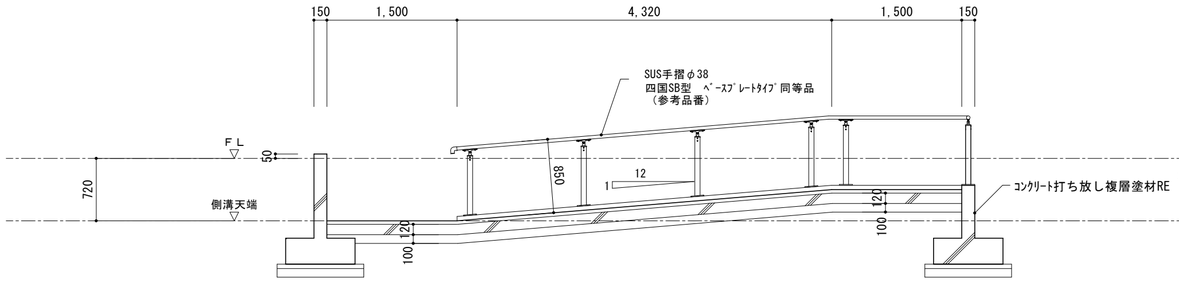
改修前　玄関ポーチ平面詳細図　1/50



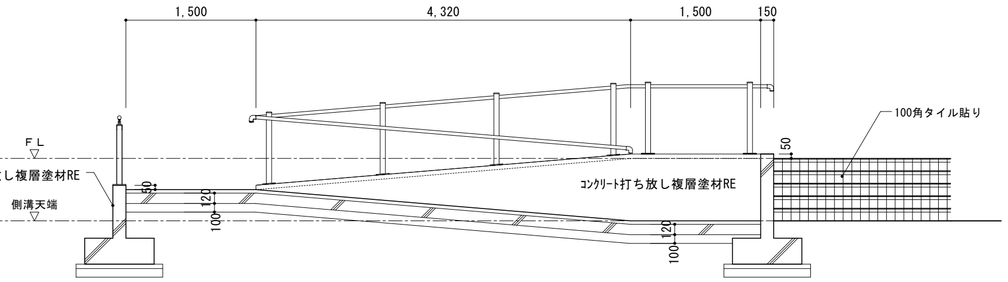
改修前　玄関ポーチ平面詳細図　1/50

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前・後　玄関ポーチ平面詳細図		
縮　尺	1/50	番　号	95　枚の内　52　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

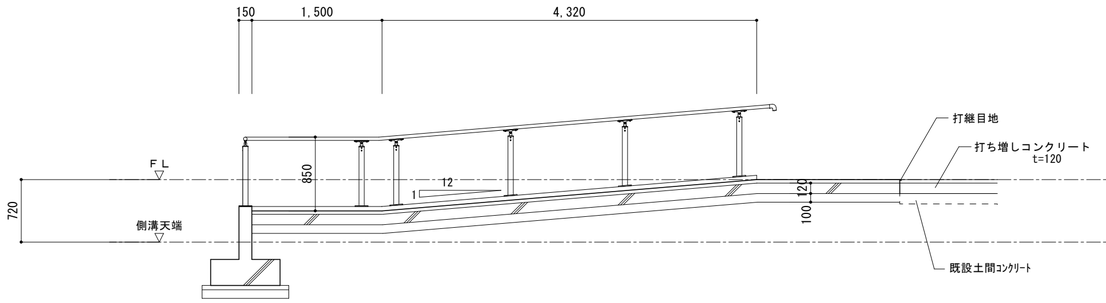
高　　山　　市



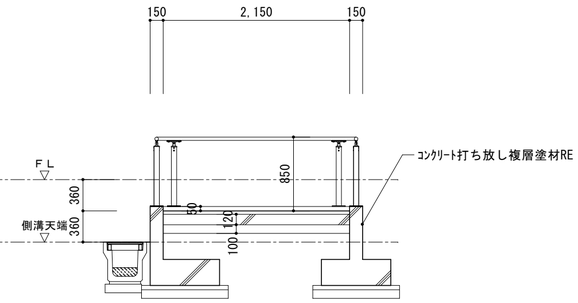
A視



B視

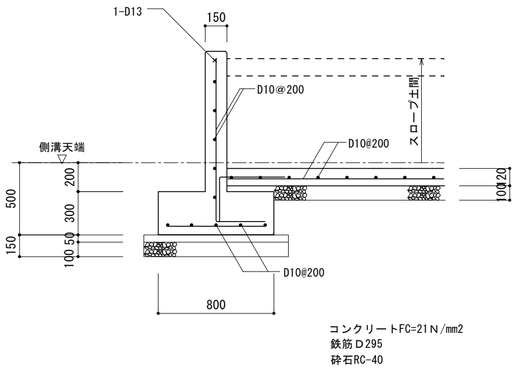


C視

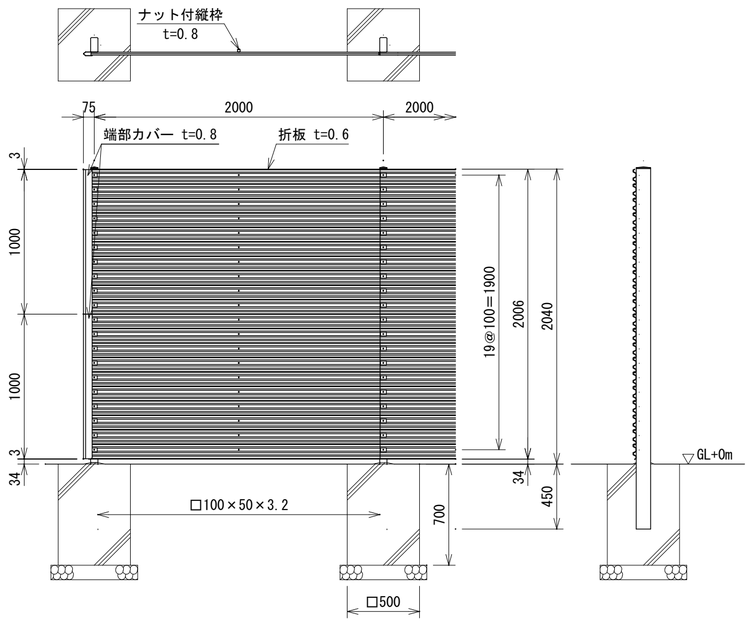


D視

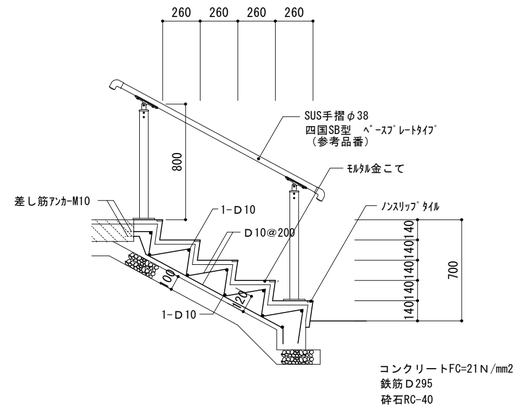
スロープ詳細図　1/50



基礎・土間詳細図　1/30

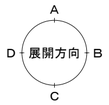


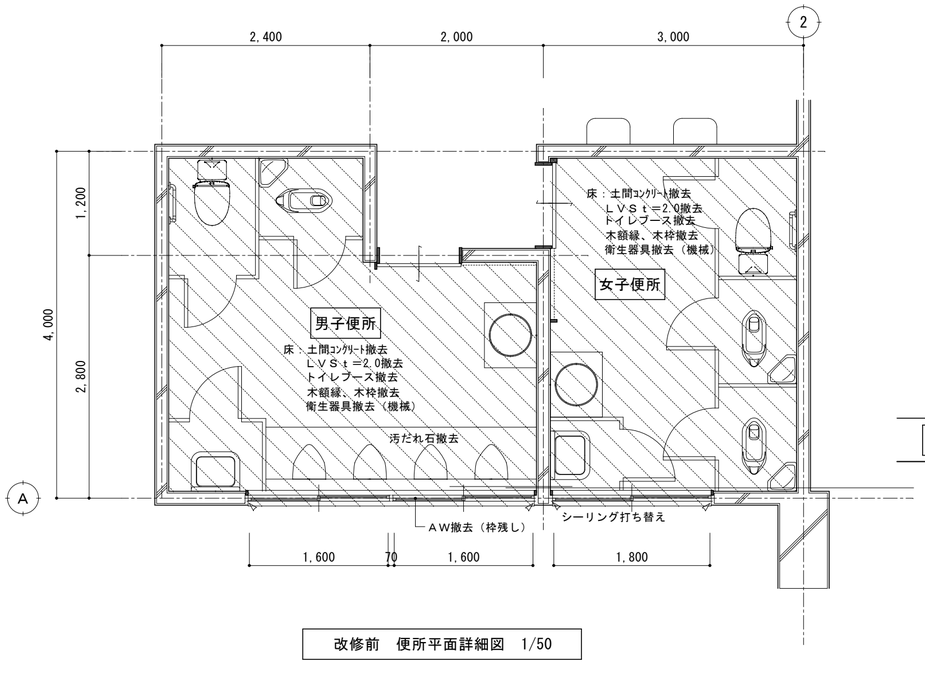
目隠しフェンス詳細図　1/30



渡り廊下既設階段更新部分詳細図　1/30

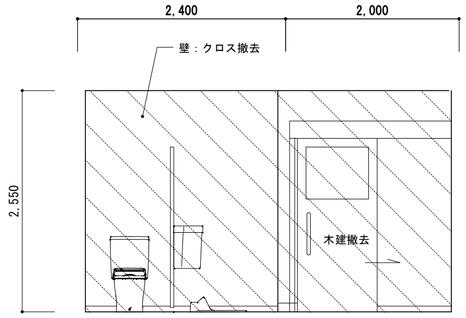
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　スロープ詳細図・目隠しフェンス詳細図		
縮　尺	1/50、1/30	番　号	95　枚の内　53　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			



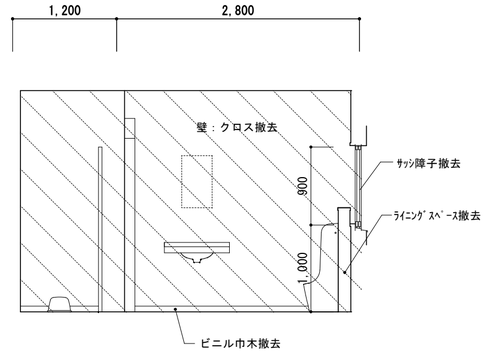


改修前　便所平面詳細図　1/50

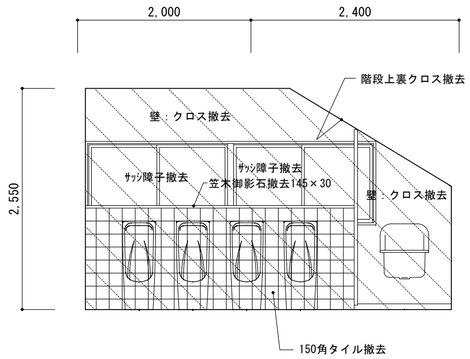
男子便所



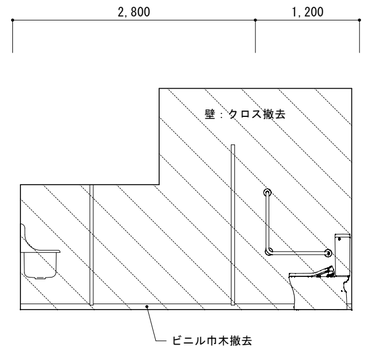
A



B



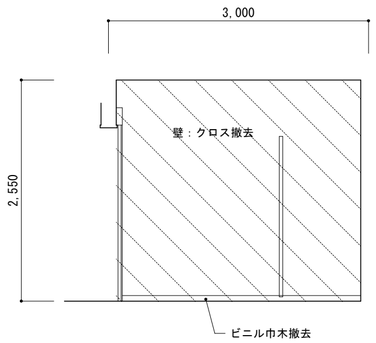
C



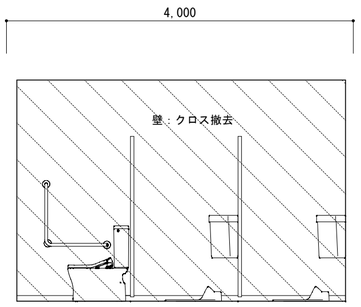
D

共通：トイレブース撤去
木枠、額縁撤去
衛生器具撤去（機械）

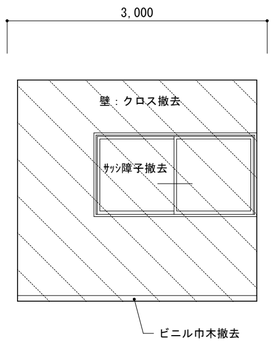
女子便所



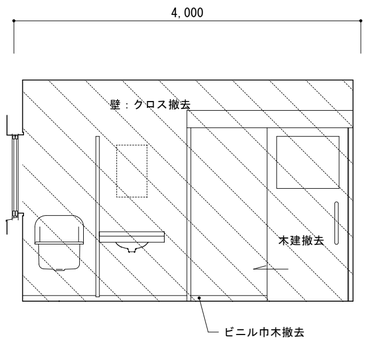
A



B



C

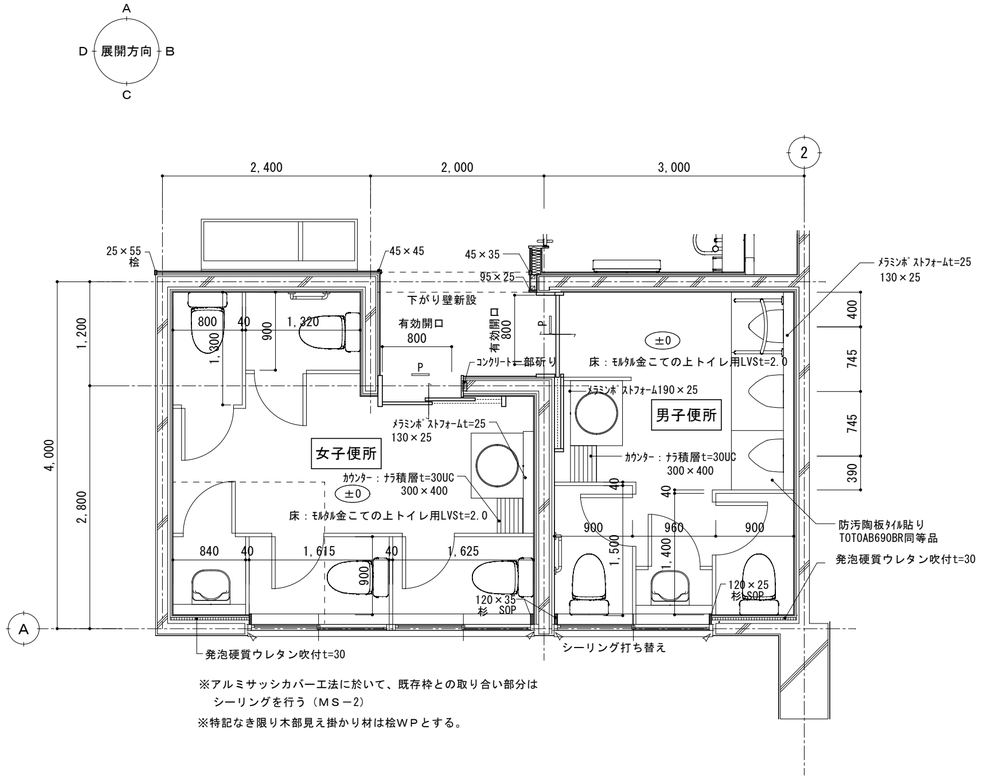


D

共通：トイレブース撤去
木枠、額縁撤去
衛生器具撤去（機械）

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（機械）		
図　名	改修前　男女　便所平面詳細図・展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　54　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　山　市

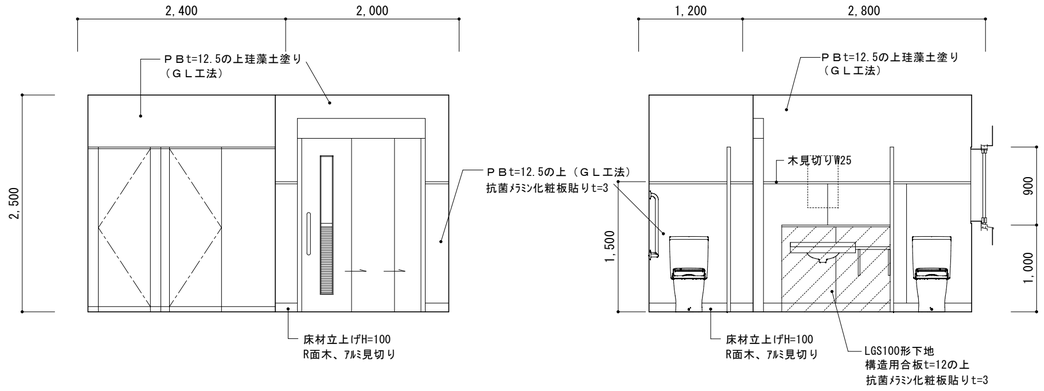


※アルミサッシカバー工法に於いて、既存枠との取り合い部分は
シーリングを行う（ＭＳ－2）

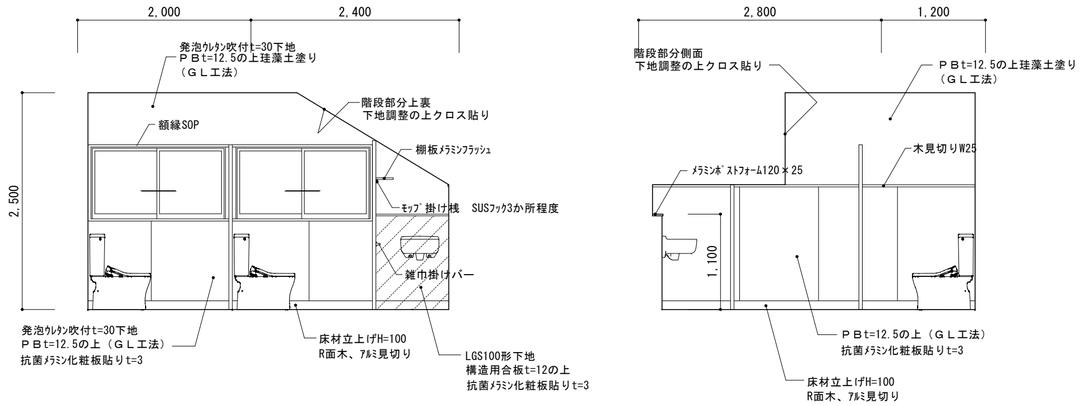
※特記なき限り木部見え掛かり材は桧ＷＰとする。

改修後　便所平面詳細図　1/50

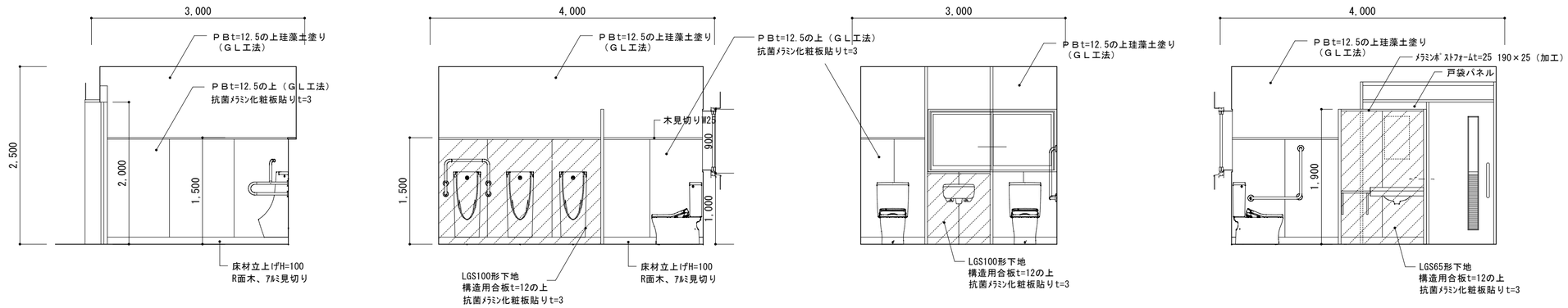
P ピクトサイン　桧無垢　春慶塗り仕上　200×200×12　平付
JIS規格カッティングシート貼り



女子便所　A　B



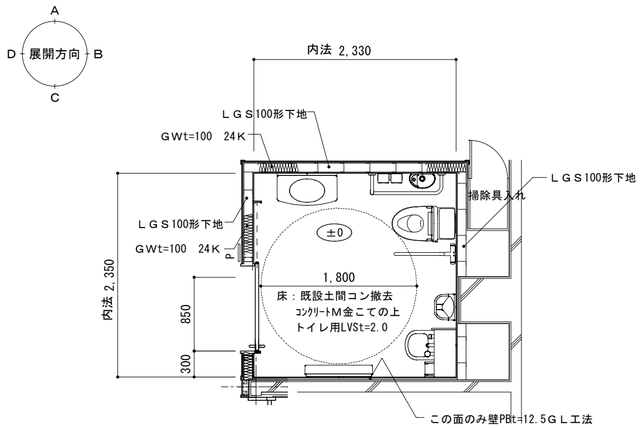
C　D

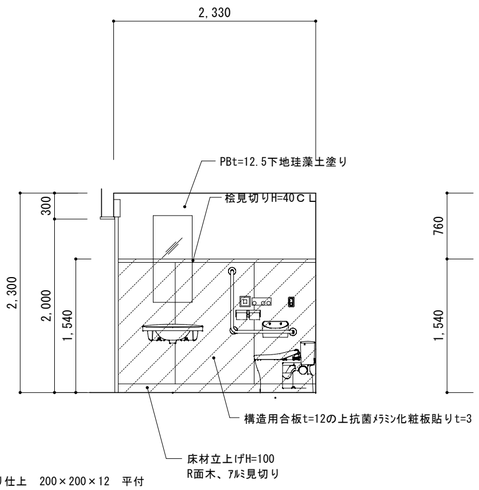


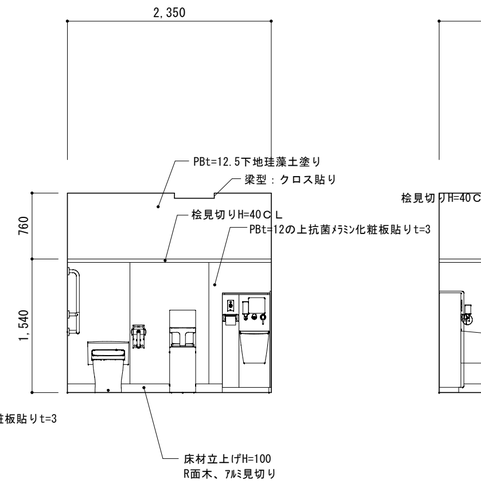
男子便所　A　B　C　D

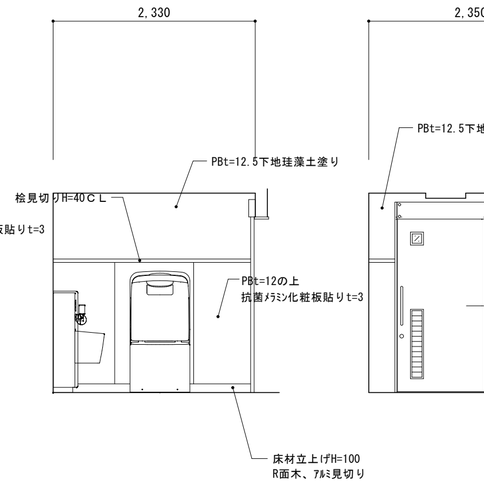
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　男女　便所平面詳細図・展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　55　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

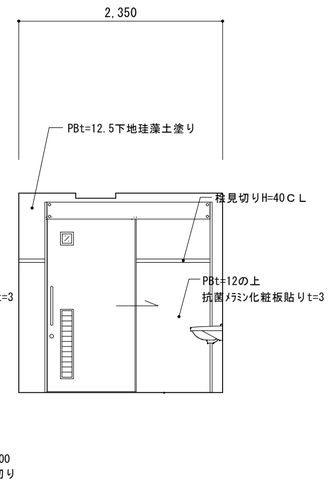
高　山　市









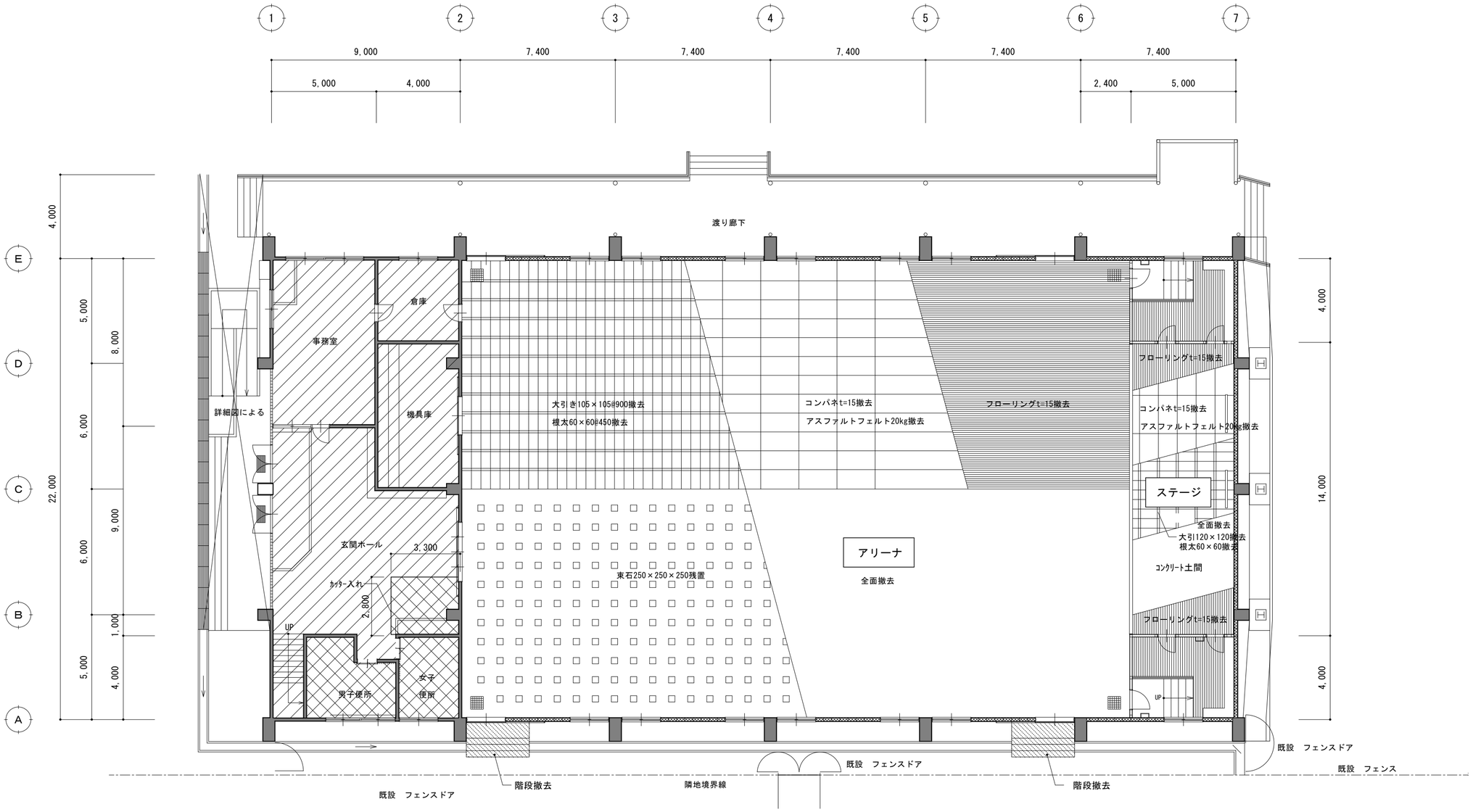


多機能トイレ平面詳細図　1/50

P　ピクトサイン　桧無垢　春慶塗り仕上　200×200×12　平付
JIS規格ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り

A　B　C　D

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	多機能トイレ　平面詳細図・展開図		
縮　尺	1/50	番 号	95　枚の内　56　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

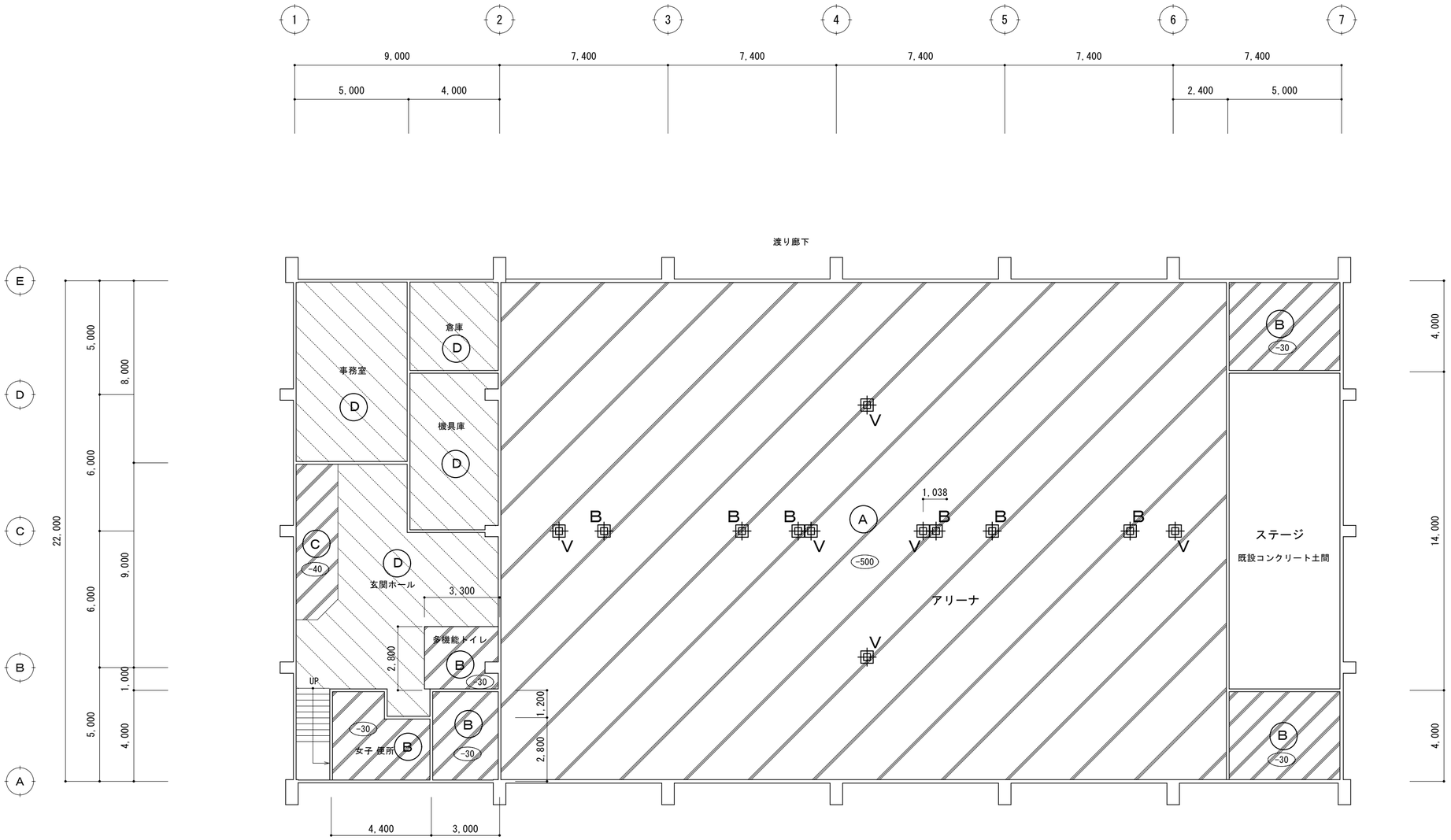


【凡　例】

- コンクリートブロック壁
- RC壁
- 木製壁
- 仕上げ・下地モルタル撤去範囲
- 仕上げ・土間コンクリート撤去範囲
  土間配筋継手40ｄ残すこと

改修前　1階床伏図　1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　1階床伏図		
縮　尺	1/150	番 号	95　枚の内　57　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

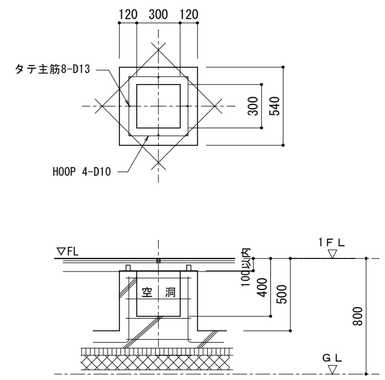


凡 例

A		土間コンクリート打設t=150 FC=21N/mm2 鉄筋Ｄ13@200SC 差し筋ｱﾝｶｰD13@200 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15 断熱材：押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=50（3種b） 砕石RC-40t=100
B		土間コンクリート打設t=120 FC=21N/mm2 鉄筋Ｄ10@200SC 差し筋ｱﾝｶｰD13@200 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑt=0.15 断熱材：押出発泡ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=50（3種b） 砕石RC-40t=100
C		土間コンクリート打設t=120（ｵｰﾊﾞｰﾚｲ）FC=21N/mm2 溶接金網100×100×6
D		既設土間コンクリート
-500		ＦＬから土間コンクリートまでの高さ

改修後 1階土間伏図 1/150

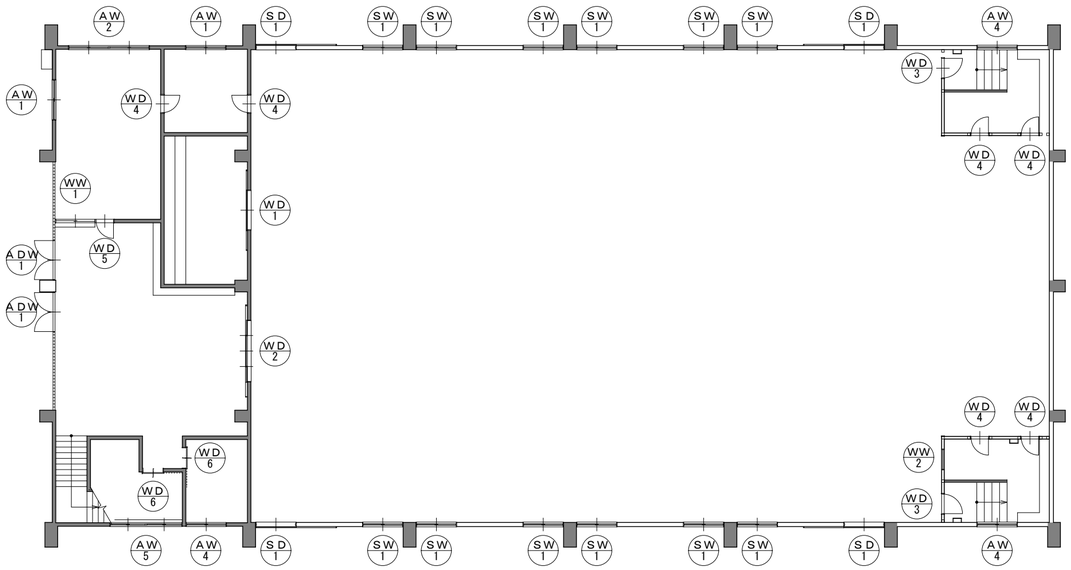
B	バドミントン支柱用基礎	６個
V	バレー支柱用基礎	６個
床下基礎 新設 合計		１２個



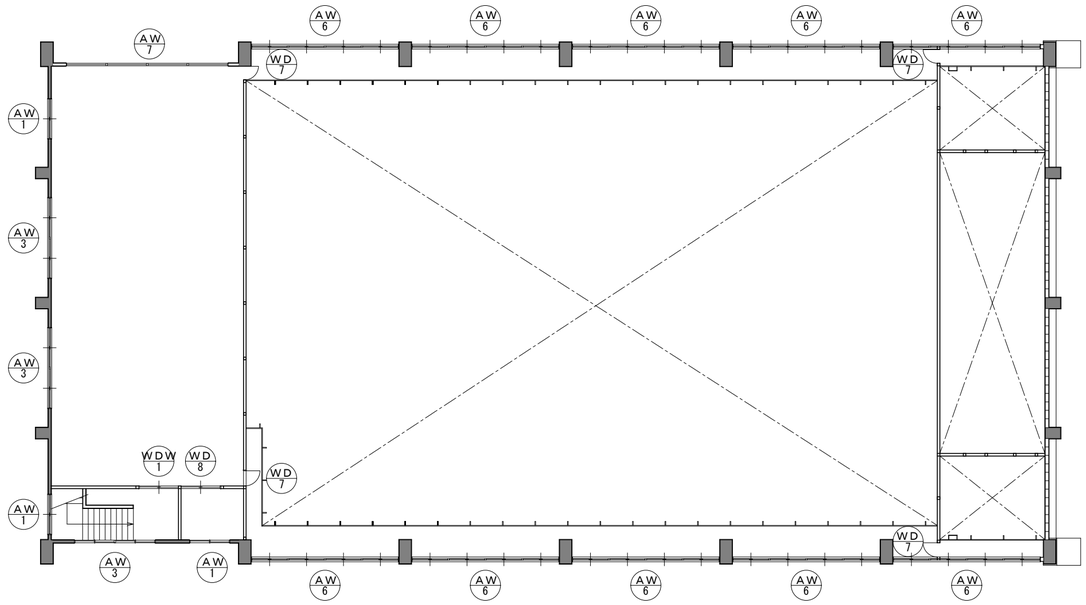
体育器具用基礎詳細図 1/30

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図 名	改修後 1階土間伏図		
縮 尺	1/150 1/30	番 号	95 枚の内 58 号
設 計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設 計	有限会社 新井設計事務所	１級建築士 荒井 俊範 大臣登録 第209067号	

高 山 市

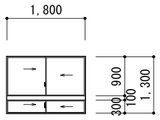
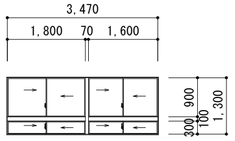
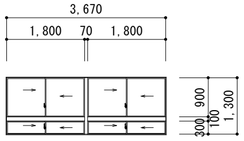
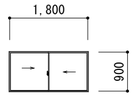
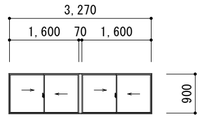


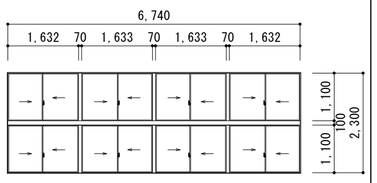
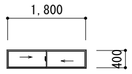
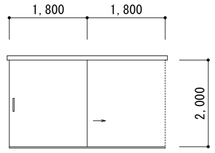
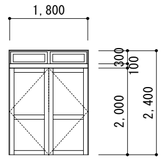
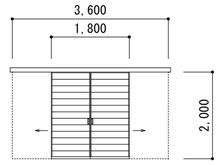
改修前　1階建具配置図　1/100

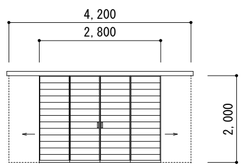
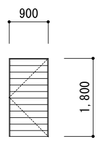
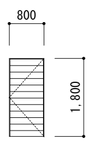
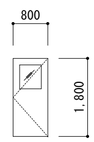


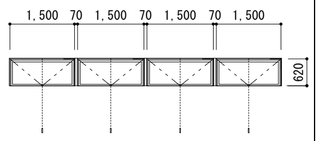
改修前　2階建具配置図　1/100

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　建具配置図		
縮　尺	1/100	番　号	95　枚の内　59　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

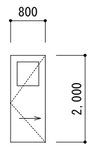
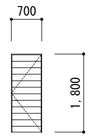
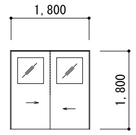
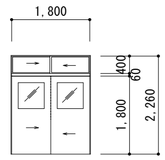
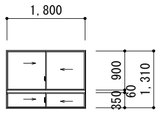
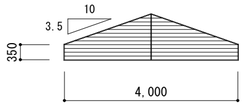
符号・名称	ＡＷ-1	ＡＷ-2	ＡＷ-3	ＡＷ-4	ＡＷ-5
形　　状					
室名・数量	事務室、倉庫、第二体育室、階段室、物置　　5	事務室　　1	第二体育室、階段室　　3	控室、器具庫Ｂ、女子便所　　3	男子便所　　1
材質・仕上					
形式・見込					
金　　物	引手　ｸﾚｾﾝﾄ	引手　ｸﾚｾﾝﾄ	引手　ｸﾚｾﾝﾄ	引手　ｸﾚｾﾝﾄ（ｱﾐ戸　1ヶ所）	引手　ｸﾚｾﾝﾄ（ｱﾐ戸）
ガ ラ ス	ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5mm　ﾄｰﾒｲ	ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5mm　ﾄｰﾒｲ	ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5mm　ﾄｰﾒｲ	ﾗﾌﾜｲﾔｰ　6.8mm	ﾗﾌﾜｲﾔｰ　6.8mm
備　　考	枠残し障子撤去　　倉庫は撤去	撤去	枠残し障子撤去	枠残し障子撤去	枠残し障子撤去

符号・名称	ＡＷ-6	ＳＷ-1	ＳＤ-1	ＡＤＷ-1	ＷＤ-1
形　　状					
室名・数量	ギャラリー　　10	アリーナ　　12	アリーナ　　4	玄関　　2	器具庫　　1
材質・仕上			ｽﾁｰﾙﾌﾗｯｼｭ戸		集成材ﾌﾗｯｼｭ戸　OSCL
形式・見込					
金　　物	引手　ｸﾚｾﾝﾄ、上段はｵﾍﾞﾚｰﾀｰ開閉装置付	引手　ｸﾚｾﾝﾄ	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ	押板（SUS）FH、本締錠、ｽﾍﾞﾘ出しﾗﾝﾏ（ﾁｪｰﾝ付）	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ｶﾏ錠、引手、框　OSCL
ガ ラ ス	ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5mm	ﾗﾌﾜｲﾔｰ　6.8mm		ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5mm、ﾗﾌﾜｲﾔｰ　6.8mm	
備　　考	枠残し障子撤去　ｽﾁｰﾙ格子撤去	撤去	撤去	撤去	撤去

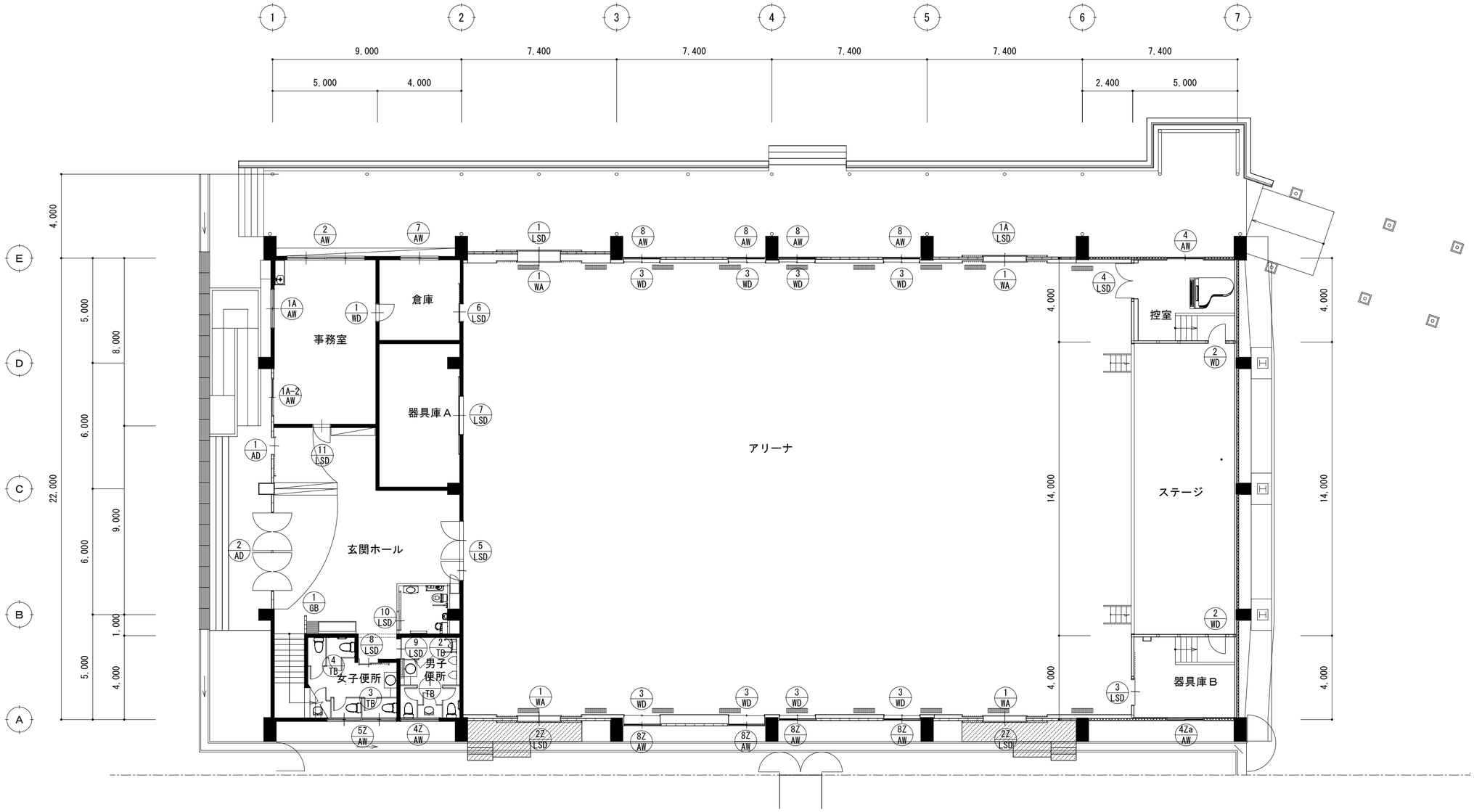
符号・名称	ＷＤ-2	ＷＤ-3	ＷＤ-4	ＷＤ-5
形　　状				
室名・数量	アリーナ　　1	控室、器具庫Ｂ　　2	控室、器具庫Ｂ、倉庫　　6	事務室　　1
材質・仕上	集成材ﾌﾗｯｼｭ戸　OSCL	集成材ﾌﾗｯｼｭ戸　OSCL	集成材ﾌﾗｯｼｭ戸　OSCL	ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ戸
形式・見込				トーメイ3mm
金　　物	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙﾛｰﾗｰ、ｶﾏ錠、引手、框　OSCL	DCﾛｯｸ錠	DCﾛｯｸ錠	DCﾛｯｸ錠
ガ ラ ス				
備　　考	撤去	撤去	撤去	撤去

符号・名称	ＷＤ-5
形　　状	
室名・数量	第2体育室　　1
材質・仕上	
形式・見込	ﾄｰﾒｲ3mm
金　　物	ボールチエン
ガ ラ ス	
備　　考	枠残し障子撤去

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　建具表（1）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　60　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			

符号・名称	ＷＤ-6	ＷＤ-7	ＷＤ-8	ＷＤＷ-1	
形　　状					
室名・数量	男子・女子便所　　2	ｷﾞｬﾗﾘｰ　　4	物置　　1	第二体育室　　1	
材質・仕上	ﾎﾟﾘﾎﾞｰﾄﾞﾌﾗｯｼｭ戸	集成材ﾌﾗｯｼｭ戸　OSCL	ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ戸　OP	ﾍﾞﾆﾔﾌﾗｯｼｭ戸　OP	
形式・見込					
金　　物	押板引板、自由丁番	DCﾛｯｸ錠	引手、ﾈｼﾞ込錠	引手、ﾈｼﾞ込錠	
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲ3mm		ﾄｰﾒｲ3mm	ﾄｰﾒｲ3mm	
備　　考	撤去	撤去	撤去	撤去	
符号・名称	ＷＷ-1	ＷＷ-2	ＳＧ-1	ＷＷ-2	
形　　状					
室名・数量	事務室（受付窓）　　1	更衣室　　1	妻側（小屋裏換気孔）　　2		
材質・仕上		框　OP	ｽﾁｰﾙ　OP		
形式・見込					
金　　物	引手、ﾚｰﾙ、ﾈｼﾞ込錠				
ガ ラ ス	ﾄｰﾒｲ　3m/m	ﾊﾟﾗﾗｲﾝ　5.5m/m			
備　　考	撤去	撤去	下地調整の上ＳＯＰ塗り替え		
符号・名称					
形　　状					
室名・数量					
材質・仕上					
形式・見込					
金　　物					
ガ ラ ス					
備　　考					

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修前　建具表（2）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　61　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			

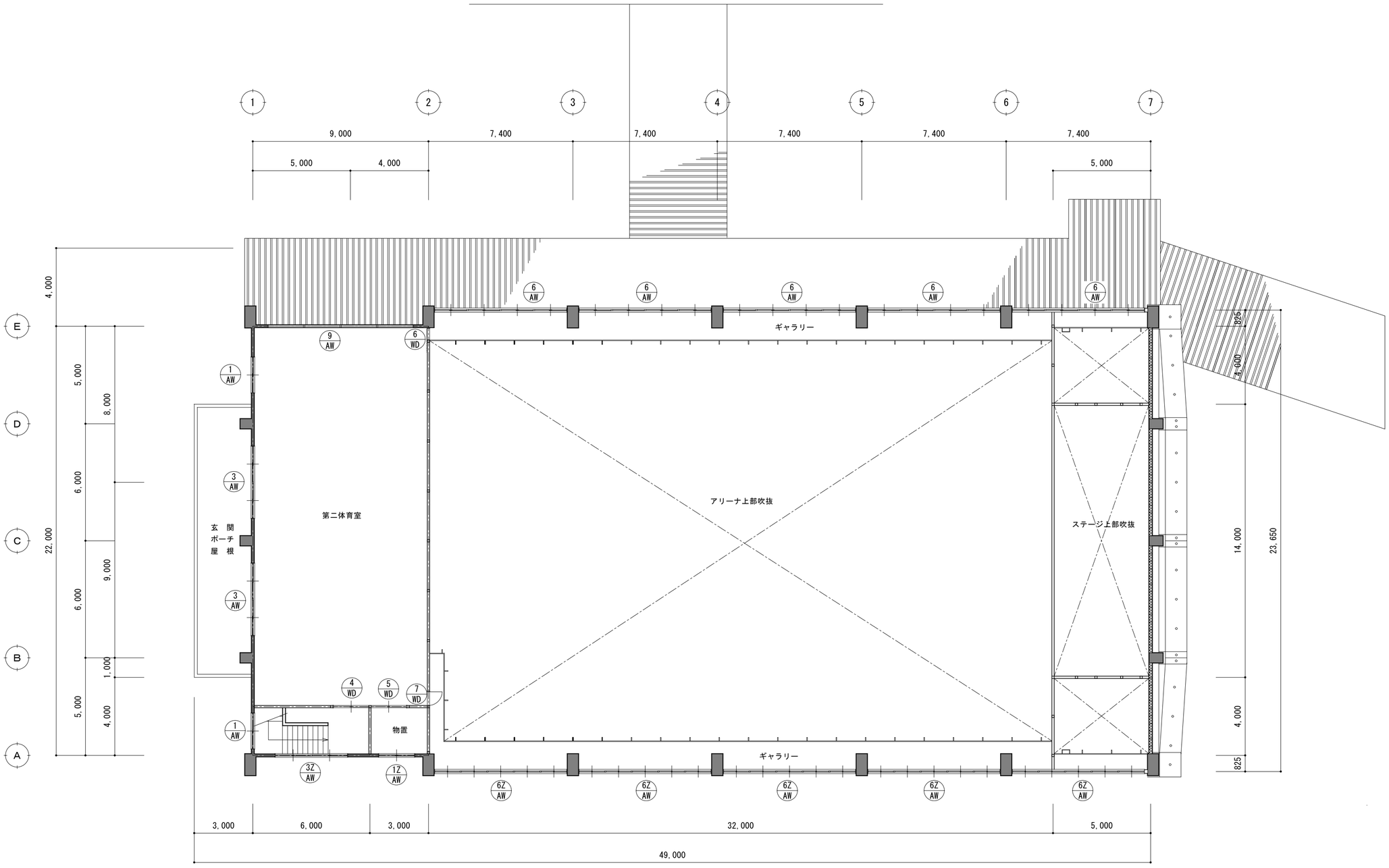


凡　例

ＴＧ	強化ガラス（透明）
ＴＦＧ	強化ガラス（型板）
ＰＷ	網入り磨き板ガラス
ＦＷ	網入り型板ガラス
ＦＬ	透明ガラス
Ｆ	型板ガラス
LOW-E	高断熱複層ガラス
ＤＣ	ドアクローザー
ＤＣＳ	ドアクローザー（ｽﾄｯﾊﾟｰ付き）
ＡＰ	アングルピース

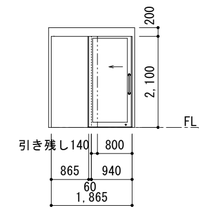
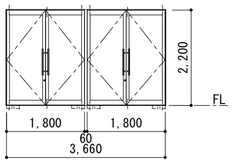
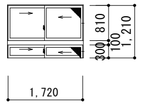
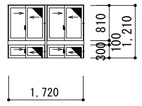
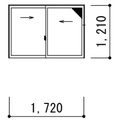
改修後　1階建具配置図　1/150

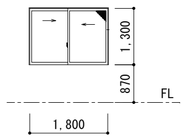
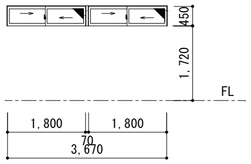
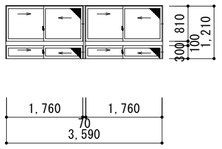
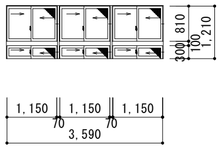
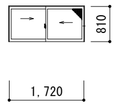
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　1階建具配置図		
縮　尺	1/150	番　号	95　枚の内　62　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

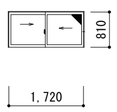
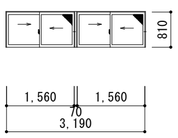
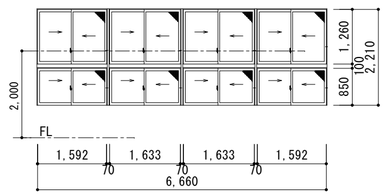
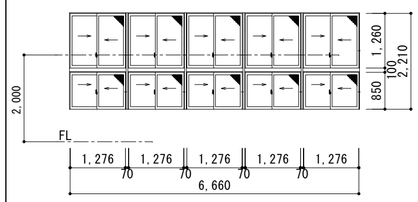


改修後　2階建具配置図　1/150

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　2階建具配置図		
縮　尺	1/150	番 号	95　枚の内　63　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

符号・名称	1 AD 自閉式片引きハンガー（框タイプ）ドア（撤去新設）	2 AD フロアーヒンジドア2連（撤去新設）	1 AW 引違い2段窓（カバー工法）	1Z AW 引違い2連2段窓（カバー工法）　防火設備	1A AW 引違い窓（カバー工法）
形　状					
室名・数量	1階：玄関　1	1階：玄関　1	2階：第二体育室　階段室　2	2階：物置　1	1階：事務室　1
材質・仕上	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色
形式・見込	片引きハンガードア　100見込	フロアーヒンジドア　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込
金　物	引き戸クローザー・引き棒・本締錠・ガイドローラー	フロアーヒンジ・押し棒・本締錠・フランス落し・戸当り	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント
ガ ラ ス	複層　TG5+A6+TG5	複層　TG5+A6+TG5	複層　Low-E3+A6+TG4	複層　PWG6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り	複層　Low-E5+A6+TG4
備　考	RC枠　曲物見切り	RC枠　外見切り・アルミ額縁	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）

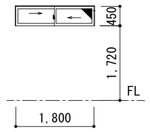
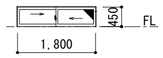
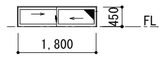
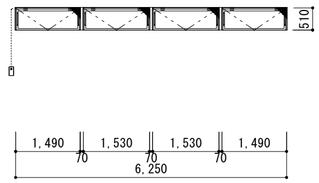
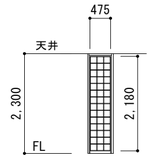
符号・名称	1A-2 AW 引違い窓（撤去新設）	2 AW 引違い2連窓（撤去新設）	3 AW 引違い2連2段窓（カバー工法）	3Z AW 引違い3連2段窓（カバー工法）　防火設備	4 AW 引違い窓（カバー工法）
形　状					
室名・数量	1階：事務室　1	1階：事務室　1	2階：第二体育室　2	2階：階段室　1	1階：控室　1
材質・仕上	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色
形式・見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込
金　物	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント
ガ ラ ス	複層　Low-E5+A6+TG4	複層　Low-E3+A6+TG4	複層　Low-E3+A6+TG4	複層　PWG6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り	複層　Low-E5+A6+TFG4
備　考	RC枠・外見切り・ＡＰ・網戸（SUS）	RC枠・外見切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・外部曲げ物見切り・ＡＰ・網戸（SUS）

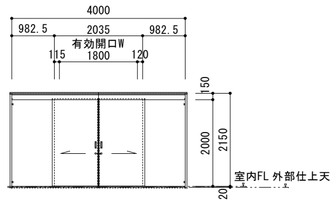
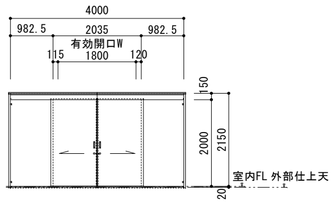
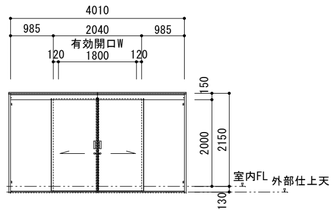
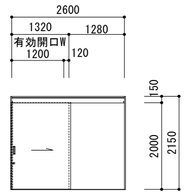
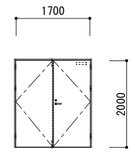
符号・名称	4Z AW 4Za AW 引違い窓（カバー工法）　防火設備	5Z AW 引違い2連窓（カバー工法）　防火設備	6 AW 引違い4連2段窓（カバー工法）	6Z AW 引違い5連2段窓（カバー工法）　防火設備
形　状				
室名・数量	1階：男子便所　器具庫　2　（AW-4Za器具庫B）	1階：女子便所　1	2階：アリーナ上部　5	2階：アリーナ上部　5
材質・仕上	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色
形式・見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込
金　物	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント
ガ ラ ス	複層　FWG6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り	複層　FWG6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り	複層　Low-E5+A6+TG4	複層　PWG6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り
備　考	ALC枠・曲物水切り・網戸（SUS） 男子便所：アルミ額縁　器具庫：外曲げ物見切り、ＡＰ	ALC枠・曲物水切り・アルミ額縁・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）

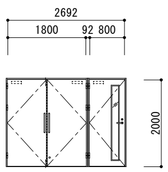
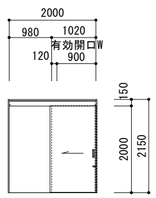
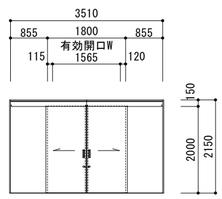
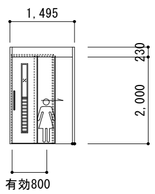
※LOW-E複層ガラスについて、強化ガラスは室内側を強化ガラスとする。
網入りｶﾞﾗｽがある場合は、外部を網入りガラスとし、室内側を
LOW-Eガラスで室内側に防犯フィルム貼りとする。

※カバー工法は参考寸法とし、現場実測の上Ｗ×Ｈを決め施工図の承認を得ること。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　建具表（1）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　64　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

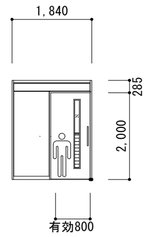
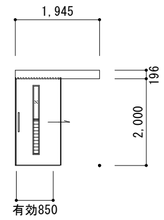
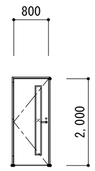
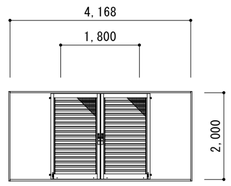
符号・名称	7 AW 引違い窓（撤去新設）	8 AW 引違い窓（撤去新設）	8Z AW 引違い窓（撤去新設）　防火設備	9 AW 外倒し4連窓（カバー工法）	1 GB ガラスブロック枠
形　状					
室名・数量	1階：倉庫　1	1階：アリーナ　4	1階：アリーナ　4	2階：第二体育室　1	玄関ホール　1
材質・仕上	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色	アルミ　電解着色（ホワイト）
形式・見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	引違い窓　70見込	外倒し窓　70見込	ガラスブロック枠　100見込
金　物	戸車・クレセント	戸車・クレセント	戸車・クレセント	ダンパー・オペレーター	
ガ ラ ス	複層　Low-E3+A6+TFG4	複層　Low-E3+A6+TFG4	複層　FW6.8+A6+Low-E5　防犯フィルム貼り	複層　Low-E3+A6+TFG4	145×145×95 オパリーブレーン
備　考	RC枠・外見切り・ＡＰ・網戸（SUS）	RC枠・外見切り・ＡＰ・網戸（SUS）・木製防球格子	RC枠・外見切り・ＡＰ・網戸（SUS）・木製防球格子	ALC枠・曲物水切り・ＡＰ・網戸（SUS）	

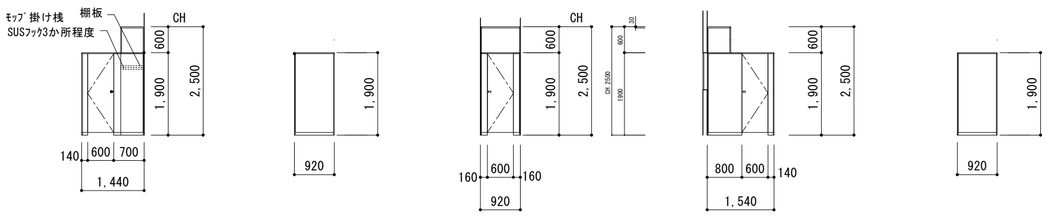
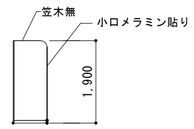
符号・名称	1 LSD 両引き鋼製軽量ドア	1A LSD 両引き鋼製軽量ドア	2Z LSD 引き分け鋼製軽量ドア	3 LSD 片引き鋼製軽量ドア	4 LSD 両開き鋼製軽量ドア
形　状					
室名・数量	アリーナ　1	アリーナ　1	アリーナ　2	器具庫B　1	控室　1
材質・仕上	三方枠・扉：高耐候性粉体焼付塗装鋼板、SUS床見切り	三方枠・扉：高耐候性粉体焼付塗装鋼板、SUS床見切り	枠・扉：高耐候性粉体焼付塗装鋼板	枠・扉：粉体焼付塗装鋼板	枠・扉：粉体焼付塗装鋼板
形式・見込	引分けハンガー戸　90	引分けハンガー戸　90	引分けハンガー戸　90	片引きハンガー戸	両開き戸　182
金　物	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置 エアダンパー、引戸クローザー	丁番、ＤＣＳ、シリンダー付きレバーハンドル、フランス落し
ガ ラ ス					
備　考	扉内部ウレタン注入発泡充填	扉内部ウレタン注入発泡充填	防火設備　扉内部水酸化アルミコア	扉内部ウレタン注入発泡充填	扉内部ウレタン注入発泡充填

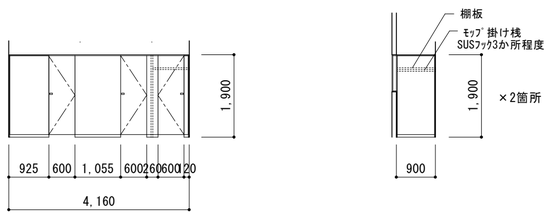
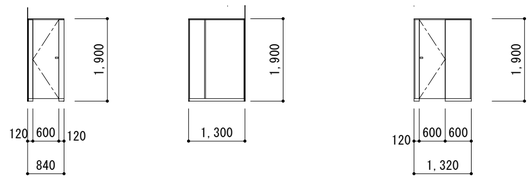
符号・名称	5 LSD 両開き、片開き鋼製軽量ドア	6 LSD 片引き鋼製軽量ドア	7 LSD 引き分け鋼製軽量ドア	8 LSD 自閉式2連片引き鋼製軽量ドア
形　状				
室名・数量	玄関ホール～アリーナ　1	倉庫　1	器具庫A　1　1	女子便所　1
材質・仕上	枠・扉：粉体焼付塗装鋼板	枠・扉：粉体焼付塗装鋼板	枠・扉：粉体焼付塗装鋼板	枠：亜鉛めっき鋼板焼付塗装　扉：木目調プリント鋼板t=0.6
形式・見込	両開き戸+片開き戸　182	片引きハンガー戸　90	引分けハンガー戸　90	片引きハンガー戸　250
金　物	丁番、ＤＣＳ、シリンダー付きレバーハンドル、床付け戸当り フランス落し、引棒、順位調整器	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置 エアダンパー、引戸クローザー	上吊車、堀込引手、ワンロック上下錠、振れ止め、脱輪防止装置 エアダンパー、引戸クローザー	樹脂被覆引手　L=450、自閉装置一式、SUS沓摺、付属金物一式、アルミガラリ
ガ ラ ス	TG4	-		TFG4
備　考	扉内部ウレタン注入発泡充填	扉内部ウレタン注入発泡充填 YKSドア	扉内部ウレタン注入発泡充填	ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り張り

-

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　建具表（2）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　65　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

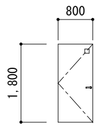
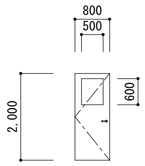
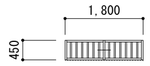
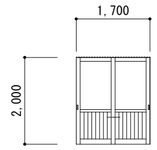
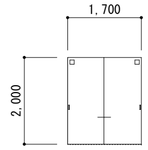
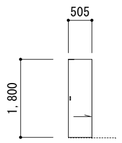
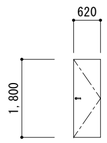
符号・名称	9 LSD 自閉式片引き鋼製軽量ドア	10 LSD 自閉式片引き鋼製軽量ドア	11 LSD 片開き鋼製軽量ドア	1 WA 引き分け防球格子戸	
形　　状					
室名・数量	男子便所　1	多機能トイレ　1	事務室　1	アリーナ　4	
材質・仕上	枠：亜鉛めっき鋼板焼付塗装　扉：木目調プリント鋼板t=0.6	枠：亜鉛めっき鋼板焼付塗装　扉：木目調プリント鋼板t=0.6	枠：亜鉛めっき鋼板焼付塗装　扉：木目調プリント鋼板t=0.6	木部：高山産桧集成材ウレタン塗装2回塗り アルミ部：アルミ電解着色	
形式・見込	片引きハンガー戸　335	片引きハンガー戸　160	片開き戸	木・アルミ複合防球格子戸	
金　　物	樹脂被覆引手　L=450、自閉装置一式、SUS沓摺、付属金物一式、アルミガラリ	樹脂被覆引手　L=450、自閉装置一式、SUS沓摺、付属金物一式、アルミガラリ	シリンダー付きレバーハンドル、丁番、ＤＣＳ、戸当たり、SUS沓摺	引手、フランス落とし、重量用調整式戸車、戸当り	
ガ ラ ス	TFG4	TFG4	TFG4		
備　　考	ﾋﾟｸﾄｻｲﾝｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り			ガラス繊維網戸	

符号・名称	1 TB トイレブース	2 TB トイレブース　（目隠しスクリーン）	
形　　状			
室名・数量	男子便所　1	男子便所　1	
材質・仕上	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　芯材：ペーパーコア	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　芯材：ペーパーコア	
形式・見込	40	40	
金　　物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS巾木、ｱﾙﾐ笠木蓋付、戸当り、アルミＲエッジ、スライドロック、引手、非常時外開きドア仕様、その他メーカー仕様		
ガ ラ ス			
備　　考			

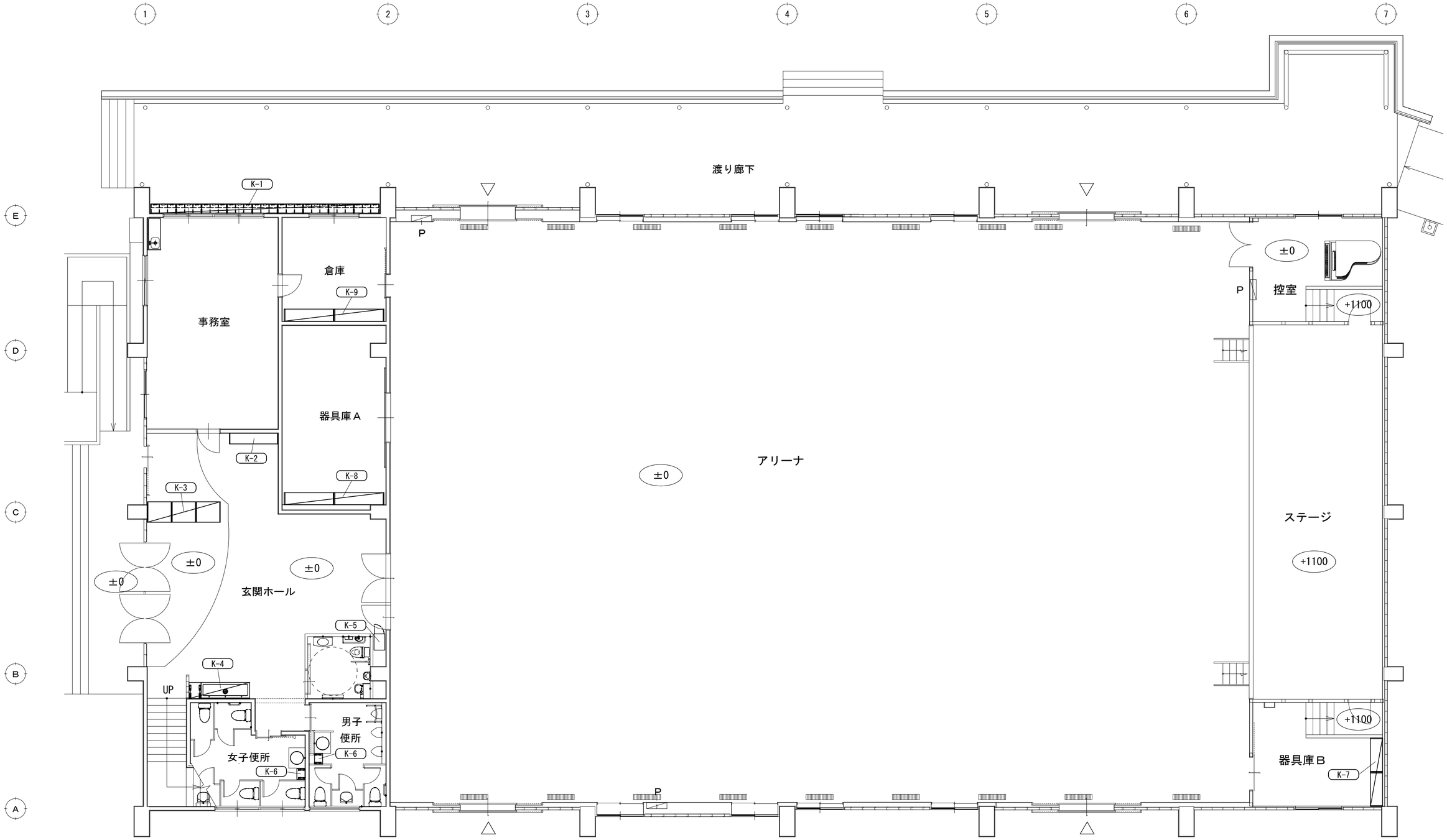
符号・名称	3 TB トイレブース	4 TB トイレブース
形　　状		
室名・数量	女子便所　1	女子便所　1
材質・仕上	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　芯材：ペーパーコア	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板　芯材：ペーパーコア
形式・見込	40	40
金　　物	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS巾木、ｱﾙﾐ笠木蓋付、戸当り、アルミＲエッジ、スライドロック、引手、非常時外開きドア仕様、その他メーカー仕様	中心吊ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、SUS巾木、ｱﾙﾐ笠木蓋付、戸当り、アルミＲエッジ、スライドロック、非常時外開きドア仕様、その他メーカー仕様
ガ ラ ス		
備　　考		

※トイレブースは建築材料品質評価を受けた製品とする。

工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　建具表（3）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　66　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

符号・名称	1 WD 片開きドア	2 WD 片開きドア	3 WD 引き違い防球格子戸	4 WD 引き違い框吊り戸	5 WD 引き違いﾌﾗｯｼｭ戸
形　　状					
室名・数量	事務室～倉庫　1	ステージ　2	アリーナ　8	第2体育室　1	2階物置　1
材質・仕上	ポリ合板	シナ合板張り　自然塗装	竪木　自然塗装	桧　腰板桧t=16　自然塗装	ポリ合板
形式・見込	フラッシュ戸　36	フラッシュ戸　36	框格子戸　40	框戸　40	フラッシュ戸　36
金　　物	丁番、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付きﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、DCS	丁番、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付きﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、DCS	引手、戸車、SUSYﾚｰﾙ、内締まり錠	ｿﾌﾄｸﾛｰｻﾞ上吊りﾚｰﾙ、付属金物一式、SUS大形引手、手詰め防止ｺﾞﾑ 扉下ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、戸車	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、SUS引手、ﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ、手詰め防止ｺﾞﾑ
ガ ラ ス	ｱｸﾘﾙ板	TGFL4		TGFL4	ｱｸﾘﾙ板
備　　考			格子30×30@100程度		
符号・名称	6 WD 片引きﾌﾗｯｼｭ戸	7 WD 片開きﾌﾗｯｼｭ戸			
形　　状					
室名・数量	第2体育室～ｷﾞｬﾗﾘｰ　1	第2体育室～ｷﾞｬﾗﾘｰ　1			
材質・仕上	ポリ合板	ポリ合板			
形式・見込	フラッシュ戸　36	フラッシュ戸　36			
金　　物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｻﾑﾀｰﾝ、SUS引手、ﾌﾗｯﾀｰﾚｰﾙ、	丁番、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付きﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、DCS			
ガ ラ ス					
備　　考					
符号・名称					
形　　状					
室名・数量					
材質・仕上					
形式・見込					
金　　物					
ガ ラ ス					
備　　考					

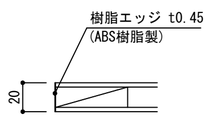
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	改修後　建具表（4）		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　67　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　　山　　市			



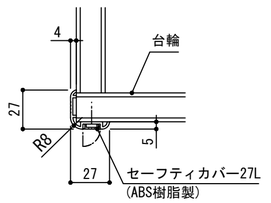
工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	家具配置図		
縮　尺	1/100	番 号	95　枚の内　68　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　１級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		
高　山　市			

共　通　仕　様　表	
木　　材	ベタ芯を使用する箇所はファルカタ集成材とする
外　　装	ポリエステル樹脂板　F☆☆☆☆
内　　装	ポリエステル樹脂板　F☆☆☆☆
接 着 剤	ゼロホルマリン接着剤使用 酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形接着剤（F☆☆☆☆）
本体見付	樹脂エッジ t0.45貼り（ABS樹脂製）
棚　　板	t20 ポリエステル樹脂板　F☆☆☆☆
台　　輪	ポリエステル樹脂板　F☆☆☆☆
	角部：セーフティカバー27L（ABS樹脂製）
丁　　番	105° 開きダンパー付スライド丁番　オートキャッチ機構付き
開　　戸	t20 ポリエステル樹脂板　F☆☆☆☆
	通気孔付取手（ABS樹脂製　抗菌処理）

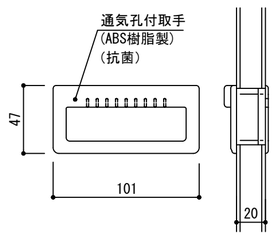
本体見付



台輪角部



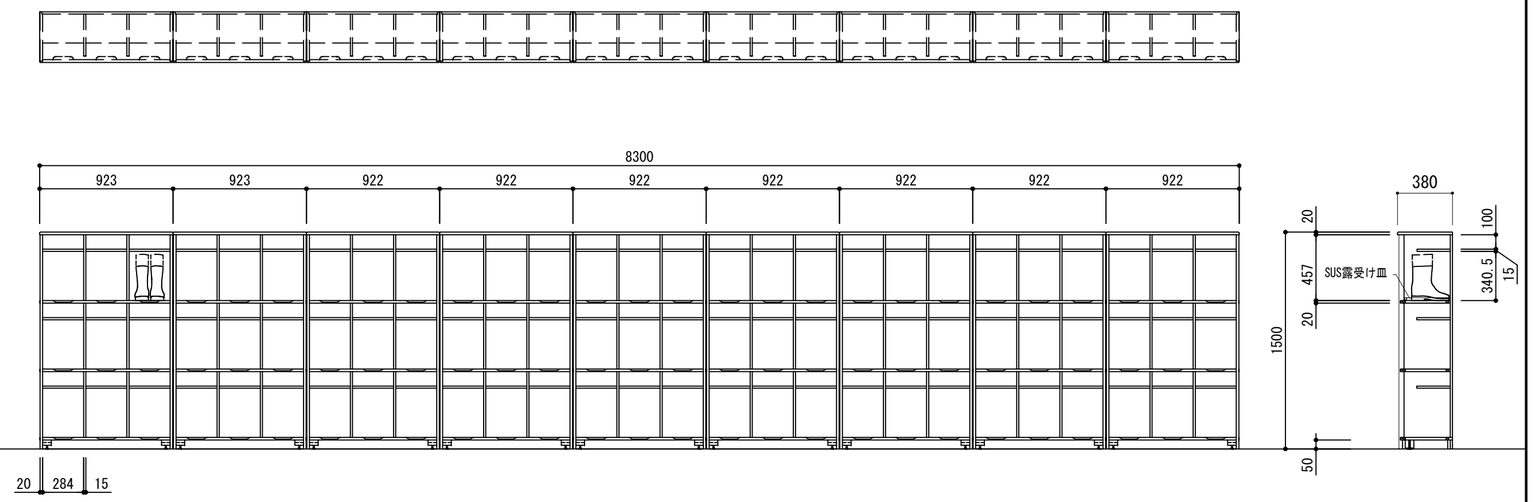
引出・開戸用取手



K-1. 下足入れ

渡り廊下　1組

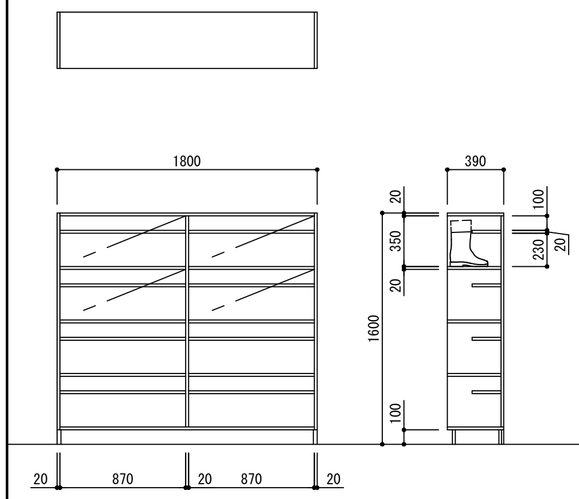
名　称	材　質・仕　様
主　材	t20 ﾊﾟｲﾝ積層材耐候性塗料UC
棚　板 底　板	t20 ﾊﾟｲﾝ積層材耐候性塗料UC （名前表示エリア付）
中仕切板 上部棚板 背　板	t15 ﾊﾟｲﾝ積層材
塗　装	耐候性塗料 UC
台　輪	t20 ﾊﾟｲﾝ積層材 （アジャスター付）
受け皿	SUS　304



K-2. 下足入れ　ES-18

玄関ホール　1台

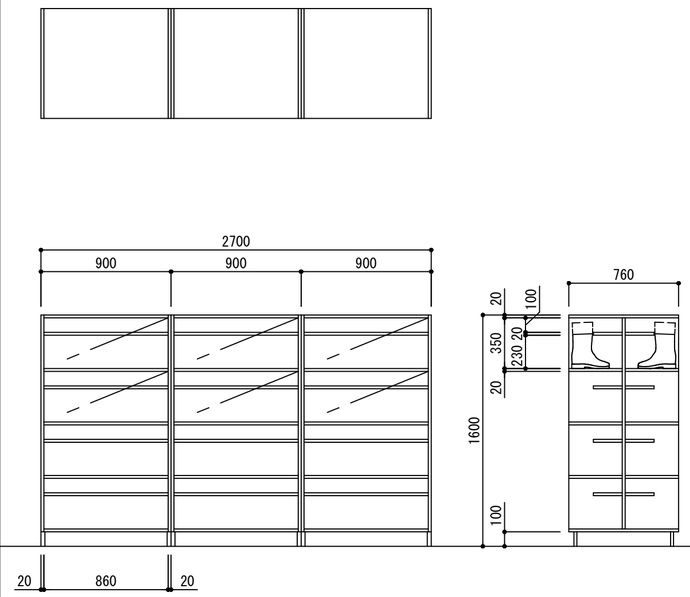
名　称	材　質・仕　様
外　装	ポリエステル樹脂板
内　装	ポリエステル樹脂板
上足棚板	t20　ポリエステル樹脂板
下足棚板	木口：樹脂エッジ（ABS樹脂）
見　付	樹脂エッジ（ABS樹脂）
台　輪	ポリエステル樹脂板
	角部：セーフティカバー27L（ABS樹脂）



K-3. 下足入れ　ES-18

玄関ホール　1組

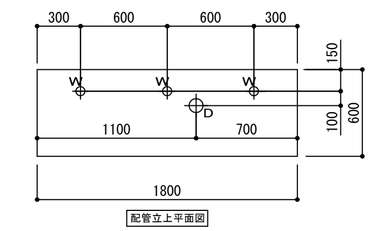
名　称	材　質・仕　様
外　装	ポリエステル樹脂板
内　装	ポリエステル樹脂板
上足棚板	t20　ポリエステル樹脂板
下足棚板	木口：樹脂エッジ（ABS樹脂）
見　付	樹脂エッジ（ABS樹脂）
台　輪	ポリエステル樹脂板
	角部：セーフティカバー27L（ABS樹脂）



K-4. 流し台 + 天板カウンター　YSS-17W

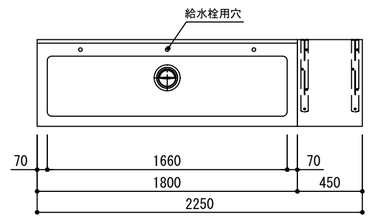
玄関ホール　1組

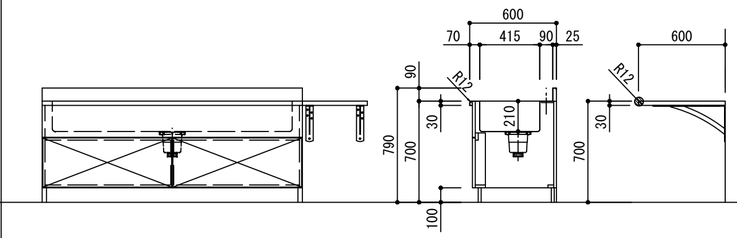
名　称	材　質・仕　様
流　し	SUS304 t1.0（正面R加工）
	大型排水トラップ（ゴミカゴ付）　YT-50XSP
外　装	ポリエステル樹脂板
内　装	ラワン合板
前　板	t20 ポリエステル樹脂板
	木口：樹脂エッジ（ABS樹脂）
見　付	樹脂エッジ（ABS樹脂）
点検口	t20 ポリエステル樹脂板
	木口：樹脂エッジ（ABS樹脂）
	ビス止、化粧キャップ付
台　輪	t20 ポリエステル樹脂板
	角部：セーフティカバー27L（ABS樹脂）
給水栓	（別途）
カウンター	t30 ナラ集成材UC（正面R加工）
	カウンターブラケット　焼付塗装　LY-837



配管立上平面図

配管記号一覧			
D	排　水	G	ガ　ス
W	給　水	E	電　気
注記	1. 各配管床上5cm以内プラグ止。 2. 給水、排水、ガス、電気の床上から器具まで接続工事別途。		



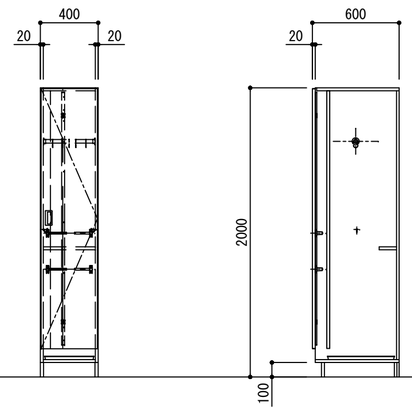


工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）
図　名	家具詳細図（1）
縮　尺	1/30　　番　号　95　枚の内　69　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号

高　　山　　市

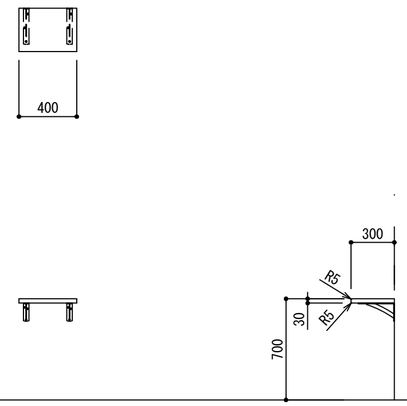
K-5. 掃除具入れ　EXA-45N-Ⅱ　　玄関ホール　1台

名　称	材　質・仕　様
外　装	ポリエステル樹脂板
内　装	ポリエステル樹脂板
固定棚板	t20 ポリエステル樹脂板
	木口: 樹脂エッジ(ABS樹脂)
見　付	樹脂エッジ(ABS樹脂)
開　戸	t20 ポリエステル樹脂板
	木口: t2セーフティエッジ(ABS樹脂)
	通気孔付取手(ABS樹脂)
	ダンパー付スライド丁番
	反り矯正金具　L1750　1本
台　輪	t20 ポリエステル樹脂板
	角部: セーフティカバー27L(ABS樹脂)
その他	ステンレス巻パイプ　φ25（Sカン5個付）1本
	ステンレス製玉付フック　TF-30　2個
	ステンレスタオル掛　L＝300　2本
	ステンレスツユ受皿　465×343×23　1個



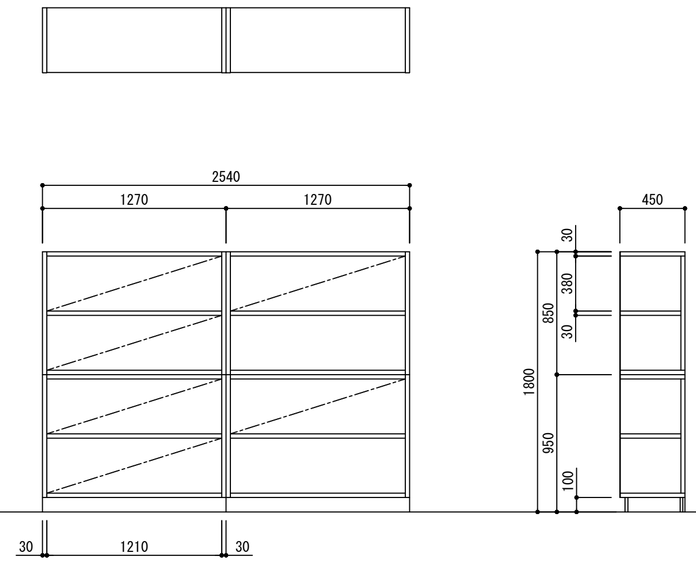
K-6. 天板カウンター　　男子・女子便所　計 2台

カウンター	t30 ナラ集成材UC（正面R加工）
	カウンターブラケット　焼付塗装　LY-832



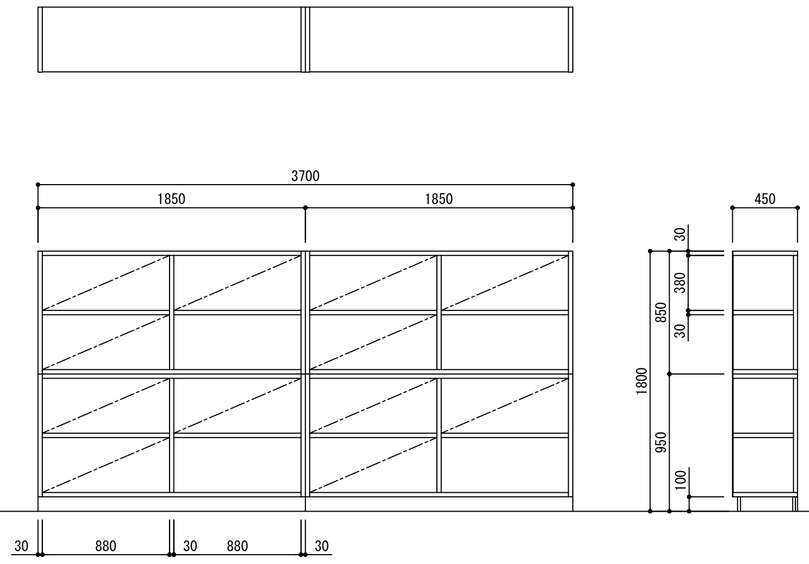
K-7. 収納棚　　器具庫B　1組

名　称	材　質・仕　様
本　体	t30　ノースパイン集成材UC(赤松)
背　板	シナ合板
台　輪	ノースパイン集成材UC(赤松)



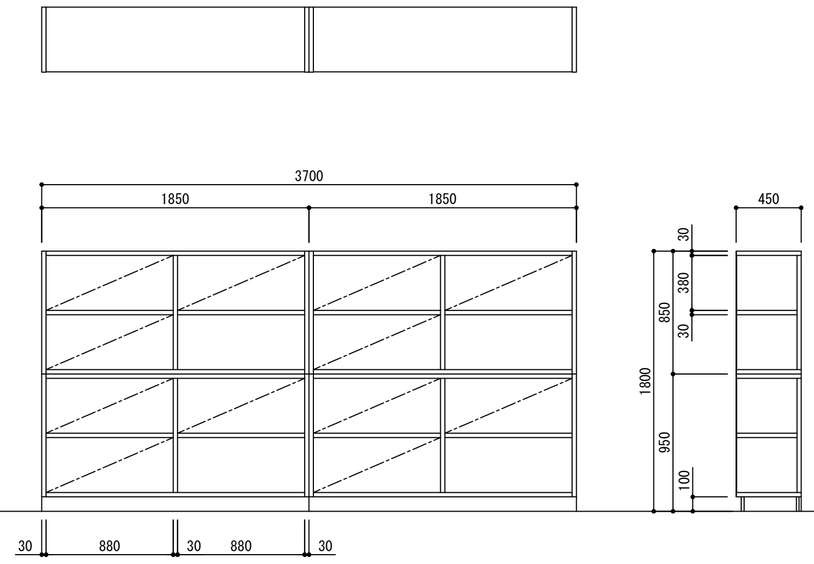
K-8. 収納棚　　器具庫A　1組

名　称	材　質・仕　様
本　体	t30　ノースパイン集成材UC(赤松)
背　板	シナ合板
台　輪	ノースパイン集成材UC(赤松)



K-9. 収納棚　　倉庫　1組

名　称	材　質・仕　様
本　体	t30　ノースパイン集成材UC(赤松)
背　板	シナ合板
台　輪	ノースパイン集成材UC(赤松)



工事名	北小学校屋内運動場長寿命化改修工事（建築）		
図　名	家具詳細図（2）		
縮　尺	1/30	番　号	65　枚の内　70　号
設　計 年 月 日	令 和 8 年 6 月		
設　計	有限会社　新井設計事務所　1級建築士　荒井　俊範 大臣登録　第209067号		

高　　山　　市